

**令和3年度
坂井市教育委員会の事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書**

坂井市教育委員会

— 目 次 —

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| I | はじめに | 1 |
| II | 点検・評価について | 2 |
| III | 令和3年度坂井市教育委員会の活動状況 | |
| 1 | 教育委員会の会議開催等の状況 | 3 |
| 2 | 教育長・教育委員会委員の活動状況 | 6 |
| 2-1 | 指導主事学校訪問 | 9 |
| 2-2 | 全国大会等出場激励会 | 10 |
| 3 | 委員会、審議会等の審議状況 | 11 |
| 4 | 教育委員会関係の許認可の状況 | 13 |
| IV | 教育委員会関係事業の取組実績 | |
| | 令和3年度事業別施策の成果報告書 | |
| ○ | 教育総務課 | 15 |
| ○ | 学校教育課（給食センター） | 19 |
| ○ | 生涯学習スポーツ課 | 31 |
| ○ | 文化課（みくに龍翔館、丸岡城国宝化推進室） | 42 |
| ○ | 市立図書館 | 51 |
| V | 有識者からの意見 | 54 |

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「令和3年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が令和3年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

II 点検・評価について

1 対象期間

令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）

2 点検・評価方法

(1) 点検・評価報告書の作成

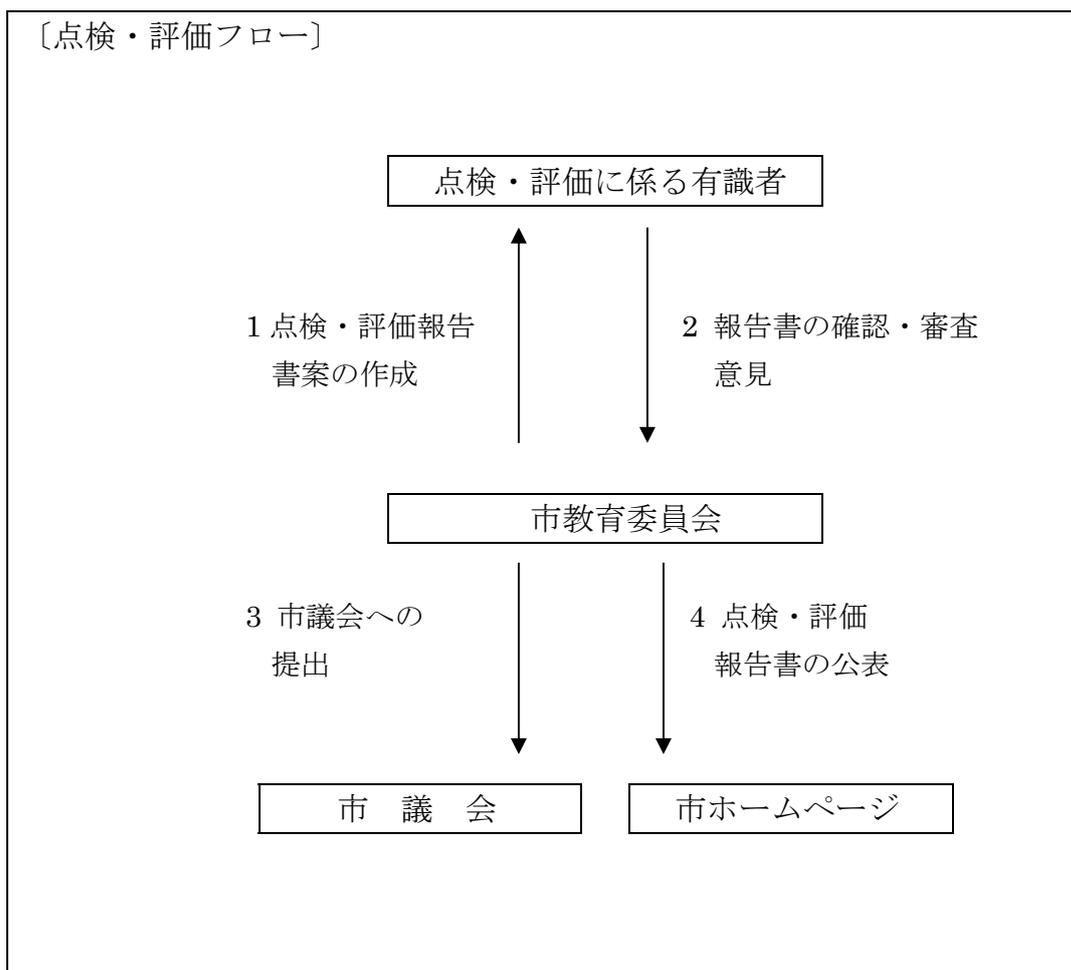
教育委員会において点検・評価報告書案を作成

(2) 点検・評価報告書の確認、審査

有識者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

(3) 点検・評価結果の公表

点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表



Ⅲ 令和3年度 坂井市教育委員会の活動状況

1 教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会 教育長、委員 (令和2年5月11日現在)

| | 氏名 | 職業 |
|---------------|--------|--------|
| 教育長 | 川元 利夫 | |
| 委員 (教育長職務代理者) | 宮崎 美恵子 | 医療法人理事 |
| 委員 | 若松 静栄 | 茶道教授 |
| 委員 | 牧田 靖夫 | 会社役員 |
| 委員 | 田中 典夫 | 公益財団理事 |

(令和3年5月11日現在)

| | 氏名 | 職業 |
|---------------|--------|--------|
| 教育長 | 川元 利夫 | |
| 委員 (教育長職務代理者) | 若松 静栄 | 茶道教授 |
| 委員 | 牧田 靖夫 | 会社役員 |
| 委員 | 田中 典夫 | 公益財団理事 |
| 委員 | 宮崎 美恵子 | 医療法人理事 |

(2) 教育委員会の開催状況

- ・ 開催回数 14回
- ・ 附議事項 28件

(3) 教育委員会審議案件

- 4月定例教育委員会〔令和3年4月28日(水)〕
議案第1号 坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について
議案第2号 坂井市教育委員会押印の省略に関する規則の制定について
- 5月臨時教育委員会〔令和3年5月11日(火)〕

議案第 3号 坂井市教育委員会教育長職務代理者の指名について
議案第 4号 坂井市教育委員会委員の席次の決定について

- 5月定例会教育委員会〔令和3年5月24日（月）〕
議案第 5号 就学指定校の変更許可について
議案第 6号 坂井市立小学校及び中学校の管理規則の一部改正について
- 6月定例会教育委員会〔令和3年6月23日（水）〕
議案第 7号 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について
議案第 8号 坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱の一部改正について
議案第 9号 就学指定校の変更許可について
- 7月定例会教育委員会〔令和3年7月20日（火）〕
議案第10号 令和4年度使用 中学校教科用図書（社会：歴史的分野）の選定について
議案第11号 就学指定校の変更許可について
- 8月定例会教育委員会〔令和3年8月24日（火）〕
議案第12号 坂井市教育委員会の権限に属する事務委任及び補助執行に関する規則の改正について
議案第13号 就学指定校の変更許可について
- 9月定例会教育委員会〔令和3年9月22日（水）〕
議案第14号 就学指定校の変更許可について
- 10月定例会教育委員会〔令和3年10月22日（金）〕
議案第15号 就学指定校の変更許可について
- 11月定例会教育委員会〔令和3年11月17日（水）〕
議案なし
- 12月臨時教育委員会〔令和3年12月3日（金）〕
報告会
- 12月定例会教育委員会〔令和3年12月23日（木）〕

議案第16号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
議案第17号 就学指定校の変更許可について
議案第18号 令和3年度坂井市学校給食費補助金等交付要綱の制定について

- 1月定例教育委員会〔令和4年1月25日（火）〕
 - 議案第19号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加）
 - 議案第20号 坂井市文化財保護審議会委員の承認について
 - 議案第21号 就学指定校の変更許可について

- 2月定例教育委員会〔令和4年2月22日（火）〕
 - 議案第22号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について（追加）

- 3月定例教育委員会〔令和4年3月24日（木）〕
 - 議案第23号 坂井市教育委員会会議規則の一部改正について
 - 議案第24号 坂井市給食費徴収規則の一部改正について
 - 議案第25号 坂井市給食費徴収規則の特例に関する規則の制定について
 - 議案第26号 令和3年度公益財団法人丸岡文化財団運営補助金
（基金取崩補填分）交付要綱の制定について
 - 議案第27号 坂井市文化財保護審議会委員の承認について
 - 議案第28号 就学指定校の変更許可について

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

| | 月 日 | 委 員 名 | 活 動 内 容 |
|----|-----------|------------------|-----------------------------------|
| 1 | 令和3年4月1日 | (川元) | 教育委員会辞令交付式(中止) |
| 2 | 4月1日 | 川元 | 新採用管理職・転任校長辞令交付式 |
| 3 | 4月1日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 教職員着任式 |
| 4 | 4月2日 | 川元 | 坂井地区第1回学校運営研究大会 |
| 5 | 4月7日 | 川元 | 第1回坂井地区教育振興研究会代表者会 |
| 6 | 4月8日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 各中学校入学式 |
| 7 | 4月12日 | (川元、若松、牧田、田中、宮崎) | 坂井市教育研究会総会(中止) |
| 8 | 4月19日 | 川元 | 第1回坂井地区教育長会 |
| 9 | 4月23日 | 川元 | 令和3年度WMG総会 |
| 10 | 4月15日 | 川元 | 令和3年度全国高等学校総合体育大会 サッカー競技委員会 第2回総会 |
| 11 | 4月25日 | (川元、若松、牧田、田中、宮崎) | 第28回一筆啓上顕彰式(中止) |
| 12 | 4月27日 | 川元 | 福井県市町教育長会議(オンライン) |
| 13 | 5月8日 | (川元、若松、牧田、田中、宮崎) | 坂井市PTA連合会総会(中止) |
| 14 | 5月17日～18日 | (川元) | 全国都市教育長協議会定期総会・研究大会(山口市・R4に延期) |
| 15 | 5月20日～21日 | (川元) | 北陸ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会総会(中止) |
| 16 | 5月21日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 坂井地区合同教育委員会 |
| 17 | 5月30日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 東京2020オリンピック聖火リレー出発式 |
| 18 | 6月1日 | 川元、田中 | 小学校運動会(明章) |
| 19 | 6月2日 | 川元 | 福井県市町教育長会議 |
| 20 | 6月10日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 坂井市総合美術展 開場式 |
| 21 | 6月13日 | 川元 | 第56回北信越高等学校新体操・体操競技選手権大会 新体操開会式 |
| 22 | 7月3日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 坂井市子ども文化祭開会式 |
| 23 | 7月4日 | 若松 | 坂井市子ども文化祭 |
| 24 | 7月9日 | 川元、若松 | 第1回市民文化祭実行委員会 |
| 25 | 7月20日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 第1回総合教育会議 |
| 26 | 7月26日 | 川元 | 坂井市教育研究会全体研修会(オンライン) |
| 27 | 7月28日 | 川元 | 坂井市総合美術展第3回実行委員会(総括) |
| 28 | | 川元 | 福井県市町教育長会議(オンライン) |
| 29 | 7月31日 | 川元 | 三国町地区対抗小学生スポーツ大会(野球) |
| 30 | | 川元 | 三国町地区対抗小学生スポーツ大会(バレーボール) |
| 31 | 8月2日 | 川元 | 北陸三県高校生現代アートビエンナーレ会議 |
| 32 | 8月8日 | 川元 | 2021少林寺拳法福井県大会 |
| 33 | 8月13日 | 川元 | 全国総合体育大会2021総合開会式 |
| 34 | 8月18日 | 川元 | 第2回坂井地区教育振興研究会代表者会 |
| 35 | | 川元、宮崎 | 全国総合体育大会 丸岡高校戦 |
| 36 | 8月22日 | 川元 | 全国総合体育大会2021決勝戦(サッカー)閉会式 |
| 37 | 9月1日 | 川元 | 福井県市町教育長会議(オンライン) |
| 38 | 9月2日 | 川元、若松 | 中学校体育祭(坂井) |
| 39 | 9月10日 | 川元、田中 | 中学校体育祭(丸岡南) |
| 40 | | 川元 | 中学校文化祭(丸岡、坂井) |
| 41 | 9月11日 | 川元 | 三国節令和版歌詞表彰式 |
| 42 | 9月11日 | 川元 | 中学校文化祭(丸岡南) |
| 43 | 9月12日 | 川元 | 創立50周年記念坂井コーラスコンサート |
| 44 | 9月13日 | 川元、宮崎 | 中学校体育祭(三国) |
| 45 | 9月14日 | 川元、牧田 | 中学校体育祭(春江) |
| 46 | 9月15日 | 川元 | 坂井地区中学校駅伝競走大会 |
| 47 | 9月17日 | 川元、田中 | 中学校体育祭(丸岡) |
| 48 | | 川元 | 中学校文化祭(三国、春江) |
| 49 | 9月25日 | 川元、若松 | 小学校運動会(兵庫) |
| 50 | | 川元 | こどもが描く”ふるさと坂井”絵画展表彰式 |
| 51 | | 川元 | 春江中吹奏楽部中部日本吹奏楽コンクール出場記念壮行演奏会 |

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

| | 月 日 | 委 員 名 | 活 動 内 容 |
|-----|--------|------------------|--------------------------------|
| 52 | 9月28日 | 川元、宮崎 | 小学校運動会（三国西） |
| 53 | 9月29日 | 川元、若松、牧田、宮崎 | 小学校運動会（雄島、春江、春江西、東十郷） |
| 54 | 9月30日 | 川元、若松、宮崎 | 小学校運動会（大関、加戸） |
| 55 | 10月1日 | 川元 | 巡回公演事業 本公演（児童劇） |
| 56 | 10月2日 | 川元、田中 | 小学校運動会（長畝、高椋） |
| 57 | 10月5日 | 川元、牧田 | 小学校運動会（春江東） |
| 58 | 10月6日 | 川元 | 巡回公演事業 本公演（合唱） |
| 59 | 10月7日 | 川元、田中、宮崎 | 小学校運動会（三国北、鳴鹿） |
| 60 | 10月9日 | 川元、牧田 | 思い出花火 |
| 61 | 10月14日 | 川元、牧田、田中、宮崎 | 小学校運動会（三国南、磯部、大石） |
| 62 | 10月16日 | 川元 | 小学校運動会（木部） |
| 63 | | 川元 | 福井県PTA連合会地区別研修会（オンライン） |
| 64 | 10月21日 | 川元、若松 | 第2回市民文化祭実行委員会 |
| 65 | 10月22日 | 川元 | 第54回福井県造形教育研究大会「あわら・坂井大会」 |
| 66 | 10月23日 | 川元、田中 | 小学校運動会（平章） |
| 67 | 10月30日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 第15回坂井市民文化祭総合開会式 |
| 68 | 10月31日 | 川元、若松 | 第15回坂井市民文化祭 |
| 69 | 11月5日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 教育委員県内研修～6日 |
| 70 | 11月6日 | 川元 | 第14回坂井市エスキーテニス選手権大会 |
| 71 | | 川元 | 第1回坂井市長杯卓球バレー交流大会 |
| 72 | | 川元 | 日本AMCカップ閉会式 |
| 73 | 11月15日 | 川元 | 福井県市町教育長会議 |
| 74 | 11月19日 | 川元 | 健全育成一筆啓上標語コンクール表彰式 |
| 75 | 11月20日 | 川元 | 教育委員会と学校の未来について語る会 |
| 76 | 11月21日 | 川元、若松 | 第8回さかい九頭竜音楽コンクール 受賞者演奏会 |
| 77 | 11月23日 | 川元 | 丸岡町体操祭 |
| 78 | 11月25日 | 川元 | 第2回坂井地区教育長会 |
| 79 | 11月26日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 坂井地区合同教育委員会 |
| 80 | 12月2日 | 若松、宮崎 | ふれあい文化子どもスクール |
| 81 | 12月14日 | 川元 | 地域との協働による総合探求授業公開、運営指導委員会 |
| 82 | 12月15日 | 川元 | 高校総体サッカー競技委員会総会 |
| 83 | 1月5日 | 川元 | 第3回教育振興会代表者会 |
| 84 | 1月22日 | (川元) | 全国小・中学生競技かるた選手権福井大会（中止） |
| 85 | 1月26日 | (川元、若松、牧田、田中、宮崎) | 夏井いつき句会ライブ（中止） |
| 86 | 1月28日 | 川元、田中（若松、牧田、宮崎） | 一筆啓上賞発表会（オンライン） |
| 87 | | 川元、若松 | 坂井市民文化祭実行委員会（総括） |
| 88 | 2月5日 | (川元) | 令和3年度「福井ふるさと教育フェスタ」（中止） |
| 89 | 2月6日 | (川元) | 三国町地区対抗小学生スポーツ大会冬季大会（卓球大会）（中止） |
| 90 | 2月7日 | 川元 | 第3回坂井地区教育長会 |
| 91 | 2月9日 | 川元 | 福井県市町教育長会議（オンライン） |
| 92 | 2月11日 | (川元) | 坂井地区キャリア教育推進フォーラム（中止） |
| 93 | 2月13日 | 若松 | 文協 文化講演会 |
| 94 | 2月27日 | 川元 | こどもステージアート 夢の架け橋 |
| 95 | 3月10日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 総合教育会議 |
| 96 | 3月11日 | 川元、若松、牧田、田中 | 市内中学校卒業証書授与式（丸岡、春江、坂井） |
| 97 | 3月16日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 市内小学校卒業証書授与式 |
| 98 | 3月19日 | 田中、宮崎 | 市内中学校卒業証書授与式（三国、丸岡南） |
| 99 | 3月20日 | 川元 | 第16回坂井市民競技かるた大会 |
| 100 | | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 坂井市成人式 |

2 教育長、教育委員会委員の活動状況

| | 月 日 | 委 員 名 | 活 動 内 容 |
|-----|-------|----------------|----------------------------------|
| 101 | 3月21日 | 川元 | 三国中合唱部ラストコンサート |
| 102 | 3月26日 | (川元) | 坂井市小中学生俳句表彰式(中止) |
| 103 | 3月27日 | 川元 | ふくい桜マラソン2年前イベント TRIAL EVENT 2022 |
| 104 | 3月28日 | 川元 | 福井県市町教育長会議(オンライン) |
| 105 | 3月31日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 教職員離任式 |

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。

※指導主事訪問および全国大会出場激励会は、別途一覧表(次頁以降参照)があるため本表からは除いてあります。

※委員名の()は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため出席予定行事が縮小または中止になったものです。

2-1 指導主事学校訪問

| | 時 期 | 出席委員名 | 活 動 内 容 | |
|----|-----|--------|----------------|-------------------|
| 1 | 前期 | 5月12日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（三国中1回目） |
| 2 | | 5月26日 | 川元、若松、宮崎 | 指導主事学校訪問（丸岡中1回目） |
| 3 | | 6月1日 | 川元、若松、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（丸岡南中1回目） |
| 4 | | 6月2日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（春江中1回目） |
| 5 | | 6月3日 | 川元、若松、牧田、宮崎 | 指導主事学校訪問（坂井中1回目） |
| 6 | | 6月8日 | 川元、牧田、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（鳴鹿小） |
| 7 | | 6月10日 | 川元、宮崎 | 指導主事学校訪問（三国北小） |
| 8 | | 6月11日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（高椋小1回目） |
| 9 | | 6月16日 | 川元、若松、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（磯部小1回目） |
| 10 | | 6月17日 | 川元、若松、牧田、宮崎 | 指導主事学校訪問（兵庫小） |
| 11 | | 6月22日 | 川元、牧田、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（春江小1回目） |
| 12 | | 6月23日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（三国西小） |
| 13 | | 6月24日 | 川元、牧田、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（春江西小） |
| 14 | | 6月25日 | 川元、宮崎 | 指導主事学校訪問（雄島小） |
| 15 | 後期 | 10月5日 | 川元、若松、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（三国中2回目） |
| 16 | | 10月6日 | 川元、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（平章小学校） |
| 17 | | 10月7日 | 川元、若松 | 指導主事学校訪問（坂井中2回目） |
| 18 | | 10月8日 | 川元、若松、牧田、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（木部小学校） |
| 19 | | 10月12日 | 川元、若松、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（長畝小学校） |
| 20 | | 10月13日 | 川元、若松、牧田 | 指導主事学校訪問（春江中2回目） |
| 21 | | 10月14日 | 川元、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（明章小） |
| 22 | | 10月21日 | 川元、牧田、宮崎 | 指導主事学校訪問（加戸小） |
| 23 | | 10月27日 | 川元、若松、牧田、宮崎 | 指導主事学校訪問（三国南小） |
| 24 | | 11月2日 | 川元、若松、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（丸岡中2回目） |
| 25 | | 11月4日 | 川元、牧田、宮崎 | 指導主事学校訪問（春江東小） |
| 26 | | 11月11日 | 川元、若松、牧田、宮崎 | 指導主事学校訪問（大石小） |
| 27 | | 11月12日 | 川元、田中 | 指導主事学校訪問（磯部小2回目） |
| 28 | | 11月16日 | 川元、若松、田中、宮崎 | 指導主事学校訪問（東十郷小） |
| 29 | | 11月17日 | 川元、若松、田中 | 指導主事学校訪問（春江小2回目） |
| 30 | | 11月18日 | 川元、若松、宮崎 | 指導主事学校訪問（大関小） |
| 31 | | 11月19日 | 川元、牧田、田中 | 指導主事学校訪問（丸岡南中2回目） |
| 32 | | 11月24日 | 川元、牧田 | 指導主事学校訪問（高椋小2回目） |

2-2 全国大会等出場激励会

| | 開催日 | 内 容 | 所管課 |
|----|-----------|---|-----------|
| 1 | 令和3年7月15日 | 全国大会出場激励会（全日本卓球選手権） | 生涯学習スポーツ課 |
| 2 | 7月16日 | 全国大会出場激励会（全国小学生ハンドボール） | 生涯学習スポーツ課 |
| 3 | 7月28日 | 全国大会出場激励会（全国高等学校総合文化祭） | 文化課 |
| 4 | 8月2日 | 全国大会出場激励会（全日本小学生ソフトテニス選手権） | 生涯学習スポーツ課 |
| 5 | 8月13日 | 全国大会出場激励会（少年少女囲碁大会） | 文化課 |
| 6 | 9月29日 | 全国大会出場激励会（中部日本吹奏楽コンクール・東日本学校吹奏楽大会） | 文化課 |
| 7 | 10月1日 | 全国大会出場激励会（全国中学生ビーチバレーボール） | 生涯学習スポーツ課 |
| 8 | 10月4日 | 全国大会出場激励会（全国小学生陸上競技交流大会） | 生涯学習スポーツ課 |
| 9 | 10月18日 | 全国大会出場激励会（U16陸上競技大会） | 生涯学習スポーツ課 |
| 10 | 10月25日 | 全国大会出場激励会（全日本中学女子軟式野球） | 生涯学習スポーツ課 |
| 11 | 10月26日 | 全国大会出場激励会（U16陸上競技大会） | 生涯学習スポーツ課 |
| 12 | 10月29日 | 全国大会出場激励会（全日本吹奏楽コンクール） | 文化課 |
| 13 | 11月18日 | 全国大会出場激励会（生活体験発表大会） | 文化課 |
| 14 | 12月6日 | 全国大会出場激励会（全日本チアダンス選手権、日本学生チアダンス選手権） | 生涯学習スポーツ課 |
| 15 | 12月15日 | 全国大会出場激励会（全国高校サッカー選手権） | 生涯学習スポーツ課 |
| 16 | 12月16日 | 全国大会出場激励会（バトントワーリング全国大会、都道府県対抗中学バレーボール） | 生涯学習スポーツ課 |
| 17 | 12月21日 | 全国大会出場激励会（全国小学生バドミントン） | 生涯学習スポーツ課 |
| 18 | 令和4年1月6日 | 全国大会出場激励会（全国高等専門学校体育大会ハンドボール・サッカー） | 生涯学習スポーツ課 |
| 19 | 1月13日 | 全国大会出場激励会（全日本高校女子サッカー選手権） | 生涯学習スポーツ課 |
| 20 | 1月28日 | 冬季オリンピック出場激励会（北京2022） | 生涯学習スポーツ課 |
| 21 | 2月16日 | 全国大会出場激励会（全日本女子フットサル、FUTSAL地域女子チャンピオンズリーグ） | 生涯学習スポーツ課 |
| 22 | 3月9日 | 全国大会出場激励会（日本陸上競技選手権室内競技） | 生涯学習スポーツ課 |
| 23 | 3月14日 | 全国大会出場激励会（全日本少年春季軟式野球、都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール、全国ミニバスケットボール、全国バトントワーリング選手権） | 生涯学習スポーツ課 |
| 24 | 3月24日 | 全国大会出場激励会（USAオールスターナショナルズ、全日本高等学校選抜ソフトテニス、全国ジュニア選抜ソフトテニス、全国小学生ソフトテニス、全国中学生ハンドボール選手権、全国高等学校剣道、全国中学校選抜ソフトテニス） | 生涯学習スポーツ課 |

※教育長が出席

15 12月15日、全国大会出場激励会（全国高校サッカー選手権）は、教育長、若松委員が出席

3 委員会、審議会等の審議状況

| 名 称 | 委員数 | 会 議 開催数 | 件 名 | 種別 | 年月日 |
|-----------------------------|--------|------------|---|----|--|
| 坂井市教育支援委員会 | 37(29) | 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会 園児児童生徒の就学先個別判断・決定について ・教育支援委員専門委員会 園児児童生徒の就学相談について | 協議 | R3.4.21 R3.5.19 R3.7.7 R3.7.27 R3.8.4 R3.8.18 R3.11.10 R4.1.12 |
| 坂井市社会教育委員の会 | 15(5) | 3 | <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任委員の委嘱式 ・福井県社会教育委員連絡協議会表彰伝達 ・令和3年度社会教育関係事業の概要について ・令和3年度社会教育委員の会議運営について <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰伝達 福井県社会教育連絡協議会会長表彰 ・坂井市生涯学習講演会について <p>第3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度社会教育事業等報告 ・令和4年度社会教育事業計画 ・任期満了に伴う委員改選について | 協議 | R3.7.8 R3.12.17 R4.3.23 |
| 坂井市スポーツ推進委員会 | 38(11) | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4・5年度の委員委嘱 ・三役および部長(案) ・令和3年度予算(委員会計) ・令和4年度の事業方針および事業計画 ・副部長、会計担当の選出 ・あわら市(+福井市)との交流 ・ウォークラリー ・研修会 ・しあわせの花体操 | 協議 | R3.4.14 R3.5.14 R3.7.26 R3.7.28 R3.10.5 R3.10.13 R3.12.21 R3.3.24 |
| 坂井市青少年愛護センター運営委員会 | 20(5) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・愛護センターの事業報告 ・愛護センターの事業計画 ・青少年の動向 ・補導活動、相談業務 | 協議 | R3.7.1 R3.12.2 |
| ワールドマスターズゲームズ2021関西坂井市実行委員会 | 17(0) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・第4回総会 ・委員及び事務局員の変更 ・会長専決処分承認 ・令和2年度事業報告 ・令和2年度収支決算報告 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度収支予算 <p>第5回総会(臨時総会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の変更 ・開催期間の変更 | 協議 | R3.4.19 R3.12.24 |

3 委員会、審議会等の審議状況

| 名 称 | 委員数 | 会 議 開催数 | 件 名 | 種別 | 年月日 |
|-----------------------|-------|------------|---|----------------|--------------------------------|
| 坂井市文化財保護審議会 | 9(1) | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局の職員体制について ・戸田委員の辞任について ・文化財所有者からの要望等について ・文化財の新規指定案件について ・文化財看板の修繕について ・坂井市文化財保存活用地域計画の進捗について ・坂井市文化財保存活用地域計画の進捗の内容について ・文化財の新規指定案件の進捗について ・戸田委員の後任について ・坂井市文化財保存活用地域計画について ・文化財の新規指定案件について | 会議 会議 会議 | R3.6.22 R3.11.17 R4.2.18 |
| 坂井市文化未来会議 | 12(4) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の主な文化振興事業等について ・文化振興事業等の事業経過および視察研修について ・先進地視察研修(福井県敦賀市・南越前町:敦賀市立博物館・今庄宿等) | 会議 会議 視察 | R3.8.20 R4.1.31 R4.3.30 |
| 坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館運営審議会 | 6(2) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画について ・令和3年度の事業経過および次年度の運営計画について | 会議 会議 | R3.9.30 R4.3.22 |
| 六呂瀬山古墳群調査整備委員会 | 4(0) | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度六呂瀬山古墳群調査成果について ・六呂瀬山古墳群の事業について | 会議 | R3.10.18 |
| 坂井市文化財保存活用地域計画協議会 | 19(2) | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・調査および計画作成進捗状況の報告(ワークショップ、フォーラム、パブリックコメント等の報告含む) ・計画内容の協議(計画最終案、資料編、概要版等) | 会議 会議 会議 | R3.6.1 R3.11.4 R4.2.13 |
| みくに龍翔館リニューアル検討委員会 | 8(1) | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度リニューアル事業の経過について ・「みくに龍翔館」の新しい施設名称について ・館名ロゴ・キャラクターについて ・展示プランの変更点について ・今後の事業スケジュールについて ・その他 | 会議 | R4.1.21 |
| 坂井市図書館協議会 | 11(8) | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の概要について ・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算報告について ・令和4年度事業計画について ・令和4年度坂井市立図書館利用状況、各館の行事報告 ・令和4年度主要事業および予算の概要について | 協議 | R3.7.21 R4.3.2 |

※委員数のうち()内は女性の委員数

4 教育委員会関係の許認可の状況

(1) 文化財の指定状況

<指定文化財の現状>

令和4年3月31日現在

| 区 分 | 国 | | | 県指定 | 市 | | 計 |
|----------------|----|-------|----|-----|----|----|-----|
| | 指定 | 選定・選択 | 登録 | | 指定 | 登録 | |
| 国 宝 | 1 | | | | | | 1 |
| 重要文化財 | 9 | | | | | | 9 |
| 有形文化財 | | | 12 | 20 | 34 | 3 | 69 |
| 無形文化財 | | | | | | | 0 |
| 重要有形民俗文化財 | | | | | | | 0 |
| 有形民俗文化財 | | | | | 1 | | 1 |
| 重要無形民俗文化財 | | | | | | | 0 |
| 無形民俗文化財 | | | | 6 | 6 | | 12 |
| 特別史跡 | | | | | | | 0 |
| 史 跡 | 2 | | | 3 | 12 | 3 | 20 |
| 特別名勝 | | | | | | | 0 |
| 名 勝 | 1 | | | | | | 1 |
| 特別天然記念物 | | | | | | | 0 |
| 天然記念物 | 1 | | | 3 | 6 | | 10 |
| 特別名勝天然記念物 | | | | | | | 0 |
| 名勝天然記念物 | 1 | | | | | | 1 |
| 重要伝統的建造物群 保存地区 | | | | | | | 0 |
| 選定保存技術 | | | | | | | 0 |
| 登録記念物 | | | 1 | | | | 1 |
| 合 計 | 15 | 0 | 13 | 32 | 59 | 6 | 125 |

※令和3年度は増減なし

IV 教育委員会関係事業の取組実績

令和3年度事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

| | | | | | | | | |
|---|------------|-----------|---|----------|-----------------|-------------------|----|--------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 01 | 教育総務費 | 目 | 01 | 教育委員会費 |
| 大 事 業 | 001 | 教育委員会運営事業 | | | 決 算 書 P. 193 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 教育委員会運営事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 教育総務課 | | |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | |
| | | 3,019 千円 | | 2,586 千円 | | 433 千円 | | |
| 前年度 | | 2,973 千円 | | 2,544 千円 | | 429 千円 | | |
| 主な 特定 財源 | | | | | | 千円 千円 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催する。また、学校教育、社会教育、体育および芸術分野で優秀な成績を収め、活躍した人などを表彰し、一層の振興を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ◆教育委員会運営事業 | | | | 2,498 千円 | | | | |
| ○報酬 | 教育委員会委員 4名 | | | 2,400 千円 | | | | |
| ○報償費 | | | | 5 千円 | | | | |
| ○旅費 | 費用弁償、特別旅費 | | | 87 千円 | | | | |
| ○需用費 | 印刷製本費 | | | 6 千円 | | | | |
| ◆教育委員会表彰事業 | | | | 88 千円 | | | | |
| ○報償費 | 記念品等 | | | 78 千円 | | | | |
| ○需用費 | 消耗品費、印刷製本費 | | | 10 千円 | | | | |
| 【事業の成果等】 月1回の定例会および臨時会を合わせて、教育委員会を14回、また、総合教育会議を2回開催し、教育行政について協議を行った。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|---------------|-----------------------|---|------------|-----------------------------|-------------------|----|------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 01 | 教育総務費 | 目 | 02 | 事務局費 |
| 大 事 業 | 051 | 教育委員会事務局事業 | | | 決 算 書 P. 195 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 教育委員会事務局事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 教育総務課 | | |
| 予算額 | 当初 補4 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | |
| | | 39,834 千円 | | 29,011 千円 | | 10,823 千円 | | |
| 前年度 | | 134,340 千円 | | 122,294 千円 | | 12,046 千円 | | |
| 主な 特定 財源 | 寄附金 繰入金 | 指定寄附金 まちづくり整備基金繰入金 | | | 1,500 千円 21,000 千円 千円 | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。また、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、各種対策を講じる。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ◆教育委員会事務局事業 | | | | 7,941 千円 | | | | |
| ○報酬 | 会計年度任用職員 | | | 1,627 千円 | | | | |
| ○職員手当等 | 期末手当 | | | 229 千円 | | | | |
| ○旅費 | 費用弁償 | | | 24 千円 | | | | |
| ○交際費 | 教育長交際費 | | | 70 千円 | | | | |
| ○需用費 | 消耗品費、食糧費 | | | 182 千円 | | | | |
| ○委託料 | 中高連絡協議会事業委託料他 | | | 860 千円 | | | | |
| ○賃借料 | 車両借上料 | | | 6 千円 | | | | |
| ○負担金 | 坂井地区教育振興会負担金他 | | | 2,953 千円 | | | | |
| ○補助金 | 小中学校教育振興費奨励金他 | | | 1,990 千円 | | | | |
| ◆省エネ対策事業 | | | | 27 千円 | | | | |
| ○旅費 | 特別旅費 | | | 10 千円 | | | | |
| ○負担金 | 研修参加負担金 | | | 17 千円 | | | | |
| ◆新型コロナウイルス対策事業 | | | | 21,043 千円 | | | | |
| ○需用費 | 消耗品費 | | | 762 千円 | | | | |
| ○委託料 | 施設管理委託料 | | | 19,127 千円 | | | | |
| ○賃借料 | 電気機器借上料 | | | 77 千円 | | | | |
| ○工事請負費 | 空調機取付工事費 | | | 496 千円 | | | | |
| ○備品購入費 | 施設用備品購入費 | | | 581 千円 | | | | |
| 【事業の成果等】 教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い、教育振興に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症に関しては、清掃業務の委託や感染対策の消耗品・備品の購入などにより感染拡大防止に努めた。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|-----------------|-------------------------|------------|-------------|------------|-----------|----|--------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 01 | 学校管理費 |
| 大 事 業 | 051 | 小学校管理事業 | | | | | | 決 算 書 |
| | | | | | | | | P. 197 |
| 中 事 業 | 01 | 小学校管理事業 | 所管 | 教育委員会事務局 | | | | |
| | | | 部局 | 教育総務課 | | | | |
| 予 算 額 | 当初 | 補2 | 補9 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | |
| | 433,862 千円 | | | 387,901 千円 | | 45,961 千円 | | |
| 前年度 | 605,938 千円 | | | 509,265 千円 | | 96,673 千円 | | |
| 主な | 国庫支出金 | 学校保健特別対策事業費補助金 | | 9,191 千円 | | | | |
| 特定 | 国庫支出金 | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 | | 8,867 千円 | | | | |
| 財源 | 繰入金 | まちづくり整備基金繰入金 | | 42,200 千円 | | | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | 0 千円 | | | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | | |
| 【上記決算額内訳】 | | | | | | | | |
| 当 該 年 度 分 | 予 算 額 | 415,462 千円 | | 決 算 額 | 369,519 千円 | | | |
| 前 年 度 繰 越 分 | 繰 越 分 予 算 額 | 18,400 千円 | | 繰 越 分 決 算 額 | 18,382 千円 | | | |
| | 翌 年 度 へ の 繰 越 額 | 20,700 千円 | | | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | |
| 小学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校の適正な維持管理を行う。 | | | | | | | | |
| 新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒液などの消耗品や備品を購入するなど、感染拡大防止を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ◆ | 小学校管理事業 | 本庁 | 261,216 千円 | | | | | |
| | ○給料 | 会計年度任用職員・用務員 | 14,960 千円 | | | | | |
| | ○職員手当等 | 通勤手当、期末手当 | 3,475 千円 | | | | | |
| | ○旅費 | 用務員 | 304 千円 | | | | | |
| | ○需用費 | 修繕料他 | 20,745 千円 | | | | | |
| | ○役務費 | 通信運搬費、火災保険料他 | 7,145 千円 | | | | | |
| | ○委託料 | 各種保守点検委託料他 | 56,880 千円 | | | | | |
| | ○使用料 | Webフィルタリング、ドメイン使用料他 | 6,018 千円 | | | | | |
| | ○賃借料 | 電算機器、土地借上料他 | 90,003 千円 | | | | | |
| | ○工事請負費 | 春江東小学校塗装工事他 | 56,292 千円 | | | | | |
| | ○原材料費 | 机天板、椅子座面、グラウンド安定剤他 | 1,688 千円 | | | | | |
| | ○備品購入費 | 緊急地震速報装置他 | 3,706 千円 | | | | | |
| 【次頁へ】… | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|---------|---------------------|------------|----------|------|---|----|--------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 01 | 学校管理費 |
| 大 事 業 | 051 | 小学校管理事業 | | | | | | 決 算 書 |
| | | | | | | | | P. 197 |
| 中 事 業 | 01 | 小学校管理事業 | 所管 | 教育委員会事務局 | | | | |
| | | | 部局 | 教育総務課 | | | | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | |
| ◆ | 小学校管理事業 | 各小学校 | 125,489 千円 | | | | | |
| | | 市内19の小学校にて対応する維持管理費 | | | | | | |
| | ○需用費 | 消耗品費、光熱水費他 | 101,648 千円 | | | | | |
| | ○役務費 | 通信運搬費他 | 5,029 千円 | | | | | |
| | ○委託料 | 各種保守点検料 | 3,664 千円 | | | | | |
| | ○賃借料 | コピー機リース料他 | 499 千円 | | | | | |
| | ○工事請負費 | 網戸取付工事他 | 1,674 千円 | | | | | |
| | ○備品購入費 | 空気清浄機、ジェットヒーター他 | 12,917 千円 | | | | | |
| | ○負担金 | 研修参加負担金 | 58 千円 | | | | | |
| | | (翌年度繰越) | | | | | | |
| | ○需用費 | 新型コロナウイルス対策消耗品費 | 19,952 千円 | | | | | |
| | ○備品購入費 | オーソメータ | 748 千円 | | | | | |
| ◆ | 省エネ対策事業 | | 1,196 千円 | | | | | |
| | ○使用料 | デマンド監視システム使用料 | 1,196 千円 | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | |
| 小学校の適正な維持管理に努めた。 | | | | | | | | |
| また、各小学校において新型コロナウイルス感染症対策を実施し感染拡大防止に努めた。なお、コロナ関係予算を一部翌年度へ繰り越し、引き続き感染拡大防止を図る。 | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 01 | 学校管理費 |
|---|--------------|--------------------|-----|------------|------------|------------|------------|--------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 101 | 小学校施設整備事業 | | | | 決 算 書 | |
| | | | | | | | | P. 199 | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 小学校施設整備事業 | 所管 | 教育委員会事務局 | | | |
| | | | | | 部局 | 教育総務課 | | | |
| 予算額 | 当初 | 補2 | 補9 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| 1,385,870 | 千円 | | | 522,106 | 千円 | | 863,764 千円 | | |
| 前年度 | 1,377,326 千円 | | | 893,708 千円 | | 483,618 千円 | | | |
| 主な | 国庫支出金 | 施設整備費補助金 | | 197,132 千円 | | | | | |
| 特定 | 市債 | 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債 | | 208,100 千円 | | | | | |
| 財源 | 市債 | 合併特例事業債 | | 12,800 千円 | | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【上記決算額内訳】 | | | | | | | | | |
| 当該年度分 | 予算額 | 1,103,570 千円 | | 決算額 | 262,418 千円 | | | | |
| 前年度繰越分 | 繰越分予算額 | 282,300 千円 | | 繰越分決算額 | 259,688 千円 | | | | |
| 翌年度への繰越額 | | 830,920 千円 | | | | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | |
| 児童の安全安心を確保し災害に備えるため、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校について、計画的に施設の大規模改造工事などを行う。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○委託料 | | 27,644 千円 | | | | | | | |
| 三国北、明章小学校大規模改造工事監理委託料 | | 6,906 千円 | | | | | | | |
| 雄島小学校大規模改造工事実施設計業務委託料他 | | 13,877 千円 | | | | | | | |
| アスベスト分析調査委託料(雄島・磯部小) | | 2,814 千円 | | | | | | | |
| 電算機器移設等作業委託料(三国北・明章小) | | 4,047 千円 | | | | | | | |
| ○工事請負費 | | 491,272 千円 | | | | | | | |
| 三国北小学校大規模改造工事<Ⅱ期> | | 234,840 千円 | | | | | | | |
| 明章小学校大規模改造工事<Ⅰ期> | | 178,860 千円 | | | | | | | |
| 小学校トイレ改修工事(三国南小他4校) | | 77,572 千円 | | | | | | | |
| ○備品購入費 三国南小学校階段昇降車 | | 3,190 千円 | | | | | | | |
| (翌年度繰越) | | | | | | | | | |
| ○委託料 明章、磯部、雄島小学校大規模改造工事監理委託料 | | 15,284 千円 | | | | | | | |
| ○工事請負費 | | 815,636 千円 | | | | | | | |
| 明章小学校大規模改造工事<Ⅱ期> | | 280,636 千円 | | | | | | | |
| 磯部小学校大規模改造工事 | | 210,000 千円 | | | | | | | |
| 雄島小学校大規模改造工事<Ⅰ期> | | 320,000 千円 | | | | | | | |
| 加戸小学校音楽室空調設備改修工事 | | 5,000 千円 | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 教育環境の整備・改善のため、大規模改造工事2校と、校舎大規模改造工事に向けて、1校の実施設計業務委託を行った。また、昨年に引き続き、5校のトイレ改修工事を行った。 | | | | | | | | | |
| 大規模改造工事3校分等については、翌年度へ繰り越して、小学校の環境整備を図る。 | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 03 | 中学校費 | 目 | 01 | 学校管理費 |
|---|------------|-------------------------|-----|------------|------------|-----------|-----------|--------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 中学校管理事業 | | | | 決 算 書 | |
| | | | | | | | | P. 203 | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 中学校管理事業 | 所管 | 教育委員会事務局 | | | |
| | | | | | 部局 | 教育総務課 | | | |
| 予算額 | 当初 | 補2 | 補9 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| 151,223 | 千円 | | | 138,319 | 千円 | | 12,904 千円 | | |
| 前年度 | 259,104 千円 | | | 218,700 千円 | | 40,404 千円 | | | |
| 主な | 国庫支出金 | 学校保健特別対策事業費補助金 | | 3,598 千円 | | | | | |
| 特定 | 国庫支出金 | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 | | 3,468 千円 | | | | | |
| 財源 | 繰入金 | まちづくり整備基金繰入金 | | 3,700 千円 | | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【上記決算額内訳】 | | | | | | | | | |
| 当該年度分 | 予算額 | 144,023 千円 | | 決算額 | 131,123 千円 | | | | |
| 前年度繰越分 | 繰越分予算額 | 7,200 千円 | | 繰越分決算額 | 7,196 千円 | | | | |
| 翌年度への繰越額 | | 8,100 千円 | | | | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | |
| 中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校の適正な維持管理を行う。 | | | | | | | | | |
| 新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒液などの消耗品・備品を購入するなど、感染拡大防止を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ◆中学校管理事業 本庁 | | 71,037 千円 | | | | | | | |
| ○旅費 | | 会計年度任用職員・用務員 | | 15 千円 | | | | | |
| ○需用費 | | 修繕料他 | | 8,341 千円 | | | | | |
| ○役務費 | | 通信運搬費、火災保険料他 | | 1,767 千円 | | | | | |
| ○委託料 | | 各種保守点検委託料他 | | 22,228 千円 | | | | | |
| ○使用料 | | Webフィルタリング、ドメイン使用料他 | | 1,596 千円 | | | | | |
| ○賃借料 | | 電算機器、土地借上料他 | | 29,940 千円 | | | | | |
| ○工事請負費 | | 春江中学校グラウンド散水ポンプ更新工事 | | 4,928 千円 | | | | | |
| ○原材料費 | | 机天板、椅子座面、グラウンド安定剤 | | 533 千円 | | | | | |
| ○備品購入費 | | | | 1,689 千円 | | | | | |

【次頁へ】...

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 03 | 中学校費 | 目 | 01 | 学校管理費 |
|--|---|----|-----|---------|----|------|---------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 中学校管理事業 | | | 決算書 P. 203 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 中学校管理事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 教育総務課 | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | | |
| ◆中学校管理事業 各中学校 66,967 千円 | | | | | | | | | |
| 市内5中学校にて対応する維持管理費 | | | | | | | | | |
| ○需用費 消耗品費、光熱水費他 57,399 千円 | | | | | | | | | |
| ○役務費 通信運搬費他 2,384 千円 | | | | | | | | | |
| ○委託料 各種保守点検料 1,572 千円 | | | | | | | | | |
| ○賃借料 コピー機リース料他 371 千円 | | | | | | | | | |
| ○工事請負費 網戸取付工事他 1,454 千円 | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 配膳台、プロジェクター他 3,772 千円 | | | | | | | | | |
| ○負担金 研修参加負担金 15 千円 | | | | | | | | | |
| (翌年度繰越) | | | | | | | | | |
| ○需用費 新型コロナウイルス対策消耗品費 7,352 千円 | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 オーディオメータ 748 千円 | | | | | | | | | |
| ◆省エネ対策事業 315 千円 | | | | | | | | | |
| ○使用料 デマンド監視システム使用料 315 千円 | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 中学校の適正な維持管理に努めた。 | | | | | | | | | |
| また、各中学校において新型コロナウイルス感染症対策を実施し感染拡大防止に努めた。なお、コロナ関係予算を一部翌年度へ繰り越し、引き続き感染拡大防止を図る。 | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 03 | 中学校費 | 目 | 01 | 学校管理費 | |
|--|---|----|------------|-----------|-----------|-----------|---------------|-------------------|------------------|--|
| 大 | 事 | 業 | 101 | 中学校施設整備事業 | | | 決算書 P. 205 | | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 中学校施設整備事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 教育総務課 | | |
| 予 | 算 | 額 | 補4 | 補9 | 決算額 | | | 不用額 | | |
| | | | 123,000 千円 | | 1,089 千円 | | | 121,911 千円 | | |
| 前年度 | | | 158,700 千円 | | 90,836 千円 | | | 67,864 千円 | | |
| 主 | な | 特 | 千円 | | | | | | | |
| 定 | 財 | 源 | 千円 | | | | | | | |
| | | | 千円 | | | | | | | |
| 予 | | | 算 | | | 流 | | | 用(増減)額 | |
| | | | 0 千円 | | | 予 | | | 備費充用額 | |
| | | | 0 千円 | | | | | | 0 千円 | |
| 【上記決算額内訳】 | | | | | | | | | | |
| 当 | | | 該 | | | 年 | | | 度分 | |
| 予 | | | 算 | | | 額 | | | 123,000 千円 | |
| 決 | | | 算 | | | 額 | | | 1,089 千円 | |
| 翌 | | | 年 | | | 度 | | | へ | |
| 繰 | | | り | | | 越 | | | 額 | |
| | | | 120,000 千円 | | | | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | | |
| 市内全中学校において、空調設備が未整備である美術室や技術室等の特別教室へ空調設備の整備を行う。 | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | | |
| ○ | | | 委 | | | 託 | | | 料 | |
| | | | 中 | | | 学 | | | 校特別教室空調工事設計業務委託料 | |
| | | | | | | | | | 1,089 千円 | |
| 施工場所：全中学校 | | | | | | | | | | |
| 設計内容：美術室、技術室等の特別教室への空調設備新規設置 | | | | | | | | | | |
| (翌年度繰越) | | | | | | | | | | |
| ○ | | | 工 | | | 事 | | | 請 | |
| | | | 負 | | | 費 | | | 中 | |
| | | | 学 | | | 校特別教室空調工事 | | | 120,000 千円 | |
| 施工場所：全中学校 | | | | | | | | | | |
| 整備内容：美術室、技術室等の特別教室への空調設備新規設置 | | | | | | | | | | |
| 受変電設備の改修（三国・丸岡南・春江中） | | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | | |
| 中学校の特別教室への空調設備設置に向けた設計業務委託を行った。空調設備設置工事については、翌年度へ繰り越し、施設整備を図る。 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|------|------------|-------|--------------------|-----------------|-------------------|----|-----------|
| 予 算 款 | 13 | 諸支出金 | 項 | 02 | 基金費 | 目 | 14 | 教育振興整備基金費 |
| 大 事 業 | 001 | 教育振興整備基金 | | | 決 算 書 P. 231 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 教育振興整備基金 | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 教育総務課 | | |
| 予 算 額 | 当 初 | 決 算 額 | | | 不 用 額 | | | |
| | | 5 千円 | | | 1 千円 | | | |
| 前年度 | | 5,004 千円 | | | 5,004 千円 | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | 財産収入 | 教育振興整備基金利子 | | | 1 千円 | | | |
| | | | | | 千円 | | | |
| | | | | | 千円 | | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | | 0 千円 | | | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興および教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 ○積立金 教育振興整備基金積立金 1 千円 | | | | | | | | |
| (参考) 教育振興整備基金の状況 (単位：千円) | | | | | | | | |
| 令和2年度末 現在高 ① | | 令和3年度中増減額 | | 令和3年度末 現在高①-②+③ | | | | |
| | | 取崩額 ② | 積立額 ③ | | | | | |
| 51,446 | | 951 | 1 | 50,496 | | | | |
| 【事業の成果等】 利子を積み立てるなど、適切に基金管理を行った。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|-----------------|----------------------|-------|----|-----------------|-------------------|----|--------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 01 | 教育総務費 | 目 | 01 | 教育委員会費 |
| 大 事 業 | 051 | 教育相談事業 | | | 決 算 書 P. 193 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 教育相談事業 | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | | |
| 予 算 額 | 当 初 | 決 算 額 | | | 不 用 額 | | | |
| | | 17,498 千円 | | | 16,889 千円 | | | |
| 前年度 | | 18,554 千円 | | | 17,825 千円 | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | 県支出金 | スクールソーシャルワーカー活用事業委託金 | | | 2,952 千円 | | | |
| | | | | | 千円 | | | |
| | | | | | 千円 | | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | | 0 千円 | | | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰、社会的自立への支援、併せて保護者に対して子どもの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ◆教育相談事業 | | 11,980 千円 | | | | | | |
| ○報酬 | 指導員4名、訪問員1名 | 9,152 千円 | | | | | | |
| ○職員手当等 | | 1,368 千円 | | | | | | |
| ○報償費 | 協力者謝礼他 | 301 千円 | | | | | | |
| ○旅費 | 費用弁償、普通旅費 | 330 千円 | | | | | | |
| ○需用費 | 消耗品費、光熱水費 | 517 千円 | | | | | | |
| ○役務費 | 電話料、火災保険料、傷害保険料 | 102 千円 | | | | | | |
| ○委託料 | 各種保守点検料他 | 114 千円 | | | | | | |
| ○使用料 | インターネット使用料 | 51 千円 | | | | | | |
| ○賃借料 | 電算機器、車両借上料 | 40 千円 | | | | | | |
| ○負担金 | 全国適応指導教室連絡協議会会費 | 5 千円 | | | | | | |
| ◆スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業 | | 4,909 千円 | | | | | | |
| ○報酬 | 2名 | 4,339 千円 | | | | | | |
| ○職員手当等 | 2名 | 386 千円 | | | | | | |
| ○旅費 | | 184 千円 | | | | | | |
| 【事業の成果等】 不登校の児童生徒に対し、適応指導教室と学校が連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行った。また、学校対応が困難な事案については、スクールソーシャルワーカーが学校と連携することにより福祉関係機関につなげるなど、児童生徒本人やその家庭に対して支援を行った。 | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | |
| | | R3実績 | R2実績 | | | | | |
| 教育相談件数（教育支援センター分） | | 432件 | 494件 | | | | | |
| 適応指導教室通室者復帰率 | | 82.3% | 58.3% | | | | | |
| SSW訪問活動のべ数 | | 474回 | 315回 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|------------|----------------|---|-----------|-------|-----------------|-------------------|--------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 01 | 教育総務費 | 目 | 01 | 教育委員会費 |
| 大 事 業 | 101 | 学校・学級運営支援事業 | | | | 決 算 書 P. 195 | | |
| 中 事 業 | 01 | 学校・学級運営支援事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | |
| | 118,041 千円 | 103,304 千円 | | 14,737 千円 | | | | |
| 前年度 | 103,040 千円 | 93,569 千円 | | 9,471 千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | 県支出金 | 学校運営支援員派遣事業補助金 | | | | 4,276 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | |
| 市内の小中学校における学級運営の円滑化のため、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う学級サポーターを配置するなど、教育環境の充実を図る。 小学校英語の教科化により、教員の指導力や児童生徒の英会話力の向上が求められていることから、教科指導員を配置し、授業内容の強化を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ◆学級運営支援事業 96,891 千円 | | | | | | | | |
| ○報酬 学級サポーター 79,085 千円 | | | | | | | | |
| ○給料 教科指導員 2,797 千円 | | | | | | | | |
| ○職員手当等 12,637 千円 | | | | | | | | |
| ○旅費 費用弁償 2,355 千円 | | | | | | | | |
| ○賃借料 車両借上料 17 千円 | | | | | | | | |
| ◆学校運営支援事業 6,413 千円 | | | | | | | | |
| 【負担割合】 県 2/3 市 1/3 | | | | | | | | |
| ○報酬 学校運営支援員21名 6,413 千円 | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | |
| 発達障がい等により、学習面や生活面で特別な支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化を図った。 英語の教科指導員を配置することによって、特に小学校教員の英会話や授業の進め方のスキルアップにつながった。 また、教員の事務負担軽減のため学校運営支援員を配置し、教員の多忙化解消を図った。 | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | |
| | | R3実績 | | R2実績 | | | | |
| 学級サポーター数 | | 71人 | | 66人 | | | | |
| 学校運営支援員数 | | 21人 | | 21人 | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|------------|-----------------|---|-----------|------|-----------------|-------------------|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
| 大 事 業 | 001 | 小学校教育振興事業 | | | | 決 算 書 P. 199 | | |
| 中 事 業 | 01 | 小学校教育振興事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | 当初 | 補2 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | |
| | 102,100 千円 | 90,651 千円 | | 11,449 千円 | | | | |
| 前年度 | 122,472 千円 | 115,400 千円 | | 7,072 千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | 県支出金 | 地域と進める体験推進事業補助金 | | | | 400 千円 | | |
| | 繰入金 | 寄附市民参画基金繰入金 | | | | 51,622 千円 | | |
| | 繰入金 | 教育振興整備基金繰入金 | | | | 951 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | |
| 児童が、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けられるように、特色ある教育活動を展開する中で、基礎的な知識や技能、思考力、判断力、表現力などの能力、主体的に学習に取り組む態度を育み、個性を生かす教育の充実に努める。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ◆小学校教育振興事業 本庁 70,167 千円 | | | | | | | | |
| 市内19小学校の統括的な教育振興事業 | | | | | | | | |
| ○報酬 外国語指導助手 9名 5,252 千円 | | | | | | | | |
| ○報償費 卒業記念品他 958 千円 | | | | | | | | |
| ○需用費 教材用消耗品費、教育用印刷費 3,232 千円 | | | | | | | | |
| ○委託料 各作品展運営委託料 55 千円 | | | | | | | | |
| ○使用料及び賃借料 30,339 千円 | | | | | | | | |
| 校外活動車両借上料 9,987 千円 | | | | | | | | |
| 授業支援ソフト使用料 9,900 千円 | | | | | | | | |
| デジタルドリル使用料他 10,452 千円 | | | | | | | | |
| ○備品購入費 29,890 千円 | | | | | | | | |
| 指導用タブレット端末購入費 11,996 千円 | | | | | | | | |
| 拡大提示装置、図書購入費他 17,894 千円 | | | | | | | | |
| ○負担金 坂井地区特別支援学級合同研修会負担金 441 千円 | | | | | | | | |
| ◆小学校教育振興事業 各小学校 18,184 千円 | | | | | | | | |
| 市内19小学校にて対応する教育振興事業 | | | | | | | | |
| ○報償費 協力者謝礼 78 千円 | | | | | | | | |
| ○需用費 10,956 千円 | | | | | | | | |
| 教材用消耗品費 10,366 千円 | | | | | | | | |
| 印刷製本費 175 千円 | | | | | | | | |
| 教材備品修繕料 415 千円 | | | | | | | | |
| ○備品購入費 教材用備品 7,150 千円 | | | | | | | | |
| 【次頁へ】... | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-----------|---|----|------|-----------------|-------------------|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
| 大 事 業 | 001 | 小学校教育振興事業 | | | | 決 算 書 P. 199 | | |
| 中 事 業 | 01 | 小学校教育振興事業 | | | | 所 管 部 局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |

…【前頁より】

- ◆地域と進める体験推進事業 2,300 千円
 【実施校】 4校（県事業対象）＋15校（県事業対象外）
 【負担割合】 県1/2（1校100千円限度）、市1/2
 ○委託料 地域と進める体験学習委託料 2,300 千円
 小学校1校あたり200千円・4校分 800 千円

| 実施校 | 主な活動計画内容 |
|------|--------------------------|
| 加戸小 | お茶の栽培、さつまいもづくり・収穫祭 |
| 三国西小 | らっきょう漬け体験・調理、地域の伝統・文化の学習 |
| 春江西小 | 地区のお宝発掘、魅力体験 |
| 大関小 | 農業体験、いちほまれの学習 |

※県補助によるふるさとの魅力発信推進事業

小学校1校あたり100千円・15校分 1,500 千円

| 実施校 | 主な活動計画内容 |
|------|------------------------------|
| 三国南小 | 農業体験・地域のよさ再発見活動・特産品を使ったお菓子開発 |
| 三国北小 | 三国の文化・産業学習、地元の名所・旧跡ウォークラリー |
| 雄島小 | 地区内探求、縦割りオリエンテーリング |
| 平章小 | 丸岡城の学習・清掃活動、オンライン発表会 |
| 長畝小 | 米・豆腐づくり体験 |
| 高椋小 | 野菜づくり・加工体験、味噌づくり、丸岡城の学習 |
| 鳴鹿小 | 農業体験（米・野菜づくり）、地域の歴史に関する体験学習 |
| 磯部小 | 野菜づくり・収穫祭、いそべ音頭の継承 |
| 明章小 | 米・野菜づくり体験、地区夏祭りでの作品展示 |
| 春江小 | 福井の魅力ある「ひと・もの・こと」の探求・発表 |
| 大石小 | ゆり球根の定植体験、いちほまれ・コシヒカリづくり体験 |
| 春江東小 | アーモンドの収穫、染め体験、アーモンドクッキーづくり |
| 東十郷小 | 農業体験、花いっぱい運動、陶芸・お茶・生け花体験 |
| 兵庫小 | 米・野菜づくり体験、福祉学習・発表 |
| 木部小 | 農業体験（もち米・さつまいもづくり）、笹もちづくり |

- ◆品川区連携プロジェクト事業 0 千円

【事業の成果等】

コロナ禍における臨時休校等の際にも、学校や教員が創意工夫をもって教育活動に取り組むとともに、タブレットを活用した教育も進めることができた。

GIGAスクール構想に基づき、授業支援ソフト、デジタルドリル、指導用タブレット等を整備し、ICTを活用した学びを推進した。

地域と進める体験推進事業により、各小学校で特色ある体験活動を展開できた。

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-------------|---|----|------|-----------------|-------------------|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
| 大 事 業 | 001 | 小学校教育振興事業 | | | | 決 算 書 P. 201 | | |
| 中 事 業 | 06 | 小学校児童健康管理事業 | | | | 所 管 部 局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |

| | | | |
|-------|-----------|-----------|--------|
| 予 算 額 | 当 初 | 決 算 額 | 不 用 額 |
| | 17,647 千円 | 17,265 千円 | 382 千円 |

| | | | |
|-----|-----------|-----------|--------|
| 前年度 | 18,920 千円 | 18,053 千円 | 867 千円 |
|-----|-----------|-----------|--------|

| | | | |
|---------|------|-----------------------|----------|
| 主 な 財 源 | 県支出金 | 子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金 | 147 千円 |
| | 特定収入 | 雑入（日本スポーツ振興センター負担金） | 2,240 千円 |
| | | | 千円 |

| | | | |
|-----------|------|--------|------|
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | 予備費充用額 | 0 千円 |
|-----------|------|--------|------|

【事業の目的】

児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。

- ・内科および歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年）
- ・寄生虫（1年～3年）、尿（全学年）、心電図（1年）

| | | |
|------|-----------------|----------|
| ○報償費 | 医師・歯科医師・薬剤師手当 | 9,993 千円 |
| ○需用費 | 事務用消耗品・印刷製本費 | 290 千円 |
| ○役務費 | 特定自主検査手数料 | 20 千円 |
| ○委託料 | 健康診断委託料 | 2,427 千円 |
| ○負担金 | 日本スポーツ振興センター負担金 | 4,535 千円 |
| | 加入者数 4,872 人 | |

【事業の成果等】

学校医と学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭が児童一人ひとりの健康課題について指導を行い、児童の健康の保持増進を図った。

また、県の補助を受け、秋の歯科健診を実施し、保健指導、経過観察および治療への継続的なケアを行い、むし歯予防対策を行った。

【事業の実績値等】

| | | |
|------------|------|------|
| | R3実績 | R2実績 |
| スポーツ保険給付件数 | 182件 | 176件 |

| | | | | | | | | |
|---|--------|--------------------|--------|------|--------|-----------------|-------------------|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
| 大 事 業 | 001 | 小学校教育振興事業 | | | | 決 算 書 P. 201 | | |
| 中 事 業 | 21 | 学校生活ボランティア推進事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | 当初 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | 168 千円 | | 50 千円 | | 118 千円 | | | |
| 前年度 | 168 千円 | | 85 千円 | | 83 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | 県支出金 | 学校生活ボランティア推進事業費補助金 | | | | 50 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 学校活動において、保護者や地域ボランティアの協力を得ながら児童の学校生活を支援することで、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 ○役務費 傷害保険料 50 千円 加入者数 144人 | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動場面に限られた中ではあったが、読み聞かせや収穫体験、クラブ活動等に対し、学校生活ボランティアとして地域住民の協力を得ることができた。 | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | |
| | | R3実績 | R2実績 | | | | | |
| 加入者数 | | 144人 | 244人 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|----------|-----------|--------|------|----------|-----------------|-------------------|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
| 大 事 業 | 001 | 小学校教育振興事業 | | | | 決 算 書 P. 201 | | |
| 中 事 業 | 26 | ふれあい交流事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | 当初 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | 3,802 千円 | | 623 千円 | | 3,179 千円 | | | |
| 前年度 | 1,732 千円 | | 607 千円 | | 1,125 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | | | | | | 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 市の将来を担う子どもたちが、恵まれた地域環境の中で、他校の児童や中学生などと様々な交流を進めることで、「互いに認め合い、助け合い、励ましあう」豊かな人間性の育成を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 ○委託料 圃場管理委託料 102 千円 ○賃借料 車両借上料 521 千円 | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、音楽交流会や連合運動会はやむなく中止となった。一方で、小学6年生が進学先の中学校を訪問する小中連携事業を実施し、交流促進を図ることができた。 | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
|---|------|----------|-----|-----------|----------|------|---------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 小学校教育振興事業 | | | 決算書 P. 201 | | |
| 中 | 事 | 業 | 31 | 学力充実推進事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | 当初 | | | 決算額 | | | 不用額 | | |
| | | 2,230 千円 | | | 2,114 千円 | | | 116 千円 | |
| 前年度 | | 1,975 千円 | | | 1,423 千円 | | | 552 千円 | |
| 主な 特定 財源 | | | | | | | | 千円 千円 千円 | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 児童一人ひとりの「確かな学力」の育成状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を実施し、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査の日程に合わせて、全小学校の2～5年生の国語と算数の2教科について坂井市学力調査を行う。 調査の結果を踏まえ、小学校の研究主任によるワークショップを開催し、各校における傾向や課題を把握し、課題の解決を進め、学力向上に向けた授業づくりの研究等を行う。 | | | | | | | | | |
| ○委託料 学力調査業務委託料 2,114 千円 受検者数 6,311人(2教科延べ人数) | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 全国規模のモニター調査によって標準化された「偏差値」を参考に、坂井市における児童の「確かな学力」を分析した。 また、各小学校の児童の調査結果に基づき、継続的・実践的な取り組みを進め、学力向上と教員の指導力向上を図った。 | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
|---|-------|----------------|-----|----------|-----------|------|----------------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 児童就学援助事業 | | | 決算書 P. 201 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 児童就学援助事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | 当初 | | | 決算額 | | | 不用額 | | |
| | | 34,800 千円 | | | 20,337 千円 | | | 14,463 千円 | |
| 前年度 | | 33,500 千円 | | | 21,999 千円 | | | 11,501 千円 | |
| 主な 特定 財源 | 国庫支出金 | 特別支援教育就学奨励費補助金 | | | | | 1,264 千円 千円 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 学校教育法第19条の規定に基づき、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。 | | | | | | | | | |
| ○扶助費 20,337 千円 特別支援教育就学奨励費 2,529 千円 要・準要保護児童就学援助費 17,808 千円 | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | | | R3実績 | R2実績 | | | | |
| 特別支援教育就学援助人数 | | | | 117人 | 114人 | | | | |
| 要・準要保護児童就学援助人数 | | | | 382人 | 382人 | | | | |
| ※要・準要保護児童就学援助人数に新1年生入学準備金対象者を含む | | | | | | | | | |

| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 02 | 小学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 | | | | | | |
|--|---|----------------------|------------|----|----------|-----------------|-------------------|-------|----|-----|---------|-----------------------|---------|---|
| 大 事 業 | 101 | 小学校通学支援事業 | | | | 決 算 書 P. 201 | | | | | | | | |
| 中 事 業 | 01 | 小学校通学支援事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | | | | | | | |
| 予算額 | 当初 補4 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | | | | | | |
| | 96,841 千円 | | 94,727 千円 | | 2,114 千円 | | | | | | | | | |
| 前年度 | 140,143 千円 | | 131,585 千円 | | 8,558 千円 | | | | | | | | | |
| 主な 特定 財源 | 諸収入 | 雑入（スクールバス利用者協力金） | | | | 5,677 千円 | | | | | | | | |
| | | | | | | 千円 | | | | | | | | |
| | | | | | | 千円 | | | | | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | | | | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 市内の小学校に、一定距離を超える地区から通学する児童を対象にスクールバスの運行や路線バスの活用により、遠距離通学をする児童の支援を実施して、安全・安心な通学の確保を図る。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 通学距離に応じて、スクールバスの委託運行や路線バスの利用料金の補助を行う。 | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>要 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生～3年生</td> <td>学校からの距離が、概ね1.5km以上の地区</td> </tr> <tr> <td>4年生～6年生</td> <td>学校からの距離が、概ね2.0km以上の地区 (冬期間（12月～2月）は1.5km以上の地区)</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | | | | 区分 | 要 件 | 1年生～3年生 | 学校からの距離が、概ね1.5km以上の地区 | 4年生～6年生 | 学校からの距離が、概ね2.0km以上の地区 (冬期間（12月～2月）は1.5km以上の地区) |
| 区分 | 要 件 | | | | | | | | | | | | | |
| 1年生～3年生 | 学校からの距離が、概ね1.5km以上の地区 | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生～6年生 | 学校からの距離が、概ね2.0km以上の地区 (冬期間（12月～2月）は1.5km以上の地区) | | | | | | | | | | | | | |
| ○需用費 | 乗車証印刷製本費 | | | | | 30 千円 | | | | | | | | |
| ○委託料 | スクールバス運行 | | | | | 88,882 千円 | | | | | | | | |
| | | 三国地区（通年2台・冬期2台） | | | | | | | | | | | | |
| | | 丸岡地区（通年6台・冬期8台） | | | | | | | | | | | | |
| | | 春江地区（通年2台・冬期5台） | | | | | | | | | | | | |
| | | 坂井地区（通年4台・冬期4台） | | | | | | | | | | | | |
| ○賃借料 | 車両借上料 | 三国地区 | | | | 154 千円 | | | | | | | | |
| ○補助金 | | | | | | 5,661 千円 | | | | | | | | |
| | | 通学費補助金（三国地区） | | | | 5,171 千円 | | | | | | | | |
| | | スクールバス停建設補助金（宿・米納津区） | | | | 490 千円 | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | | | | | | |
| バス車内の換気や消毒など新型コロナウイルス感染対策をとりつつ、事業を実施した。また、通学バス停の改修を進め、通学環境の向上を図った。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | R3実績 | R2実績 | | | | | | | | | | | |
| | バス利用者数 | 1,169人 | 1,240人 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|---------------------|--------------------|-----------|----|----------|-----------------|-------------------|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 03 | 中学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
| 大 事 業 | 001 | 中学校教育振興事業 | | | | 決 算 書 P. 205 | | |
| 中 事 業 | 01 | 中学校教育振興事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | 当初 補2 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | 62,773 千円 | | 60,206 千円 | | 2,567 千円 | | | |
| 前年度 | 58,903 千円 | | 55,699 千円 | | 3,204 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | 県支出金 | 環境・エネルギー教育支援事業補助金 | | | | 2,647 千円 | | |
| | 県支出金 | 地域と進める体験推進事業補助金 | | | | 100 千円 | | |
| | 繰入金 | 寄附市民参画基金繰入金 | | | | 20,285 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | |
| 生徒が、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けられるように、特色ある教育活動を展開する中で、基礎的な知識や技能、思考力、判断力、表現力などの能力、主体的に学習に取り組む態度を育み、個性を生かす教育の充実に努める。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ◆中学校教育振興事業 | 本庁 | | | | | 44,224 千円 | | |
| | | 市内5中学校の統括的な教育振興事業 | | | | | | |
| ○給料 | 学校図書館司書 | 5名 | | | | 9,835 千円 | | |
| ○職員手当等 | | | | | | 2,359 千円 | | |
| ○報償費 | 卒業記念品（印鑑） | | | | | 650 千円 | | |
| ○旅費 | 普通旅費 | | | | | 12 千円 | | |
| ○需用費 | 教材用消耗品費、教育用印刷費 | | | | | 12,137 千円 | | |
| ○使用料及び賃借料 | | | | | | 9,194 千円 | | |
| | | 授業支援ソフト使用料 | | | | 4,950 千円 | | |
| | | デジタルドリル使用料他 | | | | 4,244 千円 | | |
| ○備品購入費 | | | | | | 9,721 千円 | | |
| | | 指導用タブレット端末購入費 | | | | 5,982 千円 | | |
| | | 図書購入費他 | | | | 3,739 千円 | | |
| ○負担金 | 坂井地区特別支援学級合同研修会負担金他 | | | | | 316 千円 | | |
| ◆中学校教育振興事業 | 各中学校 | | | | | 12,549 千円 | | |
| | | 市内5中学校にて対応する教育振興事業 | | | | | | |
| ○報償費 | 協力者謝礼 | | | | | 49 千円 | | |
| ○需用費 | | | | | | 6,465 千円 | | |
| | | 教材用消耗品費 | | | | 5,501 千円 | | |
| | | 印刷製本費 | | | | 572 千円 | | |
| | | 教材用備品修繕料 | | | | 392 千円 | | |
| ○役務費 | 傷害保険料 | | | | | 11 千円 | | |
| ○備品購入費 | 教材用備品購入費 | | | | | 6,024 千円 | | |
| 【次頁へ】... | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 03 | 中学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
|---|---|-----------------------------|-----|-----------|----|------|---------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 中学校教育振興事業 | | | 決算書 P. 205 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 中学校教育振興事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | | |
| ◆環境・エネルギー教育支援事業 | | | | | | | 2,647 千円 | | |
| 【実施校】 市内5中学校 | | | | | | | | | |
| 【負担割合】 県 10/10 | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 理科教材用備品購入費 | | | | | | | 2,647 千円 | | |
| ◆キャリア教育支援事業 | | | | | | | 86 千円 | | |
| ○報償費 協力者謝礼 | | | | | | | 80 千円 | | |
| ○需用費 事務用消耗品費 | | | | | | | 6 千円 | | |
| ◆地域と進める体験推進事業 | | | | | | | 600 千円 | | |
| 【実施校】 1校（県事業対象）+4校（県事業対象外） | | | | | | | | | |
| 【負担割合】 県1/2（1校100千円限度）、市1/2 | | | | | | | | | |
| ○委託料 地域と進める体験学習委託料 | | | | | | | 600 千円 | | |
| 中学校1校あたり200千円・1校分 | | | | | | | 200 千円 | | |
| 実施校 | | 主な活動計画内容 | | | | | | | |
| 丸岡南中 | | ふるさと学習・体験、企業訪問 | | | | | | | |
| ※県補助によるふるさとの魅力発信推進事業 | | | | | | | | | |
| 中学校1校あたり100千円・4校分 | | | | | | | 400 千円 | | |
| 実施校 | | 主な活動計画内容 | | | | | | | |
| 三国中 | | 三国町内での職場体験・市外の企業訪問、地域の魅力学習 | | | | | | | |
| 丸岡中 | | キャリアミーティング、丸岡町PR、地域貢献ボランティア | | | | | | | |
| 春江中 | | ふるさと学習、職業講座、蛍の里プロジェクト | | | | | | | |
| 坂井中 | | フラワーロード大作戦（花壇・プランターの整備） | | | | | | | |
| ◆道徳教育総合推進事業 | | | | | | | 100 千円 | | |
| 【実施校】 三国中学校 | | | | | | | | | |
| 【負担割合】 県 10/10 | | | | | | | | | |
| ○需用費 事務用消耗品費 | | | | | | | 100 千円 | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| GIGAスクール構想に基づき、授業支援ソフト、デジタルドリル、指導用タブレット等を整備し、ICTを活用した学びを推進した。 | | | | | | | | | |
| また、学校図書館司書を配置し、学習活動や読書活動の充実を図った。 | | | | | | | | | |
| 地域と進める体験推進事業により、各中学校で特色ある体験活動を展開し、地域への誇りや愛着の醸成を図った。 | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 03 | 中学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
|--|---|---------------------|-----|-------------|----|--------|---------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 中学校教育振興事業 | | | 決算書 P. 205 | | |
| 中 | 事 | 業 | 06 | 中学校生徒健康管理事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | | 当初 流用 | | 決算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | | 7,885 千円 | | 7,727 千円 | | 158 千円 | | | |
| 前年度 | | 8,264 千円 | | 7,948 千円 | | 316 千円 | | | |
| 主な 諸収入 | | 雑入（日本スポーツ振興センター負担金） | | 1,175 千円 | | | | | |
| 特定 財源 | | | | 千円 | | | | | |
| | | | | 千円 | | | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 200 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | |
| 中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| 学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・内科、歯科健診の実施（全学年） ・尿（全学年）、心電図（1年）検査の実施 | | | | | | | | | |
| ○報償費 | | 医師・歯科医師・薬剤師手当 | | 3,212 千円 | | | | | |
| ○需用費 | | 健診票等印刷費 | | 77 千円 | | | | | |
| ○役務費 | | 特定自主検査手数料他 | | 6 千円 | | | | | |
| ○委託料 | | 健康診断委託料 | | 2,054 千円 | | | | | |
| ○負担金 | | 日本スポーツ振興センター負担金 | | 2,378 千円 | | | | | |
| | | 加入者数 2,556人 | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 学校医と学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭が生徒一人ひとりの健康課題について指導を行い、生徒の健康保持・増進を図った。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3実績 | | R2実績 | | | | | |
| スポーツ保険給付件数 | | 321件 | | 202件 | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 03 | 中学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
|---|---|-----------|-----|-----------|------------------|------|---------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 中学校教育振興事業 | | | 決算書 P. 207 | | |
| 中 | 事 | 業 | 16 | クラブ活動推進事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | | 当初 | 補4 | 流用 | 決算額 | | 不用額 | | |
| | | 28,500 千円 | | | 24,909 千円 | | 3,591 千円 | | |
| 前年度 | | 26,839 千円 | | | 15,937 千円 | | 10,902 千円 | | |
| 主 | な | 財 | 源 | 県支出金 | 部活動指導員配置促進事業補助金 | | 2,128 千円 | | |
| 特 | 定 | 財 | 源 | 県支出金 | 地域スポーツ指導者配置事業補助金 | | 296 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | | △ 200 千円 | | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ◆クラブ活動推進事業 | | | | 20,805 千円 | | | | | |
| ○報償費 激励費 | | | | 3,460 千円 | | | | | |
| 部活動において大会等（北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等）に出場する生徒および指導者に対する経費の一部を支給する。 | | | | | | | | | |
| ・北信越中学校総合競技大会（富山県） | | | | 1,770 千円 | | | | | |
| 団体5種目68人・個人5種目40人 | | | | | | | | | |
| 【出場種目】バレーボール（女）、ソフトボール（女）、ソフトテニス（男女）、柔道（男女）、卓球（男女）、陸上（男女）、新体操 | | | | | | | | | |
| ・全国中学校体育大会（関東ブロック） | | | | 552 千円 | | | | | |
| 【出場種目】陸上（男）・柔道（男女） | | | | | | | | | |
| ・北陸吹奏楽コンクール1校（石川県金沢市） | | | | 250 千円 | | | | | |
| ・中部日本吹奏楽コンクール（静岡県浜松市） | | | | 888 千円 | | | | | |
| ○委託料 中学校クラブ活動競技力向上委託料 | | | | 15,046 千円 | | | | | |
| 部活動の競技力の向上を図るため、強化練習会等競技力の向上を目的とする事業を各中学校に委託する。 | | | | | | | | | |
| ・三国中学校（484人・21クラブ） | | | | 3,165 千円 | | | | | |
| ・丸岡中学校（520人・21クラブ） | | | | 3,244 千円 | | | | | |
| ・丸岡南中学校（326人・15クラブ） | | | | 2,217 千円 | | | | | |
| ・春江中学校（725人・24クラブ） | | | | 3,995 千円 | | | | | |
| ・坂井中学校（375人・16クラブ） | | | | 2,425 千円 | | | | | |
| 【次頁へ】… | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 03 | 中学校費 | 目 | 02 | 教育振興費 |
|---|---|------|-----|-----------|----|------|---------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 中学校教育振興事業 | | | 決算書 P. 207 | | |
| 中 | 事 | 業 | 16 | クラブ活動推進事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 吹奏楽部楽器購入費 | | | | 2,299 千円 | | | | | |
| ・三国中学校（コントラバス） | | | | | | | | | |
| ・丸岡中学校（ピッコロ、フルート） | | | | | | | | | |
| ・丸岡南中学校（ピッコロ、シンバルセット） | | | | | | | | | |
| ・春江中学校（クラリネット） | | | | | | | | | |
| ・坂井中学校（ピッコロ、フルート） | | | | | | | | | |
| ◆地域スポーツ指導者配置事業 | | | | 919 千円 | | | | | |
| 【実施校】 市内4中学校（三国中、丸岡中、春江中、坂井中）16人 | | | | | | | | | |
| 【負担割合】 県 1/3 市 2/3 | | | | | | | | | |
| ○報償費 指導謝礼 | | | | 888 千円 | | | | | |
| ○役務費 傷害保険料 | | | | 31 千円 | | | | | |
| ◆部活動指導員配置事業 | | | | 3,185 千円 | | | | | |
| 【実施校】 市内4中学校（三国中、丸岡南中、春江中、坂井中）12人 | | | | | | | | | |
| 【負担割合】 国 1/3 県 1/3 市 1/3 | | | | | | | | | |
| ○報酬 会計年度任用職員報酬 | | | | 3,161 千円 | | | | | |
| ○旅費 費用弁償 | | | | 24 千円 | | | | | |
| 【事業の成果等】 コロナ禍ではあったが、競技力向上に向けた強化練習会等の機会を増やすことができた。また、徐々に大会等が開催され、生徒の出場機会も増え、意欲向上につなげることができた。 また、外部指導者の配置を進め、生徒の技術力向上と教員の働き方改革に取り組んだ。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3実績 | | R2実績 | | | | | |
| 地域スポーツ指導者数 | | 16人 | | 15人 | | | | | |
| 部活動指導員数 | | 12人 | | 11人 | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 04 | 学校給食費 |
|--|-------|-------------------------|-----|----------|-----------|-------|---------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 学校給食管理事業 | | | 決算書 P. 225 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 学校給食管理事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | | 当初 | 補2 | 流用 | 決算額 | | 不用額 | | |
| | | 68,603 千円 | | | 58,597 千円 | | 10,006 千円 | | |
| 前年度 | | 62,449 千円 | | | 51,356 千円 | | 11,093 千円 | | |
| 主な 特定 財源 | 国庫支出金 | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 | | | 3,918 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | | △ 139 千円 | | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○給料 | | | | | 45,204 千円 | | | | |
| | | 丸岡地区自校調理場調理師 | | | 10 名 | | | | |
| | | 春江坂井学校給食センター調理師 | | | 21 名 | | | | |
| ○職員手当等 | | | | | 9,375 千円 | | | | |
| ○需用費 | | 講習会等材料費 | | | 100 千円 | | | | |
| ○補助金 | | 給食費負担軽減補助金 | | | 168 名 | | 3,918 千円 | | |
| 【事業の成果等】 安全で安心な給食を提供するため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図った。 また、栄養教諭が中心となって、市内の小学5年生を対象に、食の基本である「だし」について授業を実施し、健康な食生活を送るための体験学習に取り組んだ。 交付金を活用し、給食費負担軽減補助金を交付し、保護者負担の軽減を図った。 | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 04 | 学校給食費 |
|---|-------|----------------------------------|-----|------------|------------|-------|---------------|-------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 学校給食管理事業 | | | 決算書 P. 229 | | |
| 中 | 事 | 業 | 16 | 丸岡学校給食管理事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | |
| 予算額 | | 当初 | 決算額 | | 不用額 | | | | |
| | | 227,469 千円 | | | 208,334 千円 | | 19,135 千円 | | |
| 前年度 | | 237,492 千円 | | | 202,817 千円 | | 34,675 千円 | | |
| 主な 特定 財源 | 国庫支出金 | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 | | | 55,633 千円 | | | | |
| | | 雑入(小学校給食負担金) | | | 49,422 千円 | | | | |
| | | 雑入(中学校給食負担金) | | | 27,686 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ◆丸岡学校給食管理事業 本庁 | | | | | 6,890 千円 | | | | |
| ○旅費 | | 普通旅費 | | | 1 千円 | | | | |
| ○需用費 | | | | | 3,088 千円 | | | | |
| | | 消耗品費(給食衛生用、給食用食器) | | | 1,802 千円 | | | | |
| | | 修繕料(給食用器具等) | | | 1,286 千円 | | | | |
| ○役務費 | | 検査手数料(食材・調理師腸内細菌検査) | | | 1,187 千円 | | | | |
| ○委託料 | | 調理場内害虫駆除委託料 | | | 712 千円 | | | | |
| ○備品購入費 | | 給食用備品購入費 | | | 1,902 千円 | | | | |
| ◆丸岡学校給食管理事業 丸岡 | | | | | 201,444 千円 | | | | |
| | | 自校式5校1園(平草小・長畝小・高椋小・磯部小・明章小・高椋幼) | | | 94,591 千円 | | | | |
| ○需用費 | | | | | 94,591 千円 | | | | |
| | | 消耗品費(給食用消耗品費他) | | | 1,754 千円 | | | | |
| | | 光熱水費(ガス) | | | 7,119 千円 | | | | |
| | | 賄材料費(給食材料費および牛乳代) | | | 85,718 千円 | | | | |
| 民間委託3校(丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小) | | | | | 11,077 千円 | | | | |
| ○需用費 | | | | | 11,077 千円 | | | | |
| | | 消耗品費(給食用消耗品費) | | | 81 千円 | | | | |
| | | 賄材料費(牛乳代) | | | 10,996 千円 | | | | |
| ○委託料 | | 学校給食調理業務等委託料 | | | 95,776 千円 | | | | |
| | | (社福)つぐみ福祉会委託分(鳴鹿小) | | | 10,004 千円 | | | | |
| | | (社福)つぐみ福祉会委託分(丸岡南中) | | | 38,641 千円 | | | | |
| | | (有)ランチサービス委託分(丸岡中) | | | 47,131 千円 | | | | |
| 【次頁へ】... | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|-----|------------|----------|----|-----------------|-------------------|----|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 04 | 学校給食費 |
| 大 事 業 | 051 | 学校給食管理事業 | | | 決 算 書 P. 229 | | | |
| 中 事 業 | 16 | 丸岡学校給食管理事業 | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 学校教育課 | | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 年間の給食費を半額にすることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い生じた保護者の経済的負担の軽減を図った。 丸岡地区の学校給食については、自校式と調理業務委託方式により実施した。 | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | |
| 給食の状況 | | 給食人員(日) | 給食延数 | | | | | |
| | | 2,831人 | 537,931食 | | | | | |
| 地場産(県産)食材 使用率(実績) | | R3 | R2 | | | | | |
| | | 49.6% | 42.6% | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|------------|-------------------------|------------|-------------|-----------------|------------------------|----|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 04 | 学校給食費 |
| 大 事 業 | 051 | 学校給食管理事業 | | | 決 算 書 P. 225 | | | |
| 中 事 業 | 06 | 三国学校給食管理事業 | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 三国学校給食センター | | |
| 予 算 額 | 当初 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | | 290,507 千円 | | 289,244 千円 | | 1,263 千円 | | |
| 前年度 | 299,274 千円 | | 283,148 千円 | | 16,126 千円 | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | 国庫支出金 | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 | | | 45,002 千円 | | | |
| | 諸収入 | 雑入(小学校給食負担金) | | | 47,144 千円 | | | |
| | 諸収入 | 雑入(中学校給食負担金) | | | 17,649 千円 | | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | | 0 千円 | | 予 備 費 充 用 額 | | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 「園児・児童・生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 中学校1校(三国)、小学校9校(三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・大石・大関・兵庫・木部)、幼保園等4園(みくに未来・加戸・三国南、雄島)の計14施設に給食を提供する。一般食のほかに月齢に合わせた離乳食やアレルギー食を実施する。 なお、幼保園、子ども園分に係る費用については保育園費にて対応している。 | | | | | | | | |
| ○需用費 | | | | 155,088 千円 | | | | |
| | | 消耗品費(事務、施設管理、給食用等) | | 1,822 千円 | | | | |
| | | 燃料費(ガソリン) | | 26 千円 | | | | |
| | | 光熱水費(電気、ガス、水道) | | 32,844 千円 | | | | |
| | | 修繕料(給食用備品、施設等) | | 500 千円 | | | | |
| | | 賄材料費(給食材料費) | | 119,896 千円 | | | | |
| 給食の状況 | | 給食人員 | | 給食延数 | | | | |
| | | 小中学校 | 2,343人 | 437,496食 | | | | |
| | | 幼保園等 | 511人 | 108,090食 | | | | |
| 合 計 | | 2,854人 | | 545,586食 | | | | |
| ○役務費 | | | | 715 千円 | | | | |
| | | 通信運搬費(電話料) | | 160 千円 | | | | |
| | | 専用水道検査、細菌検査、異物検査手数料等 | | 376 千円 | | | | |
| | | 火災保険料 | | 145 千円 | | | | |
| | | 自動車保険料 | | 34 千円 | | | | |
| 【次頁へ】… | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|--------------------|-----------|---------------------------|-------|---|----|--------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 04 | 学校給食費 | |
| 大 事 業 | 051 | 学校給食管理事業 | | | | | | 決 算 書 | |
| | | | | | | | | P. 227 | |
| 中 事 業 | 11 | 春江坂井学校給食管理事業 | 所 管 部 局 | 教育委員会事務局 春江・坂井学校給食センター | | | | | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | | |
| ○委託料 | | 31,504 千円 | | | | | | | |
| | | エレベーター保守点検委託料 | 660 千円 | | | | | | |
| | | 害虫駆除委託料 | 220 千円 | | | | | | |
| | | 警備保障委託料 | 46 千円 | | | | | | |
| | | 施設保守点検委託料（排水処理施設等） | 6,698 千円 | | | | | | |
| | | 受水槽管理委託料 | 220 千円 | | | | | | |
| | | 消防設備保守点検委託料 | 406 千円 | | | | | | |
| | | 電気工作物保守点検委託料 | 599 千円 | | | | | | |
| | | 電算機器・コピー機保守点検委託料 | 143 千円 | | | | | | |
| | | 配送業務委託料 | 21,236 千円 | | | | | | |
| | | 一般廃棄物収集委託料 | 266 千円 | | | | | | |
| | | ポイラー保守点検委託料 | 746 千円 | | | | | | |
| | | 調理機器点検委託料 | 264 千円 | | | | | | |
| ○使用料 | | 84 千円 | | | | | | | |
| | | 放送受信料 | 14 千円 | | | | | | |
| | | デマンド監視システム使用料 | 70 千円 | | | | | | |
| ○賃借料 | | 162 千円 | | | | | | | |
| | | コピー機リース料 | | | | | | | |
| ○備品購入費 | | 744 千円 | | | | | | | |
| | | 施設用備品購入費 | 324 千円 | | | | | | |
| | | 給食用備品購入費 | 420 千円 | | | | | | |
| ○公課費 | | 5 千円 | | | | | | | |
| | | 自動車重量税 | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 年間の給食費を半額にすることで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い生じた保護者の経済的負担の軽減を図った。 | | | | | | | | | |
| 給食の食材については、地元業者や地場産を中心とした安全・安心な食材を取り入れ、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。 | | | | | | | | | |
| 今後も地元の食材を取り入れながら、食育および地場産食材使用率の向上に努める。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| 地場産（県産）食材 | | R3 | R2 | | | | | | |
| 使用率（実績） | | 53.5% | 50.3% | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|-----------|----------------------|-------------|-----------------------|----------|----------|----|---------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 01 | 社会教育総務費 | |
| 大 事 業 | 051 | 社会教育事業 | | | | | | 決 算 書 | |
| | | | | | | | | P. 207 | |
| 中 事 業 | 01 | 社会教育事務事業 | 所 管 部 局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | | | | | |
| 予 算 額 | 当初 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | |
| | | 11,987 千円 | | 10,125 千円 | | 1,862 千円 | | | |
| 前年度 | 12,023 千円 | | 10,686 千円 | | 1,337 千円 | | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | 県支出金 | 人権問題社会教育指導員設置費補助金 | | | | | | 216 千円 | |
| | | | | | | | | 千円 | |
| | | | | | | | | 千円 | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | 0 千円 | | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | |
| 社会教育法に基づく社会教育委員の会を設置し、社会教育行政全般における調査および審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、市民に幅広く学ぶ機会を提供する。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| 社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営 | | | | | | | | | |
| ○報酬 | | 8,575 千円 | | | | | | | |
| | | 社会教育委員15名 | 510 千円 | | | | | | |
| | | 会計年度任用職員報酬5名 | 8,065 千円 | | | | | | |
| ○職員手当 | | 1,250 千円 | | | | | | | |
| | | 会計年度任用職員期末手当5名 | | | | | | | |
| ○旅費 | | 202 千円 | | | | | | | |
| | | 会計年度任用職員通勤手当、自家用車借上料 | | | | | | | |
| ○需用費 | | 7 千円 | | | | | | | |
| | | 消耗品費 | | | | | | | |
| ○委託料 | | 13 千円 | | | | | | | |
| | | 生涯学習講演会業務委託料 | | | | | | | |
| ○使用料 | | 6 千円 | | | | | | | |
| | | 有料道路通行料 | | | | | | | |
| ○負担金 | | 72 千円 | | | | | | | |
| | | 県社会教育委員連絡協議会負担金 | 42 千円 | | | | | | |
| | | 東海北陸社会教育研究大会負担金 | 15 千円 | | | | | | |
| | | 県社会教育連絡協議会会費 | 15 千円 | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 社会教育委員の会を年3回開催し、各種研修会にも参加した。また、合宿通学事業の実行委員として防災合宿の視察を行った。 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|----------|----------------|-------------|----------------|-------|---|----|----------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 01 | 社会教育総務費 | |
| 大 事 業 | 051 | 社会教育事業 | | | | | | 決 算 書 | |
| | | | | | | | | P. 207 | |
| 中 事 業 | 06 | 社会教育団体補助事業 | 所管 | 教育委員会事務局 | | | | | |
| | | | 部局 | 生涯学習スポーツ課 | | | | | |
| 予 算 額 | 当 初 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | | |
| | 1,840 千円 | 1,532 千円 | | 308 千円 | | | | | |
| 前 年 度 | 1,840 千円 | 1,560 千円 | | 280 千円 | | | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | | | | 千円 千円 千円 | | | | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | 0 千円 | | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | | | | |
| 【事業の目的】 補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 ○補助金 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 1,532 千円 | |
| | | 坂井市PTA連合会事業補助金 | | | | | | 175 千円 | |
| | | 青少年育成団体運営補助金 | | | | | | 240 千円 | |
| | | ・ボーイスカウト第5団 | | | | | | 70 千円 | |
| | | ・ガールスカウト第17団 | | | | | | 70 千円 | |
| | | ・ガールスカウト第20団 | | | | | | 70 千円 | |
| | | ・三国海洋少年団 | | | | | | 30 千円 | |
| | | 坂井市かるた協会事業補助金 | | | | | | 117 千円 | |
| | | 坂井市女性の会運営補助金 | | | | | | 1,000 千円 | |
| 【事業の成果等】 地域社会の活力向上や、社会教育活動を通じた市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営を支援し、組織の育成を図った。なお、各団体には自己財源の確保等による補助金割合の適正化を促しており、今後も自主運営力を高める必要がある。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | | | | | | R2年度 | |
| | 補助団体数 | 7団体 | | | | | | 7団体 | |

| | | | | | | | | | |
|--|------------|----------------|---|----------------|-------|---|----|-----------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 01 | 社会教育総務費 | |
| 大 事 業 | 151 | 市民運動推進事業 | | | | | | 決 算 書 | |
| | | | | | | | | P. 209 | |
| 中 事 業 | 01 | 市民運動推進事業 | 所管 | 教育委員会事務局 | | | | | |
| | | | 部局 | 生涯学習スポーツ課 | | | | | |
| 予 算 額 | 当 初 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | | |
| | 340 千円 | 340 千円 | | 0 千円 | | | | | |
| 前 年 度 | 416 千円 | 340 千円 | | 76 千円 | | | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | | | | 千円 千円 千円 | | | | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | 0 千円 | | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | | | | |
| 【事業の目的】 市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 ○負担金 | | | | | | | | | |
| | | 坂井市民運動推進協議会負担金 | | | | | | 340 千円 | |
| | | 第16回坂井市花壇コンクール | | | | | | | |
| | | 審査日 | 8月1日(月) | | | | | 三国地区・広域 | |
| | | | 8月2日(火) | | | | | 坂井地区・丸岡地区 | |
| | | | 8月3日(水) | | | | | 春江地区 | |
| | | 場 所 | 市内の花壇 | | | | | | |
| | | 参加数 | 53地区団体 | | | | | | |
| | | 坂井市ふるさとづくり大会 | | | | | | | |
| | | 期 日 | 12月3日(金) | | | | | | |
| | | 場 所 | 高椋コミュニティセンター 古城ホール | | | | | | |
| | | 内 容 | 坂井市民運動実践者表彰 講演「健康は笑いから」 トーク芸人 岡田 純平 | | | | | | |
| 【事業の成果等】 坂井市民運動推進協議会による「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、より一層豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを目指して市民運動への意識向上と推進を図った。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | | | | | | R2年度 | |
| | 花壇コンクール参加数 | 53団体 | | | | | | 47団体 | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 04 | 国際交流推進費 | | | | |
|--|-------------|------|---------|----------|------|-------|--------|-----------|---------|--|--|--|--|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 国際交流推進事業 | | | 決算書 | | | | | | |
| | | | | | | | P. 209 | | | | | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 国際交流推進事業 | | | 所管 | 教育委員会事務局 | | | | | |
| | | | | | | | 部局 | 生涯学習スポーツ課 | | | | | |
| 予算額 | 当初 | 補6 | 決算額 | | | 不用額 | | | | | | | |
| | | | 365千円 | 119千円 | | | 246千円 | | | | | | |
| 前年度 | 700千円 | | 177千円 | | | 523千円 | | | | | | | |
| 主な | | | | | | | | | | | | | |
| 特定 | | | | | | | | | | | | | |
| 財源 | | | | | | | | | | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0千円 | | | 予備費充用額 | 0千円 | | | | | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | | | | | |
| 市内中学校生徒の英国への派遣と英国からの生徒の坂井市招へいを実施し、相互のホームステイや授業参加などを通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。 | | | | | | | | | | | | | |
| また、中学校1、2年生を対象とする英国派遣団の事前研修体験イベントや、国際交流イベントを開催し、より多くの生徒に国際交流の機会を提供する。 | | | | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | | | | | |
| ※英国招へい事業・英国派遣事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 | | | | | | | | | | | | | |
| ・Sharing Our Culture (相互のふるさと・文化・生活の紹介) | | | | | | | | | | | | | |
| 〈日程〉 7月3日(土)、7月17日(土)、12月25日(土) | | | | | | | | | | | | | |
| 〈参加人数〉 市内中学校1年生 18名(男子4人、女子14人) | | | | | | | | | | | | | |
| ・一筆啓上! from Wales & Sakai (「第29回一筆啓上賞」英語作品を日本語に翻訳) | | | | | | | | | | | | | |
| 〈日程〉 9月23日(木・祝)、10月9日(土)、3月12日(土) | | | | | | | | | | | | | |
| 〈参加人数〉 市内中学校2年生 29名(男子10人、女子19人) | | | | | | | | | | | | | |
| ・国際交流イベント English Day 2021(クリスマスをテーマとしたイベント) | | | | | | | | | | | | | |
| 〈日程〉 12月25日(土) | | | | | | | | | | | | | |
| 〈参加人数〉 市内中学校1・2年生 13名(男子2人、女子11人) | | | | | | | | | | | | | |
| ○報償費 | 指導謝礼(県内ALT) | 64千円 | | | | | | | | | | | |
| ○需用費 | 消耗品費 | 52千円 | | | | | | | | | | | |
| ○役務費 | 通信運搬費 | 3千円 | | | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | | | | | |
| 新型コロナウイルス感染症の影響により、英国招へいおよび派遣事業は中止したが、市内ALTを講師として代替事業を実施した。互いのふるさと等について英語で紹介するオンライン交流や、英国生徒による一筆啓上賞英文作品の日本語への翻訳を行った。 | | | | | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | R3年度 | | R2年度 | | | | | | | | |
| | | | イベント開催数 | 7回 | 4回 | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 05 | 青少年健全育成費 | | | |
|--|---------------------|---------|---------|-----------|---------|---------|--------|-----------|----------|--|--|--|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 青少年健全育成事業 | | | 決算書 | | | | | |
| | | | | | | | P. 209 | | | | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 子ども会育成事業 | | | 所管 | 教育委員会事務局 | | | | |
| | | | | | | | 部局 | 生涯学習スポーツ課 | | | | |
| 予算額 | 当初 | 決算額 | | | 不用額 | | | | | | | |
| | | 2,144千円 | | | 1,701千円 | | | 443千円 | | | | |
| 前年度 | 2,144千円 | | 1,075千円 | | | 1,069千円 | | | | | | |
| 主な | | | | | | | | | | | | |
| 特定 | | | | | | | | | | | | |
| 財源 | | | | | | | | | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0千円 | | | 予備費充用額 | 0千円 | | | | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | | | | |
| 幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材を育成する。 | | | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | | | | |
| ○負担金 | 福井県子ども会育成連合会負担金 | 67千円 | | | | | | | | | | |
| ○補助金 | 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金 | 1,634千円 | | | | | | | | | | |
| ジュニアリーダーズクラブ活動日数(重複含む) | | | | | | | | | | | | |
| | | | 令和3年度 | | | | | | | | | |
| | | | 依頼 | 10日 | | | | | | | | |
| | | | 例会 | 52日 | | | | | | | | |
| | | | 自主企画 | 2日 | | | | | | | | |
| | | | 合計 | 64日 | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | | | | |
| 青少年のリーダー育成を目的に、坂井市子ども会育成連絡協議会を事業主体として、子ども会活動の支援や組織の育成を図った。新型コロナウイルス感染症の影響のため、チャレンジランキング大会やディスクドッチ大会が中止となったが、壁新聞コンクールを実施し、20作品の応募があった。また、ジュニアリーダーズクラブは例年より依頼日は減ったが、継続して学校や子ども会などの依頼対応を行うとともに、活動の幅を広げて、ジュニアリーダー数の増員を図るため、自主企画を行った。イベントや大会ができない場合の子ども会活動の継続が今後の課題である。 | | | | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | | | | |
| | | | R3年度 | | R2年度 | | | | | | | |
| | | | 壁新聞出品数 | 20作品 | 15作品 | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 05 | 青少年健全育成費 |
|---|---|---------|-------|-----------|----------------|-------|---------------|-----------------------|----------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 青少年健全育成事業 | | | 決算書 P. 209 | | |
| 中 | 事 | 業 | 06 | 成人式事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | |
| 予算額 | 当初 | 決算額 | | | 不用額 | | | | |
| | 1,345千円 | 1,226千円 | | | 119千円 | | | | |
| 前年度 | 3,866千円 | 3,775千円 | | | 91千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | | | | | 千円 千円 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0千円 | | | 予備費充用額 | 0千円 | | | | |
| 【事業の目的】 新成人の門出を祝福し、社会人としての自立を促すため、一人ひとりが成人したことを自覚し、新成人が実行委員となって運営する式典・アトラクションを実施する。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| 〈期 日〉 | 3月20日(日) 第1部 11時00分～ 第2部 15時00分～ 第1部 丸岡・坂井 第2部 三国・春江 | | | | | | | | |
| 〈会 場〉 | ハートピア春江 | | | | | | | | |
| 〈対象者〉 | 新成人1,080人 | | | | | | | | |
| 〈参加者〉 | 新成人887名(出席率82.1%) | | | | | | | | |
| ○報償費 | | | | 884千円 | | | | | |
| | 成人式実行委員等謝礼 | | | 45千円 | | | | | |
| | 記念品等(テーマ入りタンブラー) | | | 616千円 | | | | | |
| | 出演者謝礼(ヒナタカコ) | | | 223千円 | | | | | |
| ○需用費 | | | | 147千円 | | | | | |
| | 消耗品費 | | | 67千円 | | | | | |
| | 食糧費 | | | 35千円 | | | | | |
| | 印刷製本費 | | | 45千円 | | | | | |
| ○役務費 | 通信運搬費・手数料 | | | 174千円 | | | | | |
| ○使用料 | 会場使用料 | | | 21千円 | | | | | |
| 【事業の成果等】 令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として2部制での開催とした。令和4年4月の民法改正後も引き続き20歳になった人を対象に「はたちのつどい」として実施し、成人後2年経過し自立した社会人の催しとしたい。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | R2年度 | | | | | | |
| | 成人式出席率 | 82.1% | 76.5% | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 05 | 青少年健全育成費 |
|---|--|-------------------|------|-----------|-------|-------|---------------|-----------------------|----------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 青少年健全育成事業 | | | 決算書 P. 209 | | |
| 中 | 事 | 業 | 11 | わんぱく少年団事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | |
| 予算額 | 当初 | 決算額 | | | 不用額 | | | | |
| | 463千円 | 179千円 | | | 284千円 | | | | |
| 前年度 | 462千円 | 329千円 | | | 133千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | 諸収入 | 雑入(わんぱく少年団参加者負担金) | | | 93千円 | | | | |
| | | | | | 千円 | | | | |
| | | | | | 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0千円 | | | 予備費充用額 | 0千円 | | | | |
| 【事業の目的】 自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| 〈名 称〉 | 「2021 SAKAIわんぱく少年団」 | | | | | | | | |
| 〈対象者〉 | 坂井市内小学校5・6年生31人 | | | | | | | | |
| 〈実施期間〉 | 学校週休日(7月～3月) | | | | | | | | |
| 〈実施回数〉 | 6回 | | | | | | | | |
| 〈実施内容〉 | ①結団式、②スノーケリング&SUP体験、③どろんこ教室(中止)、 ④カヌー体験(雨のため室内でモルック、レザークラフト)、 ⑤トレッキング、⑥ウオークラリー、⑦eスポ&Xmas飾り作り ⑧ウインターアドベンチャー(中止)、⑨修了式(中止) | | | | | | | | |
| ○報償費 | 協力者謝礼 | | | 40千円 | | | | | |
| ○需用費 | | | | 105千円 | | | | | |
| | 消耗品費 | | | 82千円 | | | | | |
| | 食糧費 | | | 23千円 | | | | | |
| ○役務費 | 傷害保険料 | | | 27千円 | | | | | |
| ○使用料 | 施設使用料 | | | 7千円 | | | | | |
| 【事業の成果等】 市の豊かな自然にあらゆる体験活動を通して触れ合うことで、子どもたちのふるさと坂井市を大切にす健やかな心身を育むことができた。今年度は、マリンスポーツのSUPや手作りの飾りづくりを実施するなど内容の充実を図った。新型コロナウイルス感染症の影響で当初の予定回数を行うことができなかったが、今後も参加したくなるような魅力ある内容の充実に向けていく。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | R2年度 | | | | | | |
| | 実施回数 | 6回 | 7回 | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|-------------|------------------|------|----------|--------------|-----------------|-----------------------|----------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 05 | 青少年健全育成費 | |
| 大 事 業 | 001 | 青少年健全育成事業 | | | | 決 算 書 P. 209 | | | |
| 中 事 業 | 16 | 青少年育成坂井市民会議事業 | | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | | |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | | |
| | | 2,126 千円 | | 1,848 千円 | | 278 千円 | | | |
| 前年度 | | 2,670 千円 | | 2,623 千円 | | 47 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | | | | | | 千円 千円 千円 | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 近年の青少年を取り巻く環境に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 青少年育成坂井市民会議の主な活動 | | | | | | | | | |
| | 期 日 | 事 業 名 | | | 場 所 | | | | |
| | 6月1日(火) | 第1回理事会 | | | 市役所1階交流ホール | | | | |
| | | 青少年育成坂井市民会議総会 | | | 書面決議 | | | | |
| | 6月5日(土) | 第9回青少年育成福井県民会議総会 | | | 福井県生活学習館 | | | | |
| | 6月25日(金) | 青少年育成市町民会長会議 | | | 福井県職員会館ビル | | | | |
| | 7月17日(土) | 一斉街頭啓発キャンペーン | | | プラント2、イーザ | | | | |
| | 9月28日(火) | 赤ちゃんつながるオンライン交流会 | | | 丸岡南中学校 | | | | |
| | 10月13日(木) | 第2回理事会 | | | 市役所4階会議室 | | | | |
| | 10月19日(火) | 赤ちゃんつながるオンライン交流会 | | | 坂井中学校 | | | | |
| | 10月28日(木) | 赤ちゃんつながるオンライン交流会 | | | 春江中学校 | | | | |
| | 11月18日(木) | 第3回理事会 | | | 市役所4階会議室 | | | | |
| | 11月20日(土) | 青少年健全育成福井県民大会 | | | 福井県生活学習館 | | | | |
| | 12月3日(金) | 坂井市ふるさとづくり大会 | | | 高椋コミュニティセンター | | | | |
| | | 第4回理事会 | | | 書面決議 | | | | |
| | ○補助金 | 青少年育成坂井市民会議運営補助金 | | | 1,848 千円 | | | | |
| 【事業の成果等】 青少年が健全に成長していく環境づくりや、健全な心の育成に貢献することができた。ふるさとづくり大会は、坂井市民運動推進協議会、青少年育成坂井市民会議および子ども会壁新聞コンクール表彰を合同で行った。また、「見守り隊」・「いきいき見守り隊」活動も継続し、市民の普段の生活の中で気軽に見守り・防犯に取り組むことで会員数を増やし、安心安全な環境づくりを目指す。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | R2年度 | | | | | | |
| | いきいき見守り隊隊員数 | 38人 | 16人 | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|--------|-----------------|------|----------|----------|-----------------|-------------------------------|----------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 05 | 青少年健全育成費 | |
| 大 事 業 | 001 | 青少年健全育成事業 | | | | 決 算 書 P. 209 | | | |
| 中 事 業 | 21 | 放課後子ども教室推進事業 | | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | | |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | | |
| | | 2,250 千円 | | 1,608 千円 | | 642 千円 | | | |
| 前年度 | | 4,000 千円 | | 2,300 千円 | | 1,700 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | 県支出金 | 放課後子ども教室推進事業補助金 | | | 502 千円 | | 千円 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 地域づくりとコミュニティの拠点であるコミュニティセンターにおいて放課後子ども教室を実施し、子どもたちにとって多様で有意義な学習・体験の機会を提供する。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 コミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施する。各地域の実情に合わせながら、書道やお菓子作り、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室や、生け花教室、三味線教室、英語教室などを定期的に開催し、子どもたちが学べる多様な機会を提供する。 | | | | | | | | | |
| | ○委託料 | 放課後子ども教室実施委託料 | | | 1,608 千円 | | (25教室・参加者延べ4,255人・開催日数合計428日) | | |
| 【事業の成果等】 地域のボランティアの協力のもと、子どもたちの居場所を確保しながら、地域の資源や特徴に応じた様々な学習・体験を提供することができた。今後も子どもたちの安全・安心な居場所づくりを行う。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | R2年度 | | | | | | |
| | 開催日数合計 | 428日 | 508日 | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|--|-----|------------------|----------|-----------|-----------------------|-----------|----|-----------------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 05 | 青少年健全育成費 | |
| 大 事 業 | 001 | 青少年健全育成事業 | | | | | | 決 算 書 P. 209 | |
| 中 事 業 | 26 | 合宿通学事業 | 所管 部局 | | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | | | | |
| 予算額 | 当初 | | | | 決 算 額 | | | 不 用 額 | |
| | | 1,315 千円 | | | 510 千円 | | | 805 千円 | |
| 前年度 | | 1,285 千円 | | | 330 千円 | | | 955 千円 | |
| 主な 特定 財源 | | | | | | | | 千円 千円 千円 | |
| 予算流用(増減)額 | | | | 0 千円 | 予備費充用額 | | | 0 千円 | |
| 【事業の目的】 家庭を離れ、合宿生活を体験することで、日常生活における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てる。また、地域の方々の協力を得て行うことにより、子どもと地域の結びつきの強化を図るとともに令和2年度から実施した防災合宿を各種団体へ普及し、実施団体には委託する。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 ●防災合宿 実施内容 コミセン等での避難所宿泊体験（一泊二日） | | | | | | | | | |
| | | 期 間 | | 場 所 | | 対象者 | | 参加人数 | |
| | | 6月18日(金)～19日(土) | | 三国西小学校体育館 | | 三国西小学校5年生 | | 29名 | |
| | | 6月25日(金)～26日(土) | | 明章小学校体育館 | | 明章小学校6年生 | | 21名 | |
| | | 7月2日(金)～3日(土) | | 木部小学校体育館 | | 木部小学校6年生 | | 17名 | |
| | | 11月12日(金)～13日(土) | | 春江小学校体育館 | | 春江小学校5年生 | | 30名 | |
| | | 11月19日(金)～20日(土) | | 兵庫小学校体育館 | | 兵庫小学校5年生 | | 14名 | |
| | | 合 計 | | | | | | 111名 | |
| | | ○委託料 | | | | | | 510 千円 | |
| | | 事業運営委託料 | | | | | | 18 千円 | |
| | | (坂井木部地区まちづくり協議会) | | | | | | | |
| | | 合宿通学事業業務委託料 | | | | | | 492 千円 | |
| 【事業の成果等】 コロナ禍を考慮して、今年度も「防災合宿」をテーマに実施した。児童が小学校に開設された避難所で1泊する想定で、段ボールベッドや災害用テントの組立、防災学習や非常食調理体験など、教育カリキュラムの中で学習する防災教育を応用し実際に体験することができた。また、まちづくり協議会、日赤奉仕団や食生活改善推進員、自衛隊など様々な協力団体の力も借りながら防災合宿を実施することができた。今後は防災合宿を地域主体で実施できるよう普及していく。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | | | R3年度 | | R2年度 | | | |
| | | 実施校数 | | 5校 | | 4校 | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|---------------|----------|------------------|-----------------------|------|----|-----------------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 05 | 青少年健全育成費 | |
| 大 事 業 | 001 | 青少年健全育成事業 | | | | | | 決 算 書 P. 211 | |
| 中 事 業 | 31 | 坂井・延岡ジュニア交流事業 | 所管 部局 | | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | | | | |
| 予算額 | 当初 | | | | 決 算 額 | | | 不 用 額 | |
| | | 674 千円 | | | 25 千円 | | | 649 千円 | |
| 前年度 | | 349 千円 | | | 19 千円 | | | 330 千円 | |
| 主な 特定 財源 | | | | | | | | 千円 千円 千円 | |
| 予算流用(増減)額 | | | | 0 千円 | 予備費充用額 | | | 0 千円 | |
| 【事業の目的】 宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することで人的交流を図り、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で延岡市から坂井市への招へいが中止になったため、延岡市の子どもたちとリモートによる交流および工芸品の交換を行うイベントを実施した。 | | | | | | | | | |
| | | 〈期 日〉 | | 10月24日(日) | | | | | |
| | | 〈参加者〉 | | 長畝日向神楽保存会の児童生徒6名 | | | | | |
| | | 〈協 力〉 | | 三国提灯いとや店長 小島まりや氏 | | | | | |
| | | ○使用料 | | 体験学習使用料(提灯絵付体験) | | | | 25 千円 | |
| 【事業の成果等】 延岡市の小学生14名と長畝日向神楽保存会の児童生徒がリモートによる交流をした。子どもたちはお互いに相手の住むまちの名物や名所などを質問し合ったり、日向神楽で使う舞扇や鈴、笛などを紹介した。また、坂井市からは参加者が絵付けした提灯を送り、延岡市からは郷土玩具の「のぼりざる」が送られた。互いの文化の発信や交流を図ることができた。 坂井市と延岡市の子どもたちの交流について、今後も状況に応じた交流ができるよう検討していく必要がある。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | | | R3年度 | | R2年度 | | | |
| | | 事業参加者 | | 6人 | | 5人 | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 05 | 青少年健全育成費 | |
|---|----------|----------|-----|------------|--------|----------------|---|---------------|-----------------------|--|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 心の家庭教育支援事業 | | | | 決算書 P. 211 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 心の家庭教育支援事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | |
| 予算額 | 当初 | 決算額 | | | | 不用額 | | | | |
| | 1,594 千円 | 1,189 千円 | | | | 405 千円 | | | | |
| 前年度 | 1,500 千円 | 926 千円 | | | | 574 千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | | | | | | 千円 千円 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 家庭の教育力向上を図るため、現在子育て中の保護者が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支える基盤形成を促進する。 | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | | |
| ・子育て講座 小学校を中心に多くの保護者が集まる機会（就学時健診時等）を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。（5校） | | | | | | | | | | |
| ・家庭教育支援チーム 元教員、元保育士・子育て経験者などで結成し、子ども相談室や保護者相談などを通して家庭教育の支援を行った。 | | | | | | | | | | |
| ・広報紙の発行 子育てに関する情報やアドバイス等を掲載した広報紙「ほやほや」を年5回発行した。 | | | | | | | | | | |
| ○報償費 1,100 千円 子育て講座講師謝礼 50 千円 家庭教育支援チーム員研修講師謝礼 20 千円 家庭教育支援チーム員手当（36名） 1,030 千円 | | | | | | | | | | |
| ○需用費 60 千円 消耗品費 48 千円 食糧費 12 千円 | | | | | | | | | | |
| ○役務費 29 千円 家庭教育支援チーム員傷害保険料 | | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校訪問を見合わせるなど活動の幅が狭まったが、広報紙を通じて積極的に活動のPRを行った。各地区の支援スタイルも確立され、市内小学校での子ども相談室では、子どもたちとの信頼関係を育みながら活動している。また、外部講師による研修を2回行い、支援員の相談対応技術力向上を図った。今後も継続して、支援員のスキルアップを図り、相談対応の充実に努める。 | | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | | | R2年度 | | | | | |
| 広報紙発行回数 | | 5回 | | | 5回 | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 06 | 青少年愛護センター費 | |
|--|-----------|-----------------|-----|----------|--------|----------|---|---------------|-----------------------|--|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 愛護センター事業 | | | | 決算書 P. 211 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 愛護センター事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | |
| 予算額 | 当初 | 決算額 | | | | 不用額 | | | | |
| | 11,362 千円 | 10,556 千円 | | | | 806 千円 | | | | |
| 前年度 | 11,873 千円 | 10,661 千円 | | | | 1,212 千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | 県支出金 | 青少年愛護センター運営費補助金 | | | | 367 千円 | | | | |
| | | | | | | 千円 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を補導活動等により防止することで、青少年の健全育成を図る。 | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | | |
| ○報酬 会計年度任用職員（パートタイム）報酬3名 5,035 千円 | | | | | | | | | | |
| ○給料 会計年度任用職員（フルタイム）給料1名 1,991 千円 | | | | | | | | | | |
| ○職員手当 1,264 千円 | | | | | | | | | | |
| 会計年度任用職員時間外（フルタイム） 7 千円 | | | | | | | | | | |
| 会計年度任用職員期末手当4名 1,257 千円 | | | | | | | | | | |
| ○報償費 一般補導員手当 957 千円 | | | | | | | | | | |
| ○旅費 会計年度任用職員（パートタイム）通勤手当3名 101 千円 | | | | | | | | | | |
| ○需用費 860 千円 | | | | | | | | | | |
| 消耗品費（事務・施設・大会行事用等） 138 千円 | | | | | | | | | | |
| （啓発用消耗品） 114 千円 | | | | | | | | | | |
| 燃料費 400 千円 | | | | | | | | | | |
| 食糧費 10 千円 | | | | | | | | | | |
| 印刷製本費 109 千円 | | | | | | | | | | |
| 修繕料 89 千円 | | | | | | | | | | |
| ○役務費 68 千円 | | | | | | | | | | |
| 手数料 21 千円 | | | | | | | | | | |
| 自動車保険料 47 千円 | | | | | | | | | | |
| ○委託料 234 千円 | | | | | | | | | | |
| エンゼルロード警備保障委託 185 千円 | | | | | | | | | | |
| コピー機保守点検委託 49 千円 | | | | | | | | | | |
| ○賃借料 コピー機リース料 13 千円 | | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 公用車用備品購入費 25 千円 | | | | | | | | | | |
| ○公課費 自動車重量税 8 千円 | | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 一般補導員321名による補導活動をはじめ、各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後も各関係機関と連携した補導体制の充実に努めていく。 | | | | | | | | | | |

| 予 算 款 | 10 教育費 | 項 06 保健体育費 | 目 01 保健体育総務費 |
|--|-----------------------|--------------|-----------------------|
| 大 事 業 | 051 | スポーツ推進委員運営事業 | |
| | | | 決 算 書 P. 223 |
| 中 事 業 | 01 | スポーツ推進委員運営事業 | |
| | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | 不 用 額 |
| | 2,023 千円 | 1,382 千円 | 641 千円 |
| 前年度 | 2,313 千円 | 1,892 千円 | 421 千円 |
| 主な 特定 財源 | | | 千円 千円 千円 |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | 予備費充用額 0 千円 |
| 【事業の目的】 スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行い、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行うことができるようサポートする。 | | | |
| 【事業の概要】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 派遣指導（マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座）13回/年 各種大会への協力 坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他 会議等の開催 全体会1回、部会等11回 | | | |
| ○報酬 | スポーツ推進委員報酬（@32千円×38人） | 1,216 千円 | |
| ○需用費 | | 17 千円 | |
| | 定期刊行物購読料 | 5 千円 | |
| | 資料購入代 | 4 千円 | |
| | 啓発用消耗品費 | 8 千円 | |
| ○役務費 | 傷害保険料 | 67 千円 | |
| ○使用料 | 有料道路通行料 | 6 千円 | |
| ○負担金 | | 76 千円 | |
| | 県スポーツ推進委員協議会負担金 | 19 千円 | |
| | 県スポーツ推進委員協議会会費 | 57 千円 | |
| 【事業の成果等】 新型コロナウイルス感染症の影響で派遣指導が減少し、スポーツイベントが中止となったが、地区の老人会などの少人数の集会にマリン体操やニュースポーツの指導・体験の依頼が増加した。今後は、派遣指導のほか、チラシ配布やSNSを活用した広報などに力を入れ、スポーツを通して市民の健康づくりに貢献できる取り組みを実施していきたい。 | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | |
| | 目 標 値 | 実 績 | |
| 大会参加者数 | 80人 | 76人 | |

| 予 算 款 | 10 教育費 | 項 06 保健体育費 | 目 01 保健体育総務費 |
|--|--------------|------------|-----------------------|
| 大 事 業 | 101 | 保健体育事業 | |
| | | | 決 算 書 P. 223 |
| 中 事 業 | 01 | 保健体育事務事業 | |
| | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | 不 用 額 |
| | 85 千円 | 4 千円 | 81 千円 |
| 前年度 | 530 千円 | 443 千円 | 87 千円 |
| 主な 特定 財源 | | | 千円 千円 千円 |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | 予備費充用額 0 千円 |
| 【事業の目的】 スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。また、各種スポーツ協議会に対し負担金助成を行う。 | | | |
| 【事業の概要】 | | | |
| ○負担金 | 福井県体育施設協会負担金 | 4 千円 | |
| 【事業の成果等】 坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、保健体育事務事業を実施した。 | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | |
| | R3年度 | R2年度 | |
| 負担金 | 4千円 | 4千円 | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 02 | 体育振興費 | | |
|---|---------------------|------------------------|-----|------------|-----|-------|---------|---------------|-----------------------|--|--|
| 大 | 事 | 業 | 001 | スポーツ振興事業 | | | | 決算書 P. 223 | | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | スポーツ大会運営事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | | |
| 予算額 | 当初 | 補2 | 補6 | 決算額 | | | 不用額 | | | | |
| | 11,601千円 | | | 6,480千円 | | | 5,121千円 | | | | |
| 前年度 | 4,727千円 | | | 3,591千円 | | | 1,136千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | 諸収入 | 雑入（公共スポーツ施設活性化助成事業助成金） | | | | | 730千円 | | | | |
| | | | | | | | 千円 | | | | |
| | | | | | | | 千円 | | | | |
| 予算 | 流用(増減)額 | 0千円 | | | 予備費 | 充用額 | 0千円 | | | | |
| 【事業の目的】 誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。 | | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 坂井市古城マラソン大会（中止） ハピネスフェスティバル 令和4年1月23日（日） 市民スポーツ祭（競技別大会 9月26日、27日、10月16日） | | | | | | | | | | | |
| ○ | 報償費 | 参加賞（ハピネスフェスティバル） | | | | | 110千円 | | | | |
| ○ | 需用費 | | | | | | 81千円 | | | | |
| | | 消耗品費 | | | | | 19千円 | | | | |
| | | 食糧費 | | | | | 17千円 | | | | |
| | | 印刷製本費（ハピネスフェスティバル） | | | | | 45千円 | | | | |
| ○ | 役務費 | 傷害保険料 | | | | | 1千円 | | | | |
| ○ | 委託料 | | | | | | 2,061千円 | | | | |
| | | スポーツ大会委託料 | | | | | | | | | |
| | | ・坂井市古城マラソン大会 | | | | | 845千円 | | | | |
| | | ・坂井市民スポーツ祭運営 | | | | | 646千円 | | | | |
| | | ハピネスフェスティバル運動能力測定 | | | | | 570千円 | | | | |
| ○ | 負担金 | 福井フルマラソン準備事業負担金 | | | | | 4,142千円 | | | | |
| ○ | 補助金 | | | | | | 85千円 | | | | |
| | | 坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金 | | | | | 50千円 | | | | |
| | | 広域スポーツ大会事業補助金 | | | | | 35千円 | | | | |
| 【事業の成果等】 各種大会を開催しスポーツ振興を図った。市民スポーツ祭は、スポーツの普及と市民の健康増進に寄与した。ハピネスフェスティバルでは、最新の測定機器を用いて小学生の運動能力を測定し、個々に適したスポーツ種目の提案を行った。 | | | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | | | |
| | ハピネスフェス ティバル参加者数 | 目標値 | 実績 | | | | | | | | |
| | | 120人 | 65人 | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 02 | 体育振興費 | | |
|---|-----------------|------------------|-----|-------------------|-----|-------|---------|---------------|-----------------------|--|--|
| 大 | 事 | 業 | 001 | スポーツ振興事業 | | | | 決算書 P. 223 | | | |
| 中 | 事 | 業 | 02 | ワールドマスターズゲームズ運営事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | | |
| 予算額 | 当初 | 補9 | 決算額 | | | 不用額 | | | | | |
| | 2,500千円 | | | 1,632千円 | | | 868千円 | | | | |
| 前年度 | 6,750千円 | | | 5,397千円 | | | 1,353千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | 県支出金 | スポーツまちづくり推進事業補助金 | | | | | 815千円 | | | | |
| | | | | | | | 千円 | | | | |
| | | | | | | | 千円 | | | | |
| 予算 | 流用(増減)額 | 0千円 | | | 予備費 | 充用額 | 0千円 | | | | |
| 【事業の目的】 世界最大の生涯スポーツの国際総合競技大会「ワールドマスターズゲームズ関西」が日本で初めて開催される。坂井市では、オープン競技の「ディスクゴルフ」を開催し、福井国体の開催を機に高まったスポーツ振興機運の承継と、世界各国に対する坂井市の知名度向上ならびにインハウンドの拡大を図る。 | | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 ○負担金 ワールドマスターズゲームズ2021関西坂井市実行委員会負担金 1,632千円 | | | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 令和4年5月の開催に向け、市実行委員会の公式ホームページを通じて大会に関する情報発信や開催準備を行った。また、まちづくり協議会等団体の行事で、ディスクゴルフ教室を行うなど同競技の普及活動を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的収束が見込めないことから、令和5年度に開催を延期した。 | | | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | | | |
| | ディスクゴルフ体験会等の開催数 | | | | | 実績 | | | | | |
| | | | | | | 3回 | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 02 | 体育振興費 | |
|---|---|-----------|-----|------------------|----|----------------------------------|---|---------------|-----------------------|--|
| 大 | 事 | 業 | 001 | スポーツ振興事業 | | | | 決算書 P. 223 | | |
| 中 | 事 | 業 | 03 | 全国高等学校総合体育大会運営事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | |
| 予算額 | | 当初 | 補9 | 決算額 | | 不用額 | | | | |
| | | 41,638千円 | | 41,637千円 | | 1千円 | | | | |
| 前年度 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | | | |
| 主 | な | 特 | 定 | 財 | 源 | 県支出金 全国高等学校総合体育大会運営費補助金 30,802千円 | | | | |
| | | | | | | 千円 | | | | |
| | | | | | | 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0千円 | | 予備費充用額 | | 0千円 | | | | |
| 【事業の目的】 令和3年度全国高等学校総合体育大会（北信越総体2021）のサッカー競技大会（男子・女子）を坂井市で開催するため、全国高等学校総合体育大会サッカー競技委員会に対し負担金を支出する。 | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 ○負担金 全国高等学校総合体育大会サッカー競技委員会負担金 〔大会期間〕令和3年8月13日～22日 41,637千円 | | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 令和3年度全国高等学校総合体育大会「輝け君の汗と涙 北信越総体2021」サッカー競技会（男子・女子）が坂井市において開催された。 新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客での開催となったが、全国各地から多くの選手、監督、大会関係者を坂井市に迎え、無事に大会を開催することができた。 | | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | | |
| | | | | 実 績 | | | | | | |
| 参加校・選手数 | | 男子51校867人 | | 女子16校272人 | | | | | | |
| 花プランター協力団体数 | | 23団体 | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 02 | 体育振興費 | |
|--|---|---------|-----|-----------------------|---------|---|---|---------------|-----------------------|--|
| 大 | 事 | 業 | 001 | スポーツ振興事業 | | | | 決算書 P. 223 | | |
| 中 | 事 | 業 | 04 | 東京オリンピック・パラリンピック関連事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | |
| 予算額 | | 当初 | 決算額 | | 不用額 | | | | | |
| | | 4,000千円 | | 2,043千円 | | 1,957千円 | | | | |
| 前年度 | | 0千円 | | 0千円 | | 0千円 | | | | |
| 主 | な | 特 | 定 | 財 | 源 | 県支出金 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル開催事業補助金 31千円 | | | | |
| | | | | | | 千円 | | | | |
| | | | | | | 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0千円 | | 予備費充用額 | | 0千円 | | | | |
| 【事業の目的】 東京2020オリンピック聖火リレーならびに東京2020パラリンピック採火式の開催を通して、同競技会に対する市民の機運を高める。 | | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 オリンピック聖火リレー 令和3年5月30日（日） パラリンピック聖火フェスティバル市町採火式（高等部）令和3年7月7日（水） （福井県立嶺北特別支援学校）（中学部）令和3年7月12日（月） 福井県パラリンピック聖火フェスティバル 令和3年8月16日（月） | | | | | | | | | | |
| ○ | 報 | 償 | 費 | 協力者謝金 | 40千円 | | | | | |
| ○ | 需 | 用 | 費 | 消耗品費 | 51千円 | | | | | |
| ○ | 使 | 用 | 料 | 有料道路通行料 | 6千円 | | | | | |
| ○ | 賃 | 借 | 料 | 大会備品借上料 | 120千円 | | | | | |
| ○ | 負 | 担 | 金 | 東京オリ・パラ聖火リレー県実行委員会負担金 | 1,826千円 | | | | | |
| 【事業の成果等】 坂井市選出者を含む総勢10人の聖火ランナーが、丸岡城周辺のコースを走り、大会の機運を盛り上げた。また、パラリンピック聖火フェスティバル採火式では、嶺北特別支援学校の生徒がマイギリで種火を起こし、県の聖火フェスティバルで集火した。 オリンピックの開催期間中、実際に聖火リレーで使用した「聖火トーチ」を、市役所1階アトリウム内で展示した。 | | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | | |
| | | | | 実 績 | | | | | | |
| 運営ボランティアの人数 | | 133人 | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 02 | 体育振興費 |
|---|------------------------|------------|-------------|----------|----------------|-------|---------------|-----------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | スポーツ振興事業 | | | 決算書 P. 225 | | |
| 中 | 事 | 業 | 06 | スポーツ振興事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | |
| 予算額 | | 当初 | 決算額 | | 不用額 | | | | |
| | | 97,993 千円 | 91,621 千円 | | 6,372 千円 | | | | |
| 前年度 | | 100,265 千円 | 90,578 千円 | | 9,687 千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | | | | | 千円 千円 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝ち抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○報償費 | 全国スポーツ大会出場激励金 | | 2,627 千円 | | | | | | |
| | ・国体 | | 1名 | | | | | | |
| | ・全国高等学校総合体育大会 | | 65名 | | | | | | |
| | ・国際大会(北京冬季オリンピック) | | 1名 | | | | | | |
| | ・その他全国大会 | | 189名 | | | | | | |
| | 計 | | 256名 (53大会) | | | | | | |
| ○需用費 | | | 144 千円 | | | | | | |
| | 事務用消耗品費 | | 1 千円 | | | | | | |
| | 広報用消耗品費 | | 143 千円 | | | | | | |
| ○補助金 | | | 88,850 千円 | | | | | | |
| | 坂井市スポーツ協会補助金 | | 82,850 千円 | | | | | | |
| | 坂井市スポーツ少年団補助金 | | 4,000 千円 | | | | | | |
| | 地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金 | | 2,000 千円 | | | | | | |
| 【事業の成果等】 全国大会に出場する選手・監督に対し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。補助金交付については今後も効率的で効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3年度 | R2年度 | | | | | | |
| 激励金支給者 | | 256人 | 71人 | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 03 | 体育施設費 |
|---|------------------------------|--------------|------------|----------|------------|------------|---------------|-----------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 体育施設管理事業 | | | 決算書 P. 225 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 体育施設管理事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | |
| 予算額 | | 当初 | 補2 | 補4 | 決算額 | | 不用額 | | |
| | | 448,889 千円 | | | 444,614 千円 | | 4,275 千円 | | |
| 前年度 | | 251,627 千円 | | | 248,831 千円 | | 2,796 千円 | | |
| 主な 特定 財源 | 繰入金 | まちづくり整備基金繰入金 | | | | 13,900 千円 | | | |
| | 諸収入 | スポーツ振興くじ助成金 | | | | 1,108 千円 | | | |
| | 市債 | 合併特例事業債 | | | | 143,400 千円 | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 安全で快適な体育施設の維持管理と利用者のニーズに応じた運営を行い、スポーツ活動の振興および施設の利用促進を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○旅費 | 特別旅費 | | 41 千円 | | | | | | |
| ○需用費 | 三国運動公園野球場ラバーシート修繕料 | | 199 千円 | | | | | | |
| ○役務費 | 火災保険料(公有建物共済分担金) | | 764 千円 | | | | | | |
| ○委託料 | | | 187,891 千円 | | | | | | |
| | 丸岡スポーツランド用地土地鑑定評価業務 | | 384 千円 | | | | | | |
| | 学校開放事業等委託料 | | 6,210 千円 | | | | | | |
| | (公財)坂井市スポーツ協会 | | | | | | | | |
| | 坂井市体育施設指定管理委託料 | | 140,000 千円 | | | | | | |
| | 【指定管理者】(公財)坂井市スポーツ協会 | | | | | | | | |
| | 【指定管理期間】平成31年4月1日～令和6年3月31日 | | | | | | | | |
| | 坂井市屋内温水プール・フィットネスセンター指定管理委託料 | | | | | | | | |
| | 【指定管理者】アクアスポーツ(株) | | 40,100 千円 | | | | | | |
| | 【指定管理期間】平成31年4月1日～令和6年3月31日 | | | | | | | | |
| | 丸岡スポーツランド広告看板製作業務 | | 1,197 千円 | | | | | | |
| ○賃借料 | 土地借上料(体育施設用地借上料) | | 28,868 千円 | | | | | | |
| ○工事請負費 | | | 187,776 千円 | | | | | | |
| | 三国運動公園藤棚撤去工事 | | 704 千円 | | | | | | |
| | // 屋内温水プール水道メーター取替工事 | | 292 千円 | | | | | | |
| | // 野球場照明設備改修工事 | | 89,980 千円 | | | | | | |
| | // 屋内温水プールのトイレ改修工事 | | 3,740 千円 | | | | | | |
| | 三国グラウンド防球ネット設置工事 | | 4,070 千円 | | | | | | |
| | 丸岡スポーツランド人工芝グラウンド照明改修工事 | | 61,160 千円 | | | | | | |
| | 丸岡運動公園テニスコート人工芝張替工事 | | 7,997 千円 | | | | | | |
| 【次頁へ】... | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|-----|----------------------------|---|--------|-----------------|-----------------------|----|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 06 | 保健体育費 | 目 | 03 | 体育施設費 |
| 大 事 業 | 001 | 体育施設管理事業 | | | 決 算 書 P. 225 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 体育施設管理事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課 | | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | |
| ○工事請負費（つづき） | | | | | | | | |
| | | 丸岡中学校屋内運動場防球ネット設置工事 | | 940 | 千円 | | | |
| | | // 屋内運動場建具設置工事 | | 2,244 | 千円 | | | |
| | | 丸岡今市プール解体工事 | | 5,280 | 千円 | | | |
| | | // 跡地整備工事 | | 2,778 | 千円 | | | |
| | | // 跡地人工芝工事 | | 3,630 | 千円 | | | |
| | | 今市児童館わんぱく広場表示板設置工事 | | 62 | 千円 | | | |
| | | 春江B&G海洋センター体育館照明改修工事 | | 4,803 | 千円 | | | |
| | | 清永グラウンドバックネット補修工事 | | 96 | 千円 | | | |
| | | ○公有財産購入費 丸岡スポーツランド用地購入費 | | 33,990 | 千円 | | | |
| | | ○備品購入費 | | 1,485 | 千円 | | | |
| | | トレーニングマシン（丸岡フィットネスクラブ） | | 1,386 | 千円 | | | |
| | | 防球ネット収納箱（丸中屋内運動場）他 | | 99 | 千円 | | | |
| | | ○負担金 | | 3,580 | 千円 | | | |
| | | 指定管理者修繕負担金（（公財）坂井市スポーツ協会分） | | | | | | |
| | | 丸岡スポーツランド合宿所東側倉庫修繕 | | 692 | 千円 | | | |
| | | 三国グラウンドナイター照明分電盤修繕 | | 1,091 | 千円 | | | |
| | | 指定管理者修繕負担金（（株）アクアスポーツ分） | | | | | | |
| | | 三国運動公園屋内温水プール防火扉修繕 | | 1,767 | 千円 | | | |
| | | B&G地域海洋センター連絡協議会負担金 | | 30 | 千円 | | | |
| | | ○補償金 体育施設周辺補償費 | | 20 | 千円 | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | |
| 各体育施設について改修や機能向上工事と、利用者のニーズに応じた備品の整備を行い、利用者満足度の向上に努めた。今後は、体育施設の老朽化状況や利用率を考慮して、施設の統廃合を含めた再整備の検討が必要である。平成29年度より使用停止としていた今市プールを解体した。 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|------|---------------|-------|---------|-----------------|-----------------------|--------|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 08 | 文化振興費 |
| 大 事 業 | 001 | 文化振興事業 | | | 決 算 書 P. 211 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 文化振興事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 文化課 | | |
| 予 算 額 | 当 初 | 流 用 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | | | 687 | 千円 | 511 | 千円 | 176 | 千円 |
| 前年度 | | | 624 | 千円 | 260 | 千円 | 364 | 千円 |
| 主 な 財 源 | 諸収入 | 雑入（アルミ看板引取処理） | | | | 2 千円 | | |
| | 特定 | | | | | 千円 | | |
| | 財源 | | | | | 千円 | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | | | 59 | 千円 | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | |
| 文化芸術分野の全国大会以上の大会に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| | ○報償費 | | | | | 340 千円 | | |
| | | 委員謝礼 | | | | | 70 千円 | |
| | | 全国大会等出場激励金 | | | | | 270 千円 | |
| | ○需用費 | | | | | 66 千円 | | |
| | | 消耗品費（事務用品） | | | | | 4 千円 | |
| | | 食糧費（会議用お茶） | | | | | 4 千円 | |
| | | 修繕料（看板等修繕） | | | | | 58 千円 | |
| | ○使用料 | 有料道路通行料・入場料 | | | | | 17 千円 | |
| | ○賃借料 | 車両借上料 | | | | | 88 千円 | |
| | | | | | | （文化未来会議視察研修：敦賀市・南越前町） | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | |
| 全国大会出場14個人、2団体に対して激励金を贈り、大会での活躍を激励した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの全国大会が中止になったため、例年よりも大幅に減少した。坂井市文化未来会議では、敦賀市立博物館やみなとつるが山車会館、今庄宿を視察し、保存継承に対する取り組みを学んだ。（会議2回・研修1回） | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | |
| | | | 目 標 値 | 実 績 | | | | |
| 全国大会等出場者数 | | | 35人 | 14人・2団体 | | | | |

| 予 算 款 | 10 教育費 | 項 05 社会教育費 | 目 08 文化振興費 |
|--|-----------------|------------|-----------------------|
| 大 事 業 | 001 | 文化振興事業 | 決 算 書 P. 211 |
| 中 事 業 | 06 | 文化団体補助事業 | 所管 教育委員会事務局 部局 文化課 |
| 予算額 | 当初 補9 | 決 算 額 | 不 用 額 |
| | 131,872 千円 | 112,642 千円 | 19,230 千円 |
| 前年度 | 126,021 千円 | 115,114 千円 | 10,907 千円 |
| 主な 特定 財源 | | | 千円 千円 千円 |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | 予備費充用額 0 千円 |
| 【事業の目的】 地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、(公財)丸岡文化財団および(公財)坂井市文化振興事業団、各種文化団体で組織する坂井市文化協会が実施する文化活動事業を支援する。 | | | |
| 【事業の概要】 ○補助金 | | | |
| | | 112,642 千円 | |
| | 丸岡文化財団運営補助金 | 56,465 千円 | |
| | (基金取崩補填分含む) | | |
| | 坂井市文化協会事業補助金 | 1,923 千円 | |
| | 坂井市文化振興事業団運営補助金 | 54,254 千円 | |
| 【事業の成果等】 丸岡文化財団が主催する一筆啓上賞は、市を代表する事業として定着している。また、まるおか子供歌舞伎事業においては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で公演中止となったが、歌舞伎公演のための定式幕の設置を行った。 坂井市文化協会は、総合美術展や子ども文化祭などを開催し、様々な文化団体が文化活動に参加できる企画運営を担い、市の文化振興に大いに貢献している。 坂井市文化振興事業団は、市民の文化意識の向上や次世代育成に対して大きく貢献しており、子どもミュージカル事業の「子どもステージアート」は、子ども紙芝居や音楽、太鼓などのステージを無観客公演で実施した。 | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | |
| | 目標値 | 実 績 | |
| 一筆啓上応募数 | 35,000通 | 46,912通 | |
| 文化協会会員数 | 2,050人 | 1,685人 | |
| 子どもステージアート入場者数 | 400人 | 無観客 | |

| 予 算 款 | 10 教育費 | 項 05 社会教育費 | 目 08 文化振興費 |
|--|-----------------------------|------------|-----------------------|
| 大 事 業 | 001 | 文化振興事業 | 決 算 書 P. 213 |
| 中 事 業 | 11 | 文化活動支援事業 | 所管 教育委員会事務局 部局 文化課 |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | 不 用 額 |
| | 22,200 千円 | 21,781 千円 | 419 千円 |
| 前年度 | 15,500 千円 | 14,497 千円 | 1,003 千円 |
| 主な 特定 財源 | | | 千円 千円 千円 |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | 予備費充用額 0 千円 |
| 【事業の目的】 優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。 | | | |
| 【事業の概要】 ○委託料 | | | |
| | | 21,781 千円 | |
| | 文化祭業務委託料(坂井市民文化祭実行委員会) | 4,990 千円 | |
| | 公演業務委託料(坂井市文化振興事業団:23事業) | 16,000 千円 | |
| | 市民文化創造企画支援事業委託料(坂井市文化振興事業団) | 791 千円 | |
| 【事業の成果等】 文化祭事業は実行委員会に委託し、市内4地区の会場それぞれで芸能・展示発表を行い、いずれの会場も盛況であった。今後も、市内の文化ホール等を有効に活用しながら、市民の文化活動の活性化が図られるよう事業に取り組んでいく。 公演事業では、音楽・古典芸能など様々なジャンルのアーティストによる公演や地元出身の音楽家によるコンクールを開催し、市民参加・育成型事業にも取り組んでいる。また、ハートピア春江のリニューアルを記念し、NHK公開収録を実施し、多くの親子が参加し大変好評であった。今後も市民のニーズに即した企画を取り入れていく。 支援事業では2件申請があり、コロナ禍にも関わらずいずれも予定よりも多い入場者数となった。 | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | |
| | 目標値 | 実 績 | |
| 文化祭来場者数 | 10,000人 | 11,095人 | |
| 文化祭出演・出展者数 | 8,000人 | 6,739人 | |
| 公演事業入場者数 | 6,700人 | 8,831人 | |

| 予 算 款 | 10 教育費 | 項 05 社会教育費 | 目 08 文化振興費 |
|---|-----------------|----------------|-----------------|
| 大 事 業 | 001 | 文化振興事業 | |
| | | | 決 算 書 P. 213 |
| 中 事 業 | 21 | 一筆啓上手紙の館管理運営事業 | |
| | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 文化課 |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | 不 用 額 |
| | 14,147 千円 | 10,341 千円 | 3,806 千円 |
| 前年度 | 14,145 千円 | 14,144 千円 | 1 千円 |
| 主な 特定 財源 | | | 千円 千円 千円 |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | 予備費充用額 | 0 千円 |
| 【事業の目的】 一筆啓上賞の作品をはじめとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光振興の推進を図る。 | | | |
| 【事業の概要】 | | | |
| ○報償費 | 運営審議会委員謝礼（3名） | 22 千円 | |
| ○役務費 | 手紙の館火災保険料 | 113 千円 | |
| ○委託料 | 事業運営委託料（丸岡文化財団） | 10,206 千円 | |
| 【事業の成果等】 丸岡文化財団に「手紙の館」の事業運営を委託し、一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展等を実施している。施設の運営については、引き続き運営審議会で検討・助言等を行いながら、丸岡城と連携した地域のにぎわい創出を図っていく。 | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | |
| | 目 標 値 | 実 績 | |
| 手紙の館入館者数 | 50,000人 | 19,348人 | |
| (うち共通入場券入館者) | (40,000人) | 13,579人 | |

| 予 算 款 | 10 教育費 | 項 05 社会教育費 | 目 08 文化振興費 |
|--|-------------------------------------|----------------------|-----------------|
| 大 事 業 | 051 | 文化施設管理運営事業 | |
| | | | 決 算 書 P. 213 |
| 中 事 業 | 02 | 文化の森・みくに市民センター管理運営事業 | |
| | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 文化課 |
| 予算額 | 当初 流用 | 決 算 額 | 不 用 額 |
| | 83,745 千円 | 79,159 千円 | 4,586 千円 |
| 前年度 | 1,022,070 千円 | 1,018,959 千円 | 3,111 千円 |
| 主な 特定 財源 | 諸収入 | 雑入（ロゴマーク寄託手数料） | 1 千円 |
| | | | 千円 |
| | | | 千円 |
| 予算流用(増減)額 | 2,250 千円 | 予備費充用額 | 0 千円 |
| 【事業の目的】 利用者の利便性の向上と安全確保を図るため、文化施設の適切な維持管理を行う。 | | | |
| 【事業の概要】 | | | |
| ◆文化の森・みくに市民センター管理運営事業 | 79,019 千円 | | |
| ○需用費 | 施設等修繕料（ハートピア春江 外灯修繕） | 300 千円 | |
| ○役務費 | | 235 千円 | |
| | 火災保険料 | 164 千円 | |
| | 展示・収蔵資料損害保険料 | 71 千円 | |
| ○委託料 | | 72,514 千円 | |
| | 樹木等管理委託料 | 98 千円 | |
| | 指定管理者委託料（市文化振興事業団） | 72,416 千円 | |
| ○賃借料 | 文化の森敷地借上料（18,875㎡） | 3,820 千円 | |
| ○工事請負費 | 設備改修工事費 （ハートピア春江 エアハンモーターダンパー改修） | 1,298 千円 | |
| ○負担金 | 指定管理者修繕負担金（消防用設備修繕） | 852 千円 | |
| ◆省エネ対策事業 | 140 千円 | | |
| ○使用料 | デマンド監視システム使用料 | 140 千円 | |
| 【事業の成果等】 ハートピア春江、みくに市民センターともに、新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心安全に利用できるよう適正な維持管理を行った。今後も市民の文化芸術活動の拠点として、両館の特性を活かしながら、市民の文化意識の向上を目指した施設の運営に取り組んでいく。 | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | |
| | 目 標 値 | 実 績 | |
| ハートピア春江利用者数 | 80,000人 | 44,252人 | |
| みくに市民センター利用者数 | 16,100人 | 20,183人 | |

| | | | | | | | | | |
|---|-----|------------------|--------|-------------|----------------|-----------------|-----------------|--------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 | |
| 大 事 業 | 001 | 文化財保護審議会運営事業 | | | | 決 算 書 P. 213 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 文化財保護審議会運営事業 | | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 文化課 | | |
| 予 算 額 | 当 初 | 流 用 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | |
| | | 239 千円 | 215 千円 | | 24 千円 | | | | |
| 前年度 | | 234 千円 | 187 千円 | | 47 千円 | | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | | | | | 千円 千円 千円 | | | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | | | 29 千円 | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 坂井市教育委員会の諮問機関で、文化財の保存および活用に関する重要事項について調査審議し、建議する。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○報酬 | | 文化財保護審議会委員報酬（8名） | | | 184 千円 | | | | |
| ○旅費 | | 文化財保護審議会委員費用弁償 | | | 28 千円 | | | | |
| ○需用費 | | 食糧費（会議用お茶） | | | 3 千円 | | | | |
| 【事業の成果等】 令和4年7月の文化庁認定を目指す坂井市文化財保存活用地域計画の作成について意見を聴取した。また、文化財保護審議会では、初めて女性委員への委嘱を行った。指定・登録文化財について、候補の審議を引き続き行う。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | | R3 | | R2 | | | | |
| | | 処理議案数 | 5議案 | | 5議案 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|-------|---------------------------|------------|-------------|-----------|-----------------|-----------------|--------|--|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 | |
| 大 事 業 | 051 | 文化財保存事業 | | | | 決 算 書 P. 213 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 文化財保存管理事業 | | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 文化課 | | |
| 予 算 額 | 当 初 | 流 用 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | |
| | | 32,576 千円 | 25,674 千円 | | 6,902 千円 | | | | |
| 前年度 | | 14,700 千円 | 12,017 千円 | | 2,683 千円 | | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | 国庫支出金 | 文化芸術振興費補助金 | | | 3,613 千円 | | | | |
| | 国庫支出金 | 文化財管理事業費補助金 | | | 117 千円 | | | | |
| | 諸収入 | 雑入（文化体験学習参加負担金） | | | 2 千円 | | | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | | | △ 2,509 千円 | 予 備 費 充 用 額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 坂井市域に存在する国・県・市の指定を受けた文化財の保存・管理のための必要な措置を講じる。また、広く市民への公開や活用を通して文化財の保存と活用の意識向上を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ◆文化財保存管理事業 | | | | | 21,311 千円 | | | | |
| ○報償費 | | | | | 524 千円 | | | | |
| | | 有識者謝礼（市内指定文化財調査） | | | 9 千円 | | | | |
| | | 文化財管理奨励金 | | | 515 千円 | | | | |
| ○需用費 | | | | | 1,219 千円 | | | | |
| | | 消耗品費（事務用消耗品・体験学習材料費） | | | 47 千円 | | | | |
| | | 食糧費（体験学習お茶代） | | | 1 千円 | | | | |
| | | 光熱水費（出世山古墳公園等電気料・上下水道料） | | | 97 千円 | | | | |
| | | 修繕料（出世山古墳公園フェンス・電灯・トイレ修繕） | | | 1,074 千円 | | | | |
| ○役務費 | | | | | 40 千円 | | | | |
| | | 郵便料（報告書等送付用） | | | 3 千円 | | | | |
| | | カモシカ処理手数料（1体） | | | 13 千円 | | | | |
| | | 丸岡城関連施設・出世山古墳公園火災保険料他 | | | 24 千円 | | | | |
| ○委託料 | | | | | 14,108 千円 | | | | |
| | | 設計委託料（丸岡城天守耐震対策工事） | | | 11,044 千円 | | | | |
| | | 看板製作委託料（文化財説明看板2基） | | | 264 千円 | | | | |
| | | 文化財管理委託料（古墳公園等清掃・草刈等） | | | 2,305 千円 | | | | |
| | | 燻蒸委託料（丸岡歴史民俗資料館燻蒸） | | | 495 千円 | | | | |
| 【次頁へ】… | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 |
|---|---|----|-----|-----------|----|-------|---------------|-----------------|--------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 文化財保存事業 | | | 決算書 P. 213 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 文化財保存管理事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 文化課 | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | | |
| ○使用料 94千円 | | | | | | | | | |
| 有料道路通行料 4千円 | | | | | | | | | |
| 画像編集用パソコンリース料 90千円 | | | | | | | | | |
| ○賃借料 出世山古墳公園、銅鐸出土記念碑敷地借上料 146千円 | | | | | | | | | |
| ○負担金 全国史跡整備市町村協議会負担金外1件 50千円 | | | | | | | | | |
| ○補助金 5,130千円 | | | | | | | | | |
| 市指定無形文化財保存活動事業費補助金(5件) 293千円 | | | | | | | | | |
| 指定文化財保存事業費補助金(9件) 4,837千円 | | | | | | | | | |
| ◆地域計画作成事業 4,342千円 | | | | | | | | | |
| ○報償費 422千円 | | | | | | | | | |
| 講師謝礼(地域計画フォーラム) 127千円 | | | | | | | | | |
| 委員謝礼(地域計画協議会委員) 295千円 | | | | | | | | | |
| ○旅費 文化庁調査官費用弁償 13千円 | | | | | | | | | |
| ○需用費 食糧費(協議会賄・講師等賄) 7千円 | | | | | | | | | |
| ○委託料 坂井市文化財保存活用地域計画作成委託料 3,900千円 | | | | | | | | | |
| ◆コウノトリ保護事業 21千円 | | | | | | | | | |
| ○需用費 消耗品(剥製管理防虫剤ほか) 21千円 | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 令和3年5月の局地的な集中豪雨で被災した国指定の天之宮(瀧谷寺所有)の修理を行った。また、出世山古墳公園の防護柵および電灯修繕、緑地維持管理を行うなど、文化財の維持・継承に努めた。今後も計画的に文化財保存管理を行う。 | | | | | | | | | |
| さらに、文化財の保存と活用のマスタープラン兼アクションプランとなる文化財保存活用地域計画の作成を進め、協議会運営や把握調査、市民への周知と意見聴取のためワークショップやフォーラムを開催した。次年度は計画の文化庁認定を目指すとともに、作成計画について市民への周知に努めていく。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| 市指定無形文化財保存活動にかかる補助金支出件数 | | R3 | R2 | | | | | | |
| | | 5件 | 5件 | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 |
|--|---|---------|------|-------------|-------------|---------|---------------|-----------------|--------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 文化財保存事業 | | | 決算書 P. 215 | | |
| 中 | 事 | 業 | 11 | 埋蔵文化財発掘調査事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 文化課 | |
| 予算額 | | 当初補4 | | 決算額 | | 不用額 | | | |
| | | 6,580千円 | | 5,121千円 | | 1,459千円 | | | |
| 前年度 | | 6,389千円 | | 4,792千円 | | 1,597千円 | | | |
| 主 | な | 財 | 源 | 国庫支出金 | 埋蔵文化財調査費補助金 | | | 1,185千円 | |
| | | | | | | | 千円 | | |
| | | | | | | | 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | | | | 0千円 | | 予備費充用額 | | 0千円 | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | |
| 埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開・活用し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○報酬 六呂瀬山古墳群発掘調査作業員(8名)・整理作業員(6名) 1,525千円 | | | | | | | | | |
| ○報償費 296千円 | | | | | | | | | |
| 六呂瀬山古墳群調査整備委員会委員謝礼(4名) 221千円 | | | | | | | | | |
| 六呂瀬山古墳群報告書調査執筆報償費(1名) 75千円 | | | | | | | | | |
| ○旅費 発掘調査・整理作業員費用弁償 90千円 | | | | | | | | | |
| ○需用費 962千円 | | | | | | | | | |
| 消耗品費(発掘調査・整理作業用具) 241千円 | | | | | | | | | |
| 食糧費(会議用お茶) 1千円 | | | | | | | | | |
| 印刷製本費(報告書印刷・写真現像焼付代) 720千円 | | | | | | | | | |
| ○役務費 94千円 | | | | | | | | | |
| 郵便料(報告書送付用) 90千円 | | | | | | | | | |
| 手数料(トイレ汲み取り料) 4千円 | | | | | | | | | |
| ○委託料 1,168千円 | | | | | | | | | |
| 運搬業務委託料(古墳群埋め戻し用土嚢) 34千円 | | | | | | | | | |
| 試掘調査掘削委託料(13件) 1,134千円 | | | | | | | | | |
| ○賃借料 発掘調査機材借上料 166千円 | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 発掘調査用等備品 820千円 | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 埋蔵文化財包蔵地内での工事は年間187件の届出があり、遺跡への影響が懸念される47件は試掘調査、工事立会で対応した。また、今後も継続して、関係機関との円滑な調整を図るとともに、文化財保護に対する認識を高めていく。 | | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | | |
| | | R3 | R2 | | | | | | |
| 発掘届出件数 | | 187件 | 196件 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|---------------|----------|----------|-----------------|-----------------|----|--------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 |
| 大 事 業 | 051 | 文化財保存事業 | | | 決 算 書 P. 217 | | | |
| 中 事 業 | 21 | 丸岡城関連施設管理運営事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 文化課 | | |
| 予算額 | 当初 | 流用 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | | 3,248 千円 | 3,173 千円 | | 75 千円 | | | |
| 前年度 | | 3,064 千円 | 2,900 千円 | | 164 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | | | | | 千円 千円 千円 | | | |
| 予算流用(増減)額 | | | 171 千円 | 予備費充用額 | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 丸岡城関連施設を指定管理者に委託し、円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城の観光の充実と地域の文化振興を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ○需用費 | 施設等修繕料（丸岡城屋根・駐車場外灯・自然石据替修繕） | | | 129 千円 | | | | |
| ○役務費 | | | | 154 千円 | | | | |
| | 丸岡城関連施設火災保険料 | | | 125 千円 | | | | |
| | 丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 | | | 29 千円 | | | | |
| ○委託料 | 丸岡城周辺樹木伐採業務委託料 | | | 1,353 千円 | | | | |
| ○賃借料 | 丸岡城周辺土地借上料 | | | 1,367 千円 | | | | |
| ○負担金 | 指定管理者修繕料負担金（手紙の館火災受信機・煙感知器修繕） | | | 170 千円 | | | | |
| 【事業の成果等】 （公財）丸岡文化財団に指定管理者として委託し、丸岡城周辺の一体的な管理運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、丸岡城の歴史的価値を広めるため、観光情報の発信と広報宣伝活動に努め、観光面・文化面での賑わい創出を図った。 | | | | | | | | |
| 【事業の実績値等】 | | | | | | | | |
| | | 目標値 | 実 績 | | | | | |
| | | 丸岡城入場者数 | 129,500人 | | 65,394人 | | | |

| | | | | | | | | |
|--|------------------|-----------|-------|--------------------|------------------|-----------------|----|------------|
| 予 算 款 | 13 | 諸支出金 | 項 | 02 | 基金費 | 目 | 09 | 丸岡城周辺整備基金費 |
| 大 事 業 | 001 | 丸岡城周辺整備基金 | | | 決 算 書 P. 231 | | | |
| 中 事 業 | 01 | 丸岡城周辺整備基金 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 文化課 | | |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | | |
| | | 18 千円 | | 3 千円 | | | | |
| 前年度 | | 19 千円 | | 19 千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | 財産収入 | 城周辺整備基金利子 | | | 3 千円 千円 千円 | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 丸岡城周辺の整備および丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。 | | | | | | | | |
| ○積立金 | 城周辺整備基金積立金（預金利息） | | | 3 千円 | | | | |
| （参考）丸岡城周辺整備基金の状況（単位：千円） | | | | | | | | |
| 令和2年度末 現在高 ① | | 令和3年度中増減額 | | 令和3年度末 現在高①-②+③ | | | | |
| | | 取崩額 ② | 積立額 ③ | | | | | |
| 183,594 | | 0 | 3 | 183,597 | | | | |
| 【事業の成果等】 預金利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。今後も目的に応じた基金の活用に努めていく。 | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 |
|---|----------------------|------------|-----|------------|----------|-------|---------------|-----------------------|--------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 文化財保存事業 | | | 決算書 P. 215 | | |
| 中 | 事 | 業 | 16 | 丸岡城国宝化推進事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室 | |
| 予算額 | 当初 | 決算額 | | | 不用額 | | | | |
| | 8,095 千円 | 7,520 千円 | | | 575 千円 | | | | |
| 前年度 | 38,100 千円 | 35,836 千円 | | | 2,264 千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | 諸収入 | 雑入（報告書頒布代） | | | 105 千円 | | | | |
| | | | | | 千円 | | | | |
| | | | | | 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにするための調査研究を行う。 また、収集した資料などを市民に公開し、丸岡城に対する認識を高めていく。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○給料 | 会計年度任用職員給与 | | | 3,782 千円 | | | | | |
| ○職員手当等 | 会計年度任用職員 通勤、期末手当 | | | 854 千円 | | | | | |
| ○報償費 | 講師謝礼、協力者謝礼、委員謝礼 | | | 78 千円 | | | | | |
| ○需用費 | 1,229 千円 | | | | | | | | |
| | 消耗品費（事務用、保健衛生消耗品費） | | | 66 千円 | | | | | |
| | 燃料費（灯油、LPガス） | | | 220 千円 | | | | | |
| | 印刷製本費（資料集、リーフレット印刷） | | | 449 千円 | | | | | |
| | 光熱水費（電気料、上下水道料） | | | 462 千円 | | | | | |
| | 修繕料 | | | 32 千円 | | | | | |
| ○役務費 | 電話代、火災保険料 | | | 114 千円 | | | | | |
| ○委託料 | コピー機保守点検委託料 | | | 262 千円 | | | | | |
| ○賃借料 | コピー機リース料、機材借上料 | | | 201 千円 | | | | | |
| ○補助金 | 丸岡城天守を国宝にする市民の会事業補助金 | | | 1,000 千円 | | | | | |
| 【事業の成果等】 丸岡城学術調査資料集第2集（文献資料編 柴田勝豊一本多重益の時代）および丸岡城に関するリーフレット（知られざる丸岡城No.9）を発刊した。 | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 08 | 文化振興費 |
|--|---------------------|----------|-----|----------------|----------|-------|---------------|--------------------|-------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 文化施設管理運営事業 | | | 決算書 P. 213 | | |
| 中 | 事 | 業 | 26 | ONOメモリアル管理運営事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 みくに龍翔館 | |
| 予算額 | 当初 | 決算額 | | | 不用額 | | | | |
| | 5,885 千円 | 5,281 千円 | | | 604 千円 | | | | |
| 前年度 | 4,600 千円 | 2,482 千円 | | | 2,118 千円 | | | | |
| 主な 特定 財源 | | | | | 千円 | | | | |
| | | | | | 千円 | | | | |
| | | | | | 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 0 千円 | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 故小野忠弘の住居兼アトリエの保存とその活用を図るとともに、市民の現代美術に関する興味関心を高め、美術文化の創造に寄与する。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○報償費 | 指導謝礼・賞品・協力者謝礼（報償物品） | | | 48 千円 | | | | | |
| ○需用費 | 627 千円 | | | | | | | | |
| | 消耗品費（保健衛生用・施設管理用等） | | | 83 千円 | | | | | |
| | 食糧費（来客用賄） | | | 2 千円 | | | | | |
| | 印刷製本費（ポスター・パンフレット等） | | | 131 千円 | | | | | |
| | 光熱水費（電気料・水道料） | | | 334 千円 | | | | | |
| | 修繕料（施設修繕） | | | 77 千円 | | | | | |
| ○役務費 | 77 千円 | | | | | | | | |
| | 通信運搬費（電話料） | | | 68 千円 | | | | | |
| | 火災保険料 | | | 9 千円 | | | | | |
| ○委託料 | 1,537 千円 | | | | | | | | |
| | 警備保障委託料 | | | 172 千円 | | | | | |
| | 施設管理委託料 | | | 572 千円 | | | | | |
| | 樹木等管理委託料 | | | 73 千円 | | | | | |
| | 清掃委託料 | | | 220 千円 | | | | | |
| | イベント事業委託料 | | | 500 千円 | | | | | |
| ○工事請負費 | 2,992 千円 | | | | | | | | |
| | 空調機取替工事費 | | | 2,662 千円 | | | | | |
| | 作品設置工事費 | | | 330 千円 | | | | | |
| 【次頁へ】... | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|-----|----------------|---|----|-------|-----------------|--------------------|-------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 08 | 文化振興費 |
| 大 事 業 | 051 | 文化施設管理運営事業 | | | | 決 算 書 P. 213 | | |
| 中 事 業 | 26 | ONOメモリアル管理運営事業 | | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 みくに龍翔館 | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 坂井市出身の美術作家や地元の高校と連携した企画展を開催し、多くの来館者が訪れた。今後は、ONOメモリアルが、小野忠弘を顕彰する場・若者の育成の場として、事業の安定した継続を図るよう、長期的な事業計画について検討が必要である。 | | | | | | | | |
| 【事業の実績等】 | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ONOメモリアル入館者数 942 名（前年度比 +695 名） ・常設展「小野忠弘 雄島の森展－松村忠祀を偲ぶ－」 インスタレーション：戸田正寿氏 展示：平成31年3月23日から継続中 ・企画展 雑賀通浩個展「あなたに会うための失敗する制作方法を魔法と呼んでみる」 期間：8月20日～9月12日 入館者数：253人 北前船が生んだ安島モッコ刺し 三国高校現代刺子展 北前船をイメージする 藤島高校現代アート展 期間：10月30日～11月28日 入館者数：418人 ・第14回「こどもが描く“ふるさと坂井” 絵画展」 出品数：1,855点 会場：三国コミュニティセンター ギャラリー 展示：入賞作品72点、9月26日～10月11日 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|-----------|---------------------------|-----------|-------------|----------|-----------------|--------------------|--------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 |
| 大 事 業 | 101 | 文化施設管理運営事業 | | | | 決 算 書 P. 217 | | |
| 中 事 業 | 01 | みくに龍翔館管理運営事業 | | | | 所管 部 局 | 教育委員会事務局 みくに龍翔館 | |
| 予 算 額 | 当初 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | | 26,793 千円 | | 24,254 千円 | | 2,539 千円 | | |
| 前年度 | 42,795 千円 | | 35,128 千円 | | 7,667 千円 | | | |
| 主 な 特 定 財 源 | 諸収入 | | 雑入（町誌頒布代） | | 35 千円 | | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| 予 算 流 用 (増 減) 額 | | 0 千円 | | 予 備 費 充 用 額 | | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 坂井市民の自然、歴史および文化についての関心を高め、教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史・文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査および活用を図る。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ◆みくに龍翔館管理運営事業 | | | | 15,192 千円 | | | | |
| ○給料 | | 会計年度任用職員賃金（4名） | | 7,708 千円 | | | | |
| ○職員手当等 | | 通勤手当・時間外手当等 | | 1,856 千円 | | | | |
| ○需用費 | | | | 2,189 千円 | | | | |
| | | 消耗品費（事務用・施設管理用等） | | 247 千円 | | | | |
| | | 燃料費（ガソリン） | | 117 千円 | | | | |
| | | 食糧費（来客用賄） | | 4 千円 | | | | |
| | | 光熱水費（電気料・水道料） | | 1,716 千円 | | | | |
| | | 修繕料（車検修繕料、施設等修繕料） | | 105 千円 | | | | |
| ○役務費 | | | | 426 千円 | | | | |
| | | 通信運搬費（電話料・専用回線使用料等） | | 327 千円 | | | | |
| | | 手数料（講習会手数料・車検手数料） | | 14 千円 | | | | |
| | | 保険料（火災、自動車） | | 85 千円 | | | | |
| ○委託料 | | | | 2,489 千円 | | | | |
| | | 施設管理委託料（エレベーター保守点検・警備保障等） | | 1,652 千円 | | | | |
| | | 樹木等管理委託料 | | 792 千円 | | | | |
| | | インターネットWEB構築委託料 | | 45 千円 | | | | |
| ○使用料 | | ソフトウェア・サーバー使用料等 | | 158 千円 | | | | |
| ○賃借料 | | 電算機器・コピー機リース料 | | 350 千円 | | | | |
| ○負担金 | | 県博物館協議会負担金等 | | 9 千円 | | | | |
| ○公課費 | | 自動車重量税 | | 7 千円 | | | | |
| 【次頁へ】… | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 |
|---|---|----|-----|--------------|----|-------|---------------|--------------------|--------|
| 大 | 事 | 業 | 101 | 文化施設管理運営事業 | | | 決算書 P. 217 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | みくに龍翔館管理運営事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 みくに龍翔館 | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | | |
| ◆みくに龍翔館資料収集・保存事業 7,686 千円 | | | | | | | | | |
| ○需用費 6,538 千円 | | | | | | | | | |
| 消費品費（事務用OA機器・新聞代等） 890 千円 | | | | | | | | | |
| 備品等修繕料 5,648 千円 | | | | | | | | | |
| ○役務費 221 千円 | | | | | | | | | |
| 編集手数料 58 千円 | | | | | | | | | |
| 展示・収蔵資料損害保険料 163 千円 | | | | | | | | | |
| ○委託料 627 千円 | | | | | | | | | |
| 害虫駆除委託料 374 千円 | | | | | | | | | |
| 清掃委託料 253 千円 | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 展示用備品購入費 300 千円 | | | | | | | | | |
| ◆みくに龍翔館調査・研究事業 1,299 千円 | | | | | | | | | |
| ○報償費 指導謝礼、協力者謝礼 1,179 千円 | | | | | | | | | |
| ○需用費 49 千円 | | | | | | | | | |
| 消費品費（書籍購入費） 9 千円 | | | | | | | | | |
| 食糧費（調査等賄） 40 千円 | | | | | | | | | |
| ○役務費 手数料（コピー代） 4 千円 | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 みくに龍翔館用図書購入費 67 千円 | | | | | | | | | |
| ◆みくに龍翔館展示および教育普及事業 77 千円 | | | | | | | | | |
| ○需用費 印刷製本費（ポスター・パンフレット等印刷費） 62 千円 | | | | | | | | | |
| ○役務費 手数料（入館者斡旋手数料） 5 千円 | | | | | | | | | |
| ○賃借料 山車借上料 10 千円 | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 令和2年11月から令和5年春まで、改修工事のため休館としている。 館外へ移設した収蔵資料の保存管理を行うとともに、令和4年度にかけて、新常設展示のための資料修復と新しい収蔵計画を進めた。展示アドバイザーや専門家の指導のもと、新常設展示の具体的な内容や、オープン後の企画運営、観光連携のあり方についても検討を重ねている。また、新収蔵資料21件（168点）の受け入れと資料登録を行い、展示・収蔵資料を充実させた。 | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 09 | 文化財保護費 |
|---|-------|---------------------|-----|--------------|----|--------|---------------|--------------------|--------|
| 大 | 事 | 業 | 101 | 文化施設管理運営事業 | | | 決算書 P. 219 | | |
| 中 | 事 | 業 | 02 | みくに龍翔館改修整備事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 みくに龍翔館 | |
| 予算額 | | 当初補2 | | 決算額 | | 不用額 | | | |
| 838,252 千円 | | 815,048 千円 | | 23,204 千円 | | | | | |
| 前年度 907,815 千円 | | 63,995 千円 | | 843,820 千円 | | | | | |
| 主な 特定 財源 | 国庫支出金 | 地方創生拠点整備交付金 | | 173,563 千円 | | | | | |
| | 市債 | 合併特例事業債 | | 343,700 千円 | | | | | |
| | 市債 | 一般補助施設整備等事業債 | | 170,000 千円 | | | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【上記決算額内訳】 | | | | | | | | | |
| 当該年度分 | | 予算額 | | 1,252 千円 | | 決算額 | | 916 千円 | |
| 前年度繰越分 | | 繰越分予算額 | | 837,000 千円 | | 繰越分決算額 | | 814,132 千円 | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | | |
| 坂井市の博物館として、市の豊かな風土に育まれた歴史・文化遺産を大切に受け継ぎ、研究・発信するため、みくに龍翔館を改修整備する。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| 老朽化した施設を改修するとともに、市全体の歴史・文化遺産を対象とした博物館へと内容を再編し、令和5年のリニューアルオープンを目指す。 | | | | | | | | | |
| ○報償費 | | 委員謝礼、指導謝礼、有識者謝礼 | | 1,652 千円 | | | | | |
| ○需用費 | | 食糧費（会議用賄） | | 1 千円 | | | | | |
| ○委託料 | | 監理委託料（みくに龍翔館施設改修工事） | | 16,170 千円 | | | | | |
| ○工事請負費 | | 施設改修工事費 | | 778,440 千円 | | | | | |
| ○備品購入費 | | 施設用備品購入費 | | 18,785 千円 | | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | | |
| 坂井市全体の歴史や文化財の保存・活用の拠点となる博物館施設として十分に役割を果たしていくため、新たな展示の内容について検討を重ねながら、施設の全面改修工事を行った。令和4年度は、それを活かして展示製作工事を進めるとともに、リニューアル後の運営のあり方についても検討を重ね、令和5年春のオープンをめざす。 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|------------------------|--------------------------|------------|-----------|----------|-----------------|-----------------|------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 12 | 図書館費 |
| 大事業 | 001 | 図書館管理運営事業 | | | | 決 算 書 P. 219 | | |
| 中事業 | 01 | 図書館管理運営事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 図書館 | |
| 予算額 | 当初 流用 | | 決 算 額 | | 不 用 額 | | | |
| | 161,781 千円 | | 159,384 千円 | | 2,397 千円 | | | |
| 前年度 | 134,786 千円 | | 130,360 千円 | | 4,426 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | 繰入金 | まちづくり整備基金繰入金 | | 24,400 千円 | | | | |
| | 諸収入 | 自動販売機手数料 | | 186 千円 | | | | |
| | 諸収入 | 雑入（図書カード再交付・コピー代・図書弁償金他） | | 160 千円 | | | | |
| 予算流用(増減)額 | 139 千円 | | 予備費充用額 | 0 千円 | | | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | |
| 地域の情報拠点施設として4つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| ○報酬 | 図書館協議会委員 | | 90 千円 | | | | | |
| ○給料 | 会計年度任用職員給 | | 37,901 千円 | | | | | |
| ○職員手当等 | | | 8,971 千円 | | | | | |
| ○報償費 | 講師謝礼、協力者謝礼 | | 50 千円 | | | | | |
| ○需用費 | | | 22,072 千円 | | | | | |
| | 消耗品費、書籍購入費（ブックスタート事業）他 | | 9,553 千円 | | | | | |
| | 光熱水費 | | 9,176 千円 | | | | | |
| | 修繕料 | | 3,343 千円 | | | | | |
| ○役務費 | | | 970 千円 | | | | | |
| | 通信運搬費 | | 688 千円 | | | | | |
| | 自動車保険料 | | 126 千円 | | | | | |
| | 手数料他 | | 156 千円 | | | | | |
| ○委託料 | | | 15,265 千円 | | | | | |
| | 三国図書館設計監理委託料 | | 3,245 千円 | | | | | |
| | 図書館管理システム保守 | | 1,294 千円 | | | | | |
| | 清掃業務委託 | | 2,492 千円 | | | | | |
| | 警備保障他 | | 8,234 千円 | | | | | |
| ○使用料 | 図書管理システム、図書データ使用料他 | | 15,053 千円 | | | | | |
| ○賃借料 | 公用車、防犯カメラリース料他 | | 1,159 千円 | | | | | |
| ○工事請負費 | | | 32,857 千円 | | | | | |
| | 丸岡・坂井図書館照明灯改修工事 | | 20,702 千円 | | | | | |
| | 丸岡図書館トイレ改修工事費他 | | 12,155 千円 | | | | | |
| 【次頁へ】… | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|------------------|-----------|-----------|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------|
| 予 算 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 12 | 図書館費 |
| 大事業 | 001 | 図書館管理運営事業 | | | | 決 算 書 P. 219 | | |
| 中事業 | 01 | 図書館管理運営事業 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 図書館 | |
| …【前頁より】 | | | | | | | | |
| ○備品購入費 | | | 24,944 千円 | | | | | |
| | 図書購入費 | | 24,000 千円 | | | | | |
| | 丸岡図書館木製書架備品購入費 | | 638 千円 | | | | | |
| | 施設用備品購入費他 | | 306 千円 | | | | | |
| ○負担金 | 県図書館協会費、日本図書館協会費 | | 39 千円 | | | | | |
| ○公課費 | 自動車重量税 | | 13 千円 | | | | | |
| 【利用状況】 | | | | | | | | |
| 4館合計 | | | | | | | | |
| 項目 | | | 令和3年度 | 令和2年度 | | | | |
| 来館者数（人） | | | 342,963 | 211,542 | | | | |
| 貸出人数（人） | | | 192,115 | 138,363 | | | | |
| 貸出冊数（冊） | | | 817,456 | 622,630 | | | | |
| 【子どもの読書活動推進事業】 | | | | | | | | |
| 項目 | | | 令和3年度 | 令和2年度 | | | | |
| 子どもの読書活動推進事業講演会（人） | | | 675 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 | | | | |
| ブックスタート（人） | | | 517 | 569 | | | | |
| おはなし会（人） | | | 168 | 78 | | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | |
| 市民が親しみを持てる図書館を目指し、くらしや趣味等に役立つ資料や情報の収集、整備保存に努めるとともに、市内4館のネットワークや県内外の図書館間の相互貸借を行った。 | | | | | | | | |
| 全館の来館者数、貸出人数、貸出冊数は徐々にコロナ禍以前の数に戻りつつあり、子どもの読書活動推進事業については、ロングセラー絵本の複製画展等、コロナ禍でも開催可能なイベントにシフトし、子どもが自主的に読書に親しむ機会を提供した。 | | | | | | | | |
| 施設整備面では、丸岡・坂井図書館の照明のLED化を行うとともに、各館の補修や修繕等を行い、安全性と利便性の向上に努めた。 | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 12 | 図書館費 |
|---|-----|----------|--------------|-------------|----|----------|---------------|-----------------|------|
| 大 | 事 | 業 | 001 | 図書館管理運営事業 | | | 決算書 P. 221 | | |
| 中 | 事 | 業 | 02 | 図書館振興整備基金事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 図書館 | |
| 予算額 | | 当初 | | 決算額 | | 不用額 | | | |
| | | 3,400 千円 | | 1,653 千円 | | 1,747 千円 | | | |
| 前年度 | | 2,000 千円 | | 1,808 千円 | | 192 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | 繰入金 | | 図書館振興整備基金繰入金 | | | 1,653 千円 | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 図書館振興整備基金を活用し、市立図書館の施設の整備および機能の充実を図る。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図る。 古谷綱武・吉沢久子文庫の資料の収集整理、保存を行うとともに、顕彰に努める。 | | | | | | | | | |
| ○需用費 399 千円 | | | | | | | | | |
| 資料運搬・保存用消耗品費 300 千円 | | | | | | | | | |
| 図書整備消耗品費 86 千円 | | | | | | | | | |
| 印刷製本費 13 千円 | | | | | | | | | |
| ○備品購入費 1,254 千円 | | | | | | | | | |
| 木製書架購入費 1,210 千円 | | | | | | | | | |
| 施設用備品購入費 44 千円 | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 木製書架4台を購入し、遺品や寄贈資料の展示を行い顕彰に努めた。 | | | | | | | | | |

| 予算 | 款 | 10 | 教育費 | 項 | 05 | 社会教育費 | 目 | 12 | 図書館費 |
|---|-----|----------|-----------|-------------|----|--------|---------------|-----------------|------|
| 大 | 事 | 業 | 051 | 記念文庫等管理運営事業 | | | 決算書 P. 221 | | |
| 中 | 事 | 業 | 01 | 記念文庫等管理運営事業 | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 図書館 | |
| 予算額 | | 当初 | | 決算額 | | 不用額 | | | |
| | | 2,396 千円 | | 2,144 千円 | | 252 千円 | | | |
| 前年度 | | 1,181 千円 | | 852 千円 | | 329 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | 諸収入 | | 雑入(図書頒布代) | | | 28 千円 | | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | 予備費充用額 | | 0 千円 | | | |
| 【事業の目的】 中野重治記念文庫および小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。 | | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | | |
| ○需用費 消耗品費、光熱水費 186 千円 | | | | | | | | | |
| ○委託料 1,945 千円 | | | | | | | | | |
| 清掃委託料 80 千円 | | | | | | | | | |
| 樹木剪定業務等委託料 500 千円 | | | | | | | | | |
| 今川節展示制作委託料 1,365 千円 | | | | | | | | | |
| ○賃借料 防犯カメラリース料 13 千円 | | | | | | | | | |
| 《行事の開催》 | | | | | | | | | |
| ・くちなし忌 8月21日(土) | | | | | | | | | |
| ※式典および記念講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 生家跡には例年どおり野の花を飾り自由参拝とした。 | | | | | | | | | |
| ・小葉田淳記念文庫講演会 11月6日(土) | | | | | | | | | |
| 演題 「アマビエは疫病から人びとを守るのか？」 | | | | | | | | | |
| 講師 長野 栄俊氏(福井県立文書館) | | | | | | | | | |
| 場所 たかむく古城ホール 参加者数 96名 | | | | | | | | | |
| 《見学者数》 | | | | | | | | | |
| ・中野重治記念文庫 年間 316名 | | | | | | | | | |
| ・小葉田淳記念文庫 年間 141名 | | | | | | | | | |
| ・今川節の部屋 年間 249名 | | | | | | | | | |
| 【事業の成果等】 中野重治記念文庫および小葉田淳記念文庫の貴重な資料の保存や整理を行った。 くちなし忌は中止となったが、小葉田文庫にちなんだ歴史講演会を11月に開催した。 今川節の部屋では楽譜のレプリカを制作し、一次資料の長寿命化を図った。 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|------|-------------|-------|----|-----------|-----------------|-----------------|-----------|
| 予 算 款 | 13 | 諸支出金 | 項 | 02 | 基金費 | 目 | 19 | 図書振興整備基金費 |
| 大 事 業 | 001 | 図書振興整備基金 | | | | 決 算 書 P. 231 | | |
| 中 事 業 | 01 | 図書振興整備基金 | | | | 所管 部局 | 教育委員会事務局 図書館 | |
| 予算額 | 当初 | 決 算 額 | | | 不 用 額 | | | |
| | 1 千円 | 0 千円 | | | 1 千円 | | | |
| 前年度 | 2 千円 | 1 千円 | | | 1 千円 | | | |
| 主な 特定 財源 | 財産収入 | 図書館振興整備基金利子 | | | | 0 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| | | | | | | 千円 | | |
| 予算流用(増減)額 | | 0 千円 | | | 予備費充用額 | 0 千円 | | |
| 【事業の目的】 | | | | | | | | |
| 坂井市立図書館の施設の整備および機能の充実を図るため、坂井市図書振興整備基金を設置する。 | | | | | | | | |
| 【事業の概要】 | | | | | | | | |
| 坂井市図書振興整備基金の元金に対する利息を基金に積み立てる。 | | | | | | | | |
| ○積立金 図書振興整備基金積立金 149 円 | | | | | | | | |
| (参考) 図書振興整備基金の状況 (単位：円) | | | | | | | | |
| 令和2年度末 | | 令和3年度中増減額 | | | 令和3年度末 | | | |
| 現在高 ① | | 取崩額 ② | 積立額 ③ | | 現在高①-②+③ | | | |
| 8,193,007 | | 1,653,975 | 149 | | 6,539,181 | | | |
| 【事業の成果等】 | | | | | | | | |
| 目的に応じた基金の活用に努めていく。 | | | | | | | | |

令和3年度 坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

坂井市社会教育委員 田川 幸代

はじめに

「教育は国家百年の大計である」とは、短いスパンで目まぐるしく変化している昨今であっても納得できる名言だと思う。世界に目を向けると、戦火に怯え命の危険を感じて暮らしている人々、まともに教育が受けられないでいる人々がいる昨今である。このような世界情勢の中、我が国では、人生すべての時期・分野・場面において、適切な教育を得られることは大変幸せなことである。時代の変化に敏感に即しつつ普遍的な価値観を大事にしていく教育こそが、次の100年200年と続く大計であると私は考える。

令和3年度も変異した新型コロナウイルスによって、10代20代の若い世代、またその親世代にと感染が広がり、学級閉鎖や各行事縮小での対応など、教育行政に大きな支障をきたした。坂井市においても、様々な面でご苦労があったことと察する。このコロナ禍においても、職員や関係者の皆様のご努力で、教育本来の姿が保たれていることに感謝したい。

教育はすぐさまその成果が出るものばかりでなく、その結果も把握しにくいという特性からも業績評価することが難しいこともある。そのことを踏まえて、令和3年度の坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況について、以下に、点検・評価したので報告する。

<教育委員会の活動状況について>

1. 教育委員会の会議開催等の状況

令和3年度は、12回の定例会議と2回の臨時会議、合計14回の会議が開催され、28件の附議事項が審議され、充分機能を果たしているものと判断できる。

2. 教育長、教育委員会委員の活動状況

105もの教育関連活動計画においては、中止せざるを得ない行事が若干あったが、オンライン形式での実施も含めほぼ計画通りなされた事は評価できる。その多くの教育関連行事に、教育長をはじめ教育委員会委員が出席され、市全体の教育行政の指導・推進に係わられている様子がうかがえる。また、指導主事学校訪問(32回)、全国大会出場激励会(24回)など執り行われている。これらは学校現場直結の重要な活動である。

3. 委員会、審議委員会等の審議状況

各委員会や審議会においては、多くの領域にわたりその振興を目的とした会議・審議が適時適切な内容によって開催されている。

4. 教育委員会関係の許認可状況

昨年度同様 125 の文化財が、国・県・市の指定を受けている。市の貴重な文化財を後

世に残していく事は重要であり、引き続き保護にも努めてもらいたい。

<令和3年度教育委員会関係事業の取組実績について>

1. 教育総務課

(1) 教育委員会運営事業

- ・14回の教育委員会及び2回の総合教育会議により協議・調整が行われ、円滑な教育行政が進められている。

(2) 教育委員会事務局事業

- ・教育行政全般にわたり運営調整を図りながら教育振興に取り組んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染症に関しては、昨年度同様、清掃業務の委託や感染対策の消耗品・備品の購入などによって感染拡大防止に努めている。

(3) 小学校管理事業

- ・タブレット端末の活用を進めるにあたり、適切な措置が講じられるよう望まれる。
- ・新型コロナウイルス感染対策に向け、次年度も予算執行の更なる工夫を求めたい。

(4) 小学校施設整備事業

- ・三国北、明章各小学校大規模改造工事が計画的になされている。5校のトイレ改修工事が実施された。

(5) 中学校管理事業

- ・小学校同様、ICT環境整備に適切な措置が講じられるよう望まれる。
- ・教育備品等の適正な維持管理がなされている。

(6) 中学校施設整備事業

- ・市内5中学校の適正な維持管理がなされている。

2. 学校教育課

(1) 教育相談事業

- ・不登校の児童生徒に対し、学校対応が困難な事案も含め、様々な個別指導が行われている。それらの成果で、昨年度より適応指導教室通室者の復帰率が約1.4倍と高くなっている。今後も児童生徒本人やその家庭に対する個別指導を期待する。

(2) 学校・学級運営支援事業

- ・発達障がい等により、学習面や生活面で特別な支援を必要としている児童生徒のために、学級サポーターを適切に配置し、対象児童生徒への学習支援と学級運営円滑化が図られたことは高く評価する。また、専門的知識・技術を持つソーシャルワーカーと関連機関との連携を図り、支援を要する児童生徒への充実が望まれる。
- ・21人の学校運営支援員の配置は、教員の多忙化解消の一役を担っている。

(3) 小学校教育振興事業

- ・小学校における外国語習得のため、9名の外国語指導助手を各小学校に派遣しているこ

とは高く評価する。

- ・GIGA スクール構想に基づき、授業支援ソフト、デジタルドリル、指導用タブレットなどを整備し、個々のタブレットを活用した学びが推進されている。
 - ・地域と進める体験推進事業では、市内 19 校全てで各校特色ある体験活動を展開できていることは評価できる。
- (4) 小学校児童管理事業
- ・学校医と歯科医の健康診断結果に基づき、児童一人ひとりの健康保持増進に、養護教諭を中心に適切な指導が行われている。
- (5) 学校生活ボランティア推進事業
- ・読み聞かせや収穫体験、クラブ活動等に対し、学校生活ボランティアとして地域住民の協力を得ることは、家族や教員等限られた大人とのみ接する機会が少なくなった児童生徒にとって大事である。昨年度より加入者数が減ったのは、新型コロナウイルス感染症対策の影響で、活動自体が縮小されたからだと思われる。
- (6) ふれあい交流事業
- ・音楽交流会や連合運動会は、新型コロナウイルス感染症の影響でやむなく中止したが、6 年生の進学先中学校訪問を実施し小中連携や交流促進を図っている。
- (7) 学力充実推進事業
- ・2～5 年生全員を対象に実施した国語・算数の学力調査においては、その結果を分析し、各校研究主任によるワークショップを開催して、各校の課題把握に努め学力向上に向けた授業づくりの基盤としていることは評価できる。また、教員の指導力向上にもつながった。
- (8) 児童就学援助事業
- ・適正な審査認定と援助が行われ、保護者の経済的負担軽減が図られ意義がある。
- (9) 小学校通学支援事業
- ・スクールバス運行は遠距離通学に対しての支援がなされ評価できる。バス車内の換気や消毒など感染対策を行った。バス停の改修も進められ通学環境向上を図っている。
- (10) 中学校教育振興事業
- ・地域と進める体験推進事業では、各学校の創意工夫により生徒自身が坂井市の魅力や特徴に気づき、将来坂井市で活躍したいという生徒を育むことのできる意義ある事業である。
- (11) 中学校生徒健康推進事業
- ・養護教諭を中心に、生徒一人ひとりの健康課題について健康保持・増進が図られている。昨年度よりスポーツ保険給付件数が 1.5 倍増加についての検証を必要とする。
- (12) クラブ活動推進事業
- ・部活動・クラブ活動は人格形成上の大切な分野であると考え。環境も整えられ県大会や北信越大会などへの出場校が増え、生徒の一層の意欲向上が図られた。

- ・外部指導者の配置は、生徒の技術向上と教員の勤務負担軽減となり評価できる。また、課題はあるものの地域公施設を活動場所とし、生徒や指導者を一堂に介しより高度な技術を体得させる試みなど他市の先進的な取り組みも参考に、更なる推進を期待する。
- (13) 生徒就学援助事業
- ・必要とする生徒に対し適切な援助が行われ、保護者の経済的負担軽減が図られている。
- (14) 中学校通学支援事業
- ・遠距離通学に対しての支援がなされている。また、第2子以降の負担金無償化は、多子世帯の経済的負担軽減となっており評価できる。
- (15) 学校給食管理事業
- ・町によって学校給食の形態が異なっているが、それぞれ適切な衛生管理の下、安心・安全な学校給食が提供されていることがうかがえる。栄養教諭や栄養士の指導の下、更なる食育や地産地消への取り組みを期待したい。成長期児童生徒の体づくりの一部を担う学校給食は重要である。食材費高騰の今日、質の低下がないよう一層の工夫が望まれる。
3. 生涯学習スポーツ課
- (1) 社会教育事務事業
- ・社会教育法に基づく社会教育委員会(委員 15 名)を設置し、年 3 回会議を開催し社会教育行政全般における調査審議を通して、答申・建議を行った。また、合宿通学事業の実行委員として防災合宿の視察を行った。
- (2) 社会教育団体補助事業
- ・市 P T A 連合会や青少年育成団体の活動を促進するため、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営支援が図られている。
- (3) 市民運動推進事業
- ・「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、明るく住みやすくなるまちづくりを目標に、市民自らの創意工夫による実践活動が展開できるよう図られている。
- (4) 国際交流推進事業
- ・児童生徒の国際交流事業は、今後、国際社会で活躍する市民を育成するという長期視点で、今後も適切に運営されることを期待する。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、英国招へい事業・派遣事業の中止を余儀なくされたが、市内 ALT を講師として実施した代替事業やオンラインを活用しての故郷を英語で紹介、一筆啓上賞英文への日本語翻訳など高く評価できる。
- (5) 子ども会育成事業
- ・少子化の中にあり、地域を担う子どもの育成は大切にしたい分野である。
 - ・「壁新聞コンクール」への応募を通して、自分の地域について学び取材しまとめていく活動は、子どもたちが地元を再認識し、達成感も体得できる活動として評価できる。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた活動の開始が望まれる。
- (6) 成人式事業
- ・令和4年4月から、成人年齢が18歳に引き下げられ、最後の「成人式」となった。感染症対策、2部制、出席しやすい3月開催としたことで、82.1%の高い出席率を達成できたことは大いに評価できる。
- (7) わんぱく少年団事業
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得ない活動もあった中、工夫により計6回の「2021SAKAI わんぱく少年団」活動が展開できた。本市の豊かな自然の中で多種多様な活動が体験できるこの事業は高く評価でき、今後も期待できる。
 - ・企画・運営・指導の面でご苦勞の多い活動であるが、参加児童にとっては、生涯忘れがたい体験が得られるので、今後の継続が期待できる。また、この活動における人材育成及び研修は更なる活動内容充実の上で重要である。
- (8) 青少年育成坂井市民会議事業
- ・中学校3校での「赤ちゃんにつながるオンライン交流会」実施は、本年度、直接赤ちゃんに触れ合えなかったが、命の尊さや将来の家族の一員としての意識付けの上でも継続して欲しい活動の一つである。
 - ・いきいき見守り隊活動においては、昨年度の2倍の見守り隊隊員数に達し、数の増加は安心安全な環境づくりに貢献している。
- (9) 放課後子ども教室推進事業
- ・25教室の確保は、子どもの安心安全な活動拠点・居場所として意義がある。各教室の学習・体験内容の多様化に向け、指導者・協力者の登録増加について、先進自治体を参考にすることも一考である。
- (10) 合宿通学事業
- ・従来の合宿体験に、防災への意識付けを付加した「防災合宿」は、災害多発の近年において意義がある事業である。また、進め方や地域ボランティアなども定着してきた。様々な課題や制約がある中、できるだけ多くの児童が経験できる事業となることを期待する。
- (11) 坂井・延岡ジュニア交流事業
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で招へいでの交流は中止し、延岡市の小学生14名と長畝日向神楽保存会児童生徒とのリモート交流が図られた。状況に応じた交流がなされたことは評価できる。
- (12) 心の家庭教育支援事業
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で昼休みの学校訪問数は減少したが、35名の支援員対象に、外部講師を招いてのスキルアップ研修が2回実施された。また、「ほやほや」という広報紙を年5回発行して、家庭の教育力向上が図られている。
- (13) 愛護センター事業

- ・補導活動による青少年健全育成に寄与する部分は大きい。今後も補導体制の充実と関連団体の連携強化が望まれる。
- (14) スポーツ推進委員運営事業
 - ・コロナ禍で派遣指導が減少しスポーツイベントが中止になったが、少人数の集会にマリン体操やニュースポーツの指導・体験依頼が増加し、市民の健康づくりが図られた。
- (15) 保健体育事務事業
 - ・本市のスポーツ推進基本計画に基づき、保健体育事務事業が実施された。
- (16) スポーツ大会運営事業
 - ・市民のスポーツニーズ把握や生涯スポーツの推進・サポートを的確に行い、健康増進に貢献している。また、ハピネスフェスティバルでは最新測定機器を用いて小学生の運動能力を測定し、個々に適したスポーツ種目の提案が試みられた。
- (17) ワールドマスターズゲーム運営事業
 - ・生涯スポーツの国際大会開催が1年延期となり令和5年度となった。本市で行われるオープン競技「ディスクゴルフ」を通じて、本市の知名度向上が今後の課題である。
- (18) 全国高等学校総合体育大会運営事業
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響で、全国高等学校総合体育大会サッカー競技会は無観客開催となったが、全国各地からの選手・監督・大会関係者を迎え実施できたことは、選手のみならず多くの関係者の励みとなった。
- (19) 東京オリンピック・パラリンピック関連事業
 - ・10名の聖火ランナーが丸岡城周辺コースを走り、大会の機運高揚に貢献した。また、パラリンピック聖火フェスティバル採火式では、嶺北特別支援学校生徒たちが更なる機運高揚に貢献した。
- (20) スポーツ振興事業
 - ・新型コロナウイルス感染症対策の中で、各種の大会実施が再開され、奨励金支給者数が、昨年度に比べ3.6倍と増加していることは、喜ばしく、市民の競技スポーツ・生涯スポーツの推進やスポーツによる青少年の健全育成に対する支援が十分に図られていると思われる。
- (21) 体育施設管理事業
 - ・各体育施設の修繕・改修など維持管理が適切に行われている。また、利用者のニーズに合わせた備品の整備や利用者満足度向上を図っている。

4. 文化課

- (1) 文化振興事業
 - ・全国大会出場14個人、2団体への奨励金支給及び坂井市文化未来会議の開催・視察研修など適正に執行されている。
- (2) 文化団体補助事業

- ・丸岡文化財団が主催する一筆啓上賞は、応募数を見ると目標値の 1.3 倍の応募数に達し、市を代表する事業の一つとして定着しており、今後も大いに期待できる。また、まるおか子供歌舞伎はコロナ禍で公演中止となったが、定式幕設置を行った。
- ・坂井市文化振興事業団においては、「子どもステージアート」開催など、市民の文化意識向上や次世代育成に貢献したことは評価できる。

(3) 文化活動支援事業

- ・市民文化祭は実行委員会に委託し、その委託料は、4 町の各々の会場で市民の文化活動への積極的参加を推進するために適正に執行されている。

(4) 一筆啓上手紙の館管理運営事業

- ・一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展の開催や丸岡城と連携した文化・観光の充実が図られ、管理運営は適正に執行されている。また、館内にはデジタル画像を取り入れた紹介もあり、幅広い年齢層の入館数増加に努めている。

(5) 文化の森・みくに市民センター管理運営事業

- ・ハートピア春江、みくに市民センターともに、新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心安全に利用できるよう適正な維持管理ができたことは評価できる。今後も市民の文化芸術活動拠点としての施設であることが強く望まれる。

(6) 文化財保護審議会運営事業

- ・文化財保護審議会においては、文化財の保存及び活用に関して審議された。

(7) 文化財保存管理事業

- ・坂井市域内の国・県・市指定文化財は後世に残すべく適正な保存・管理がなされている。
- ・集中豪雨で被災した瀧谷寺所有の天之図（国指定）修理がすぐに行われたことや、出世山古墳公園の維持管理が継続的に行われていることは評価できる。

(8) 埋蔵文化財発掘調査事業

- ・埋蔵文化財包蔵地内での工事は年間 187 件の届け出があり、遺跡への影響が懸念される 47 件は試掘調査、工事立会で対応されている。

(9) 丸岡城関連施設管理運営事業

- ・（公財）丸岡文化財団に指定管理者として委託されている丸岡城関連施設の一体的な管理運営は適正に行なわれている。今後も丸岡城の文化財的価値を高めるために、情報発信に努めることを切望する。

(10) 丸岡城周辺整備基金

- ・目的に応じた基金の活用に備え、預金利子を積み立てて基金管理を行っている。

5. 丸岡城国宝化推進室

- ・推進事業では、北陸地方で唯一現存する天守閣を持つ丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の文化財的価値を明らかにする調査研究が行われている。また収集した資料は市民

に公開し認識を高めていることで更なる市民の関心も期待できる。

6. みくに龍翔館

(1) ONO メモリアル管理運営事業

- ・坂井市出身の美術作家や地元高校生と連携した企画展の開催は、小野忠弘を顕彰する場・若者育成の場として今後も期待できる。700名近い入館者数増加も評価できる。

(2) みくに龍翔館管理運営事業

- ・令和2年1月から5年春までの長期間、リニューアル改修工事のため休館しているが、この間、新常設展の制作を進めている。オープン後の企画運営、観光連携のありかたなど期待ができる。

(3) みくに龍翔館改修整備事業

- ・足かけ4年間のリニューアル改修工事終了後は、坂井市全体の歴史・文化遺産を継承する博物館として更なる期待が高まるであろう。

7. 図書館

(1) 図書館管理運営事業

- ・地域の情報拠点施設として4館で適切な管理運営がなされている。
- ・4館まとめたデータをみると、来館者数、貸出人数、貸出冊数共に昨年度より数が増えていることは高く評価できる。4館のネットワークや県内外の図書館間相互貸借も功をなしていると考えられる。

(2) 図書振興整備基金事業

- ・遺品や寄贈資料の展示を行い顕彰に努めた。市立図書館施設の整備及び充実が図られている。
- ・図書振興整備基金については、目的に応じた基金活用が望まれる。

(3) 記念文庫等管理運営事業

- ・本市の図書館は、記念文庫や郷土資料など価値ある資料を多く所蔵している。郷土ゆかりの中野重治、小葉田淳両氏の遺産を継承し、その業績を収めている記念文庫の価値は高い。今後とも適切な管理運営が望まれる。

坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書に関する確認結果等について

坂井市 PTA 連合会
会長 稲澤 宗一郎

◆総評

令和3年度の坂井市教育委員会の活動、および事業別施策に関して、各活動・事業とも坂井市民の教育向上、生活向上に繋がっていると高く評価いたします。

なお、確認・審査結果等は以下のとおりです。

1. 令和3年度 坂井市教育委員会の活動状況

- 教育委員は適切な人員・人数で構成されていると評価します。
- 委員会会議の開催状況は、定例及び臨時委員会を年間14回、28件の附議事項を審議し、坂井市教育行政の運用の為に必要な内容であり、適切な委員会開催状況であると評価します。
- 教育委員の活動状況は多くの教育関係行事（各種式典・会議・イベント）に各委員が出席され、その活動内容についても、高く評価します。
- 指導主事学校訪問においては、市内のすべての小中学校を1～2回程度訪問し、各学校の様子を察知し、適切な指導を行ったことについて高く評価します。
- 委員会、審議会の審議状況については、多様な内容について協議を行っていただき、適切な会議の運営であると高く評価します。
- 教育委員会関係の許認可の状況については、文化財の指定状況を確認しました。今後も各文化財の適正な維持管理を行っていただき、市内文化財のさらなる充実を期待します。

2. 令和3年度 事業別施策の成果報告について

【教育総務課関係】

- 小中学校管理事業について、新型コロナウイルス感染症対策、あるいは小中学校の適正な維持管理に努めていただくことで、学びの場の安全安心を確保していただき深く感謝いたします。引き続きのご対応をお願いします。
- 小中学校施設整備事業について、大規模改修工事の実施、あるいは中学校特別教室への空調設備設置工事の設計を行うなど、子供たちの安全安心を確保し、さらに省エネを意識した管理をされていることを評価します。今後も教育現場とのヒアリングを基に様々な教育環境の向上・改善を期待します。

【学校教育課関係】

- 教育相談事業について、児童生徒の不登校対策として、適応指導教室、及びスクールソーシャルワーカーが学校との強い連携の下、児童生徒やその家庭への支援を行っていただいたことを高く評価します。今後もこうした事案は増加していく傾向にあると思われま

すので今後とも粘り強く丁寧な対応をお願いします。

- 小中学校教育振興事業について、各小中学校による特色のある地域と進める体験推進事業は地域の文化、歴史などを勉強する素晴らしい機会と考えます。その過程で地域の方たちとの交流による経験は多くの知見を得られるのではないかと高く評価します。
- クラブ活動推進事業においては、外部指導者を配置することで生徒の技術力向上が期待されるだけでなく、教員の多忙化や指導者不足も解消される点で高く評価します。
県内でも一部の市町村において部活動の地域移行が進められていますが、努力する事の尊さや人間関係形成など、クラブ活動を通して得られる「心の成長」が損なわれないよう進めていただきたいと思います、
- 給食関係の事業について、安全・安心かつ地産地消を意識した食材を使用し、子供たちがおいしく食べることができる給食の提供を行っているとして評価します。今後も食材を通して坂井市の食文化の豊かさを伝えることができるよう、より一層地元産食材を献立に取り入れていただきたいと思います。

【生涯学習スポーツ課関係】

- 社会教育団体補助事業に関して、地域の活力向上や社会教育を通し、青少年の健全育成を目的とした社会教育団体への活動支援に協力していただけていると高く評価します。また、当連合会への補助につきまして、厚く御礼申し上げます。
- 子ども会育成事業のうち、ジュニアリーダーの活動について高く評価します。市内青少年のリーダーとして素晴らしい人材が育成されていることを大変嬉しく思います。
壁新聞コンクールについてですが、出品数20作品は少なく感じられます。学校区、あるいは学校によって取り組みに対する積極さにばらつきがあるのではないのでしょうか。子供たちが地域の事を知る素晴らしい活動だと考えますので、より一層参加数を増やすことを心掛けて行って下さい。
- 国際交流事業に関して、新型コロナウイルス感染症の影響により英国招聘、及び派遣事業が中止となったことは大変残念な事です。今後のますますの国際化社会へ向けての人材育成に大きく貢献する事業だと思いますので、来年度こそは是非とも実施できることを切に願います。個人的な考え方で恐縮ですが、外の世界を肌で触れたり、異文化の人との交流を経験したりすることにより、客観的にふるさつを見ることができ、ふるさつの素晴らしさを再認識する大きなきっかけとなると考えます。この事業以外にも子供たちに外の世界にふれること、あるいは異文化の方たちとの交流できる機会を作っていただくことを願います。
- わんぱく少年団事業について、海や山でのアクティビティを通して、郷土の自然の豊かさを再認識できること、学校の垣根を超えた新たな交友の場として、とても意義のある事業なので、今後もさらに魅力的な活動を取り入れて継続してほしいと思います。
- 青少年育成坂井市民会議事業について、「赤ちゃんとつながるオンライン交流会」は命の誕生など子供たちが健全に成長していくうえで大変有意義な事業であると高く評価しま

す。コロナ禍が収束した後はオンラインではなく、リアルな交流会ができることを願います。

- 合宿通学事業について、家庭を離れての合宿生活を経験することで子どもたちの心身の成長が期待できる素晴らしい事業だと高く評価します。特に令和2年度より取り組まれている「防災合宿」は異常気象が常態化している昨今において、災害時での対応力を備えることができると考えますので是非とも続けていって下さい。ただ現在は限られた児童しか体験できないため、より多くの児童が体験できる機会を作っていただければと考えます。
- 心の家庭教育事業に関して、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の幅が狭まったことは大変残念ですが、子どもたちと支援チームとの信頼関係をさらに育みながら活動して下さい。家庭教育ということなので、子どもたちのみならず、そうしたお子さんを抱えて悩んでおられる保護者へのアドバイスや交流がさらに増えると良いと思います。

【文化課関係】

- 文化振興・文化活動事業に関しては、様々な文化活動支援の充実に取り組まれていると評価します。音楽・古典芸能など様々なジャンルにわたる講演開催は市民に心の豊かさを育ませる素晴らしい事業です。今後も多岐にわたる公演を企画してください。一筆啓上賞などは全国的にも有名になり、坂井市の PR にもつながっております。県外から多くの人を訪れる施設や文化活動を継続して活動・継承・保存していけるような支援を引き続きお願いします。
- 埋蔵文化財発掘調査事業について、「六呂瀬山古墳群」の発掘調査で1号墳が北陸最大、との報道は記憶に新しいところで、市民として大変誇らしい限りです。今後も市民が誇りに思えるような発掘調査の成果報告を期待します。
- ONO メモリアル管理運営事業について、故小野忠弘氏はジャンクアートの分野で世界的に知られたアーティストであり、生涯の大半を坂井市で過ごし、多くの作品を残したことは坂井市民として大変誇らしいことです。それらの作品に触れることで、市民が現代美術へより一層関心を高め、坂井市が芸術文化の豊かな街となることを願います。

【図書館関係】

- 図書館管理運営事業に関しては、インターネットの普及による活字離れが進行しているなか、市内4図書館のネットワークにより、市民にとって利用しやすい運営がされていることを高く評価します。子どもの読書活動推進事業で絵本の複製画展や講演会など、コロナ禍という難しい状況下において、しっかりと子どもたちへの対応をしていただいていることに感謝します。今後も「おはなし会」などを通して読書の楽しさを子どもたちに伝えていってほしいと思います。

以上